

古代词选经典读本

花间集

(唐) 赵崇祚 集

(明) 汤显祖 评

尊前集

刘崇德 徐文武 点校

鳳歸繡雲黃

隸掩房羅錦

畫繡夢中相

見覺市憐白

回輶曉珠駘

因想王郎咫

漏杏對疏景

雖同

小樓中寄

蘇軾讀蘭



學鏡日影簾
羅幃香冷紗
屏空鏡索零
藕簾弱綠

ISBN 7-81097-158-1



9 787810 971584 >

ISBN 7-81097-158-1/1·194

定价:22.00 元

古代词选经典读本

花间集
尊前集

(唐) 赵崇祚 集
(明) 汤显祖 评

刘崇德 徐文武 点校

河北大学出版社

责任编辑:何 屹 韩 宁

封面设计:于 越 郝 旭

责任印制:蔡进建

图书在版编目(CIP)数据

花间集/刘崇德点校.尊前集/徐文武点校. —保定:
河北大学出版社,2006.10
(古代词选经典读本)
ISBN 7-81097-158-1

I. ①花...②尊... II. ①刘...②徐... III. ①词
(文学) — 作品集 — 中国 — 古代②宋词 — 选集 IV.
①I222.82②I222.844

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 128912 号

出版:河北大学出版社(保定市合作路 88 号)	经销:全国新华书店
印制:河北新华印刷一厂	规格:1/32(880mm×1230mm)
印张:11.25	字数:225 千字
	印数:0001~3000 册
版次:2006 年 10 月第 1 版	印次:2006 年 10 月第 1 次

定价:22.00 元

前言

这里为喜欢读词的朋友选刊了几种在古代比较有影响,今天又比较稀见的词选读本。其中有明万历间刊刻的汤显祖评本《花间集》,明洪武本《草堂诗余》、嘉靖本《精选名贤词话草堂诗余》,这两个本子虽皆为《草堂诗余》,一是翻刻宋代何士信原书之本,一是据何士信原书改编之本。再有为杨慎之《词林万选》,清人查士标、厉鹗据宋人周密《绝妙好词》所作《绝妙好词笺》,清人张惠言之《词选》(附《续词选》)、先著之《词洁》。另外,又将明人陈耀文所编《花草粹编》一种附入。

以上词选读本既大体反映了唐宋以来词之流传情况,也大体反映了明清两代人对词之价值观念。例如明代万历间无瑕道人为汤显祖评《花间集》所作跋曰:“余自幼读经,读史,至仁人、孝子有被谗谤者,为之扼腕,辄欲手刃之而后称快焉。乃戊申梁谿肆毒,爰及于余。余于是废举业,忘寝食,不复欲居人间世矣。缙绅同袍力解之弗得,忽一友出袖中二小书授余曰:‘旦暮玩阅之,吟咏之,牢骚不平之气,庶几稍什一二。’余视之,则杨升庵、汤海若两先生所批选《草堂诗余》、《花间集》也。于是散发披襟,遍历吴、楚、闽、粤间,登山涉水,临风对月,靡不以此二书相校讎。始知宇宙之精英,人情之机巧,包括殆尽;而可兴、可观、可





群、可怨，宁独在风雅乎！”可见，明人于词强调的是性情的宣泄、愉悦，个人的娱乐作用，尚未与诗文，即“文章”之言志载道等同。而清人张惠言之《词选》，先著之《词洁》则是将词与社稷之忧、身世之感联系起来，强调了词的社会教化作用，并渐尊词体，并列于“文章”，即诗文之雅正。然而这些词选读本无论是明人对词的“花草情结”，还是清人的风雅之旨，却都是视词以“要眇宜修”之体，“清切婉丽”为宗，挈领声情并美之要。且又学术性与趣味性兼容，读之非如今之端坐面对官方之教材，学院之讲义，则开卷轻松而有益焉。

选入这套古代词选读本丛书的虽皆以有批评笺注之本为准，唯《花草粹编》一种，其书自明清以来即为难得之书，虽无评注，亦酌为附入。此套丛书所选读本皆择善本为底本，校以传世诸本。然限于普及读物之体例，其文字内容校勘，一般不专附校记，重要之处则在笺注、评语之中注明“附校”“附按”。而《花草粹编》则因原无评笺，故附校记于作品之后，为例外。又因此丛书之为普及读物性质，所有选本皆一律横排，简体字，加标点。原书中之古字、异体字亦皆一律改为规范简体。又，汤显祖评本《花间集》因篇幅过小，又将《彊村丛书》本《尊前集》附其后，并酌加古人评笺数条，以凑此套丛书之体例。

限于编者水平，所选读本难免片面，文字校订也或有失误，并祈读者批评指正。

编者

2004.10

目 录

前言·····	(1)
---------	-------

花间集

《花间集》原序·····	(3)
《花间集》叙·····	(4)

卷一

温庭筠·····	(7)
菩萨蛮(小山重迭金明灭)·····	(7)
其二(水精帘里颇黎枕)·····	(7)
其三(蕊黄无限当山额)·····	(7)
其四(翠翘金缕双鸂鶒)·····	(8)
其五(杏花含露团香雪)·····	(8)
其六(玉楼明月长相忆)·····	(8)
其七(凤凰相对盘金缕)·····	(9)
其八(牡丹花谢莺声歇)·····	(9)
其九(满宫明月梨花白)·····	(9)





其十(宝函钿雀金鸂鶒)·····	(10)
其十一(南园满地堆轻絮)·····	(10)
其十二(夜来皓月才当午)·····	(10)
其十三(雨晴夜合玲珑日)·····	(11)
其十四(竹风轻动庭除冷)·····	(11)
更漏子(柳丝长)·····	(12)
其二(星斗稀)·····	(12)
其三(金雀钗)·····	(12)
其四(相见稀)·····	(13)
其五(背江楼)·····	(13)
其六(玉炉香)·····	(13)
归国遥(香玉)·····	(14)
其二(双脸)·····	(14)
酒泉子(花映柳条)·····	(14)
其二(日映纱窗)·····	(15)
其三(楚女不归)·····	(15)
其四(罗带惹香)·····	(15)
定西番(汉使昔年离别)·····	(16)
其二(海燕欲飞调羽)·····	(16)
其三(细雨晓莺春晚)·····	(16)
杨柳枝(宜春花外又长条)·····	(17)
其二(南内墙东御路傍)·····	(17)
其三(苏小门前柳万条)·····	(17)
其四(金缕毵毵碧瓦沟)·····	(17)

其五(馆娃宫外邺城西)·····	(18)
其六(两两黄鹂色似金)·····	(18)
其七(御柳如丝映九重)·····	(18)
其八(织锦机边莺语频)·····	(18)
南歌子(手里金鸂鶒)·····	(19)
其二(似带如丝柳)·····	(19)
其三(倭堕低梳髻)·····	(19)
其四(脸上金霞细)·····	(19)
其五(扑蕊添黄子)·····	(20)
其六(转盼如波眼)·····	(20)
其七(懒拂鸳鸯枕)·····	(20)
河渚神(河上望从祠)·····	(20)
其二(孤庙对寒潮)·····	(21)
其三(铜鼓赛神来)·····	(21)
女冠子(含娇含笑)·····	(21)
其二(霞帔云发)·····	(22)
玉蝴蝶(秋风凄切伤离)·····	(22)
温庭筠·····	(23)
清平乐(上阳春晚)·····	(23)
其二(洛阳愁绝)·····	(23)
遐方怨(凭绣槛)·····	(23)
其二(花半坼)·····	(24)
诉衷情(莺语)·····	(24)
思帝乡(花花)·····	(24)





梦江南(千万恨)·····	(24)
其二(梳洗罢)·····	(25)
河传(江畔)·····	(25)
其二(湖上)·····	(25)
其三(同伴)·····	(26)
蕃女怨(万枝香雪开已遍)·····	(26)
其二(磧南沙上惊雁起)·····	(26)
荷叶杯(一点露珠凝冷)·····	(26)
其二(镜水夜来秋月)·····	(27)
其三(楚女欲归南浦)·····	(27)
皇甫松·····	(27)
天仙子(晴野鹭鸶飞一只)·····	(27)
其二(踟躕花开红照水)·····	(28)
浪涛沙(滩头细草接疏林)·····	(28)
其二(蛮歌豆蔻北人愁)·····	(28)
杨柳枝(春入行宫映翠微)·····	(28)
其二(烂漫春归水国时)·····	(29)
摘得新(酌一卮)·····	(29)
其二(摘得新)·····	(29)
梦江南(兰烬落)·····	(30)
其二(楼上寝)·····	(30)
采莲子(菡萏香莲十顷陂)·····	(30)
其二(船动湖光滟滟秋)·····	(30)
韦庄·····	(31)

浣溪沙(清晓妆成寒食天)·····	(31)
其二(欲上秋千四体慵)·····	(31)
其三(惆怅梦馀三月斜)·····	(31)
其四(绿树藏莺莺正啼)·····	(32)
其五(夜夜相思更漏残)·····	(32)
菩萨蛮(红楼别夜堪惆怅)·····	(33)
其二(人人尽说江南好)·····	(33)
其三(如今却忆西湖乐)·····	(33)
其四(劝君今夜须沉醉)·····	(34)
其五(洛阳城里春光好)·····	(34)
归国遥(春欲暮)·····	(34)
其二(金翡翠)·····	(35)
其三(春欲晚)·····	(35)
应天长(绿槐阴里黄莺语)·····	(35)
其二(别来半岁音书绝)·····	(36)
荷叶杯(绝代佳人难得)·····	(36)
其二(记得那年花下)·····	(36)
清平乐(春愁南陌)·····	(37)
其二(野花芳草)·····	(37)
其三(何处游女)·····	(38)
其四(莺啼残月)·····	(38)
望远行(欲别无言倚画屏)·····	(38)
韦庄·····	(39)
谒金门(春漏促)·····	(39)



其二(空相忆)·····	(39)
江城子(恩重娇多情易伤)·····	(39)
其二(髻鬟狼籍黛眉长)·····	(40)
河传(何处)·····	(40)
其二(春晚)·····	(40)
其三(锦浦)·····	(41)
天仙子(怅望前回梦里期)·····	(41)
其二(深夜归来长酩酊)·····	(41)
其三(蟾彩霜华夜不分)·····	(41)
其四(梦觉云屏依旧空)·····	(42)
其五(金似衣裳玉似身)·····	(42)
喜迁莺(人汹汹)·····	(42)
其二(街鼓动)·····	(43)
思帝乡(云髻坠)·····	(43)
其二(春日游)·····	(43)
诉衷情(烛烬香残帘半卷)·····	(43)
其二(碧沼红芳烟雨静)·····	(44)
上行杯(芳草灞陵春岸)·····	(44)
其二(白马玉鞭金轡)·····	(44)
女冠子(四月十七)·····	(45)
其二(昨夜夜半)·····	(45)
更漏子(钟鼓寒)·····	(45)

卷二

酒泉子(月落星沉)·····	(49)
----------------	--------

木兰花(独上小楼春欲暮)·····	(49)
小重山(一闭昭阳春又春)·····	(49)
薛昭蕴·····	(50)
浣溪沙(红蓼渡头秋正雨)·····	(50)
其二(钿匣菱花锦带垂)·····	(50)
其三(粉上依稀有泪痕)·····	(51)
其四(握手河桥柳似金)·····	(51)
其五(帘下三间出寺墙)·····	(51)
其六(江馆清秋缆客船)·····	(52)
其七(倾国倾城恨有馀)·····	(52)
其八(越女淘金春水上)·····	(52)
喜迁莺(残蟾落)·····	(53)
其二(金门晓)·····	(53)
其三(清明节)·····	(53)
小重山(春到长门春草青)·····	(54)
其二(秋到长门秋草黄)·····	(54)
离别难(宝马晓鞴雕鞍)·····	(54)
相见欢(罗襦绣袂香红)·····	(55)
醉公子(慢绾青丝发)·····	(55)
女冠子(求仙去也)·····	(56)
其二(云罗雾縠)·····	(56)
谒金门(春满院)·····	(56)
牛峤·····	(57)
杨柳枝(解冻风来陌上青)·····	(57)



- 其二(吴王宫里色偏深)..... (57)
- 其三(桥北桥南千万条)..... (57)
- 其四(狂雪随风扑马飞)..... (58)
- 其五(袅翠笼烟拂暖波)..... (58)
- 牛峤..... (58)
- 女冠子(绿云高髻)..... (58)
- 其二(锦江烟水)..... (58)
- 其三(星冠霞帔)..... (59)
- 其四(双飞双舞)..... (59)
- 梦江南(衔泥燕)..... (59)
- 其二(红绣被)..... (60)
- 感恩多(两条红粉泪)..... (60)
- 其二(自从南浦别)..... (60)
- 应天长(玉楼春望晴烟灭)..... (60)
- 其二(蛾眉淡薄藏心事)..... (61)
- 更漏子(星渐稀)..... (61)
- 其二(春夜阑)..... (61)
- 其三(南浦情)..... (62)
- 望江怨(东风急)..... (62)
- 菩萨蛮(舞裙香暖金泥凤)..... (62)
- 其二(柳花飞处莺声急)..... (63)
- 其三(玉钗风动春幡急)..... (63)
- 其四(画屏重叠巫阳翠)..... (63)
- 其五(风帘燕舞莺啼柳)..... (64)

其六(绿云鬓上飞金雀)·····	(64)
其七(玉楼冰簟鸳鸯锦)·····	(64)
酒泉子(记得去年)·····	(65)
定西番(紫塞月明千里)·····	(65)
玉楼春(春入横塘摇浅浪)·····	(65)
西溪子(捍拔双盘金凤)·····	(66)
江城子(鸡鹊飞起郡城东)·····	(66)
其二(极浦烟消水鸟飞)·····	(66)
张泌·····	(67)
浣溪沙(钿毂香车过柳堤)·····	(67)
其二(马上凝情忆旧游)·····	(67)
其三(独立寒阶望月华)·····	(67)
其四(依约残眉理旧黄)·····	(68)
其五(翡翠屏开绣幄红)·····	(68)
其六(枕障熏炉隔绣帷)·····	(68)
其七(花月香寒悄夜尘)·····	(69)
其八(偏戴花冠白玉簪)·····	(69)
其九(晚逐香车入凤城)·····	(69)
其十(小市东门欲雪天)·····	(70)
临江仙(烟收湘渚秋江静)·····	(70)
女冠子(露花烟草)·····	(70)
河传(渺莽)·····	(71)
其二(红杏)·····	(71)
酒泉子(春雨打窗)·····	(71)



其二(紫陌青门)·····	(72)
生查子(相见稀)·····	(72)
思越人(燕双飞)·····	(72)
满宫花(花正芳)·····	(73)
杨柳枝(腻粉琼妆透碧纱)·····	(73)
南歌子(柳色遮楼暗)·····	(73)
其二(岸柳拖烟绿)·····	(74)
其三(锦荐红鸂鶒)·····	(74)
张泌·····	(74)
江城子(碧栏干外小中庭)·····	(74)
其二(浣花溪上见卿卿)·····	(74)
河渚神(古树噪寒鸦)·····	(75)
蝴蝶儿(蝴蝶儿)·····	(75)
毛文锡·····	(76)
虞美人(鸳鸯对浴银塘暖)·····	(76)
其二(宝檀金缕鸳鸯枕)·····	(76)
酒泉子(绿树春深)·····	(76)
喜迁莺(芳春景)·····	(77)
赞成功(海棠未坼)·····	(77)
西溪子(昨夜西溪游赏)·····	(77)
中兴乐(豆蔻花繁烟艳深)·····	(78)
更漏子(春夜阑)·····	(78)
接贤宾(香鞞镂檐五色骢)·····	(78)
赞浦子(锦帐添香睡)·····	(79)

甘州遍(春光好)·····	(79)
其二(秋风紧)·····	(79)
纱窗恨(新春燕子还来至)·····	(80)
其二(双双蝶翅涂铅粉)·····	(80)
柳含烟(隋堤柳)·····	(80)
其二(河桥柳)·····	(81)
其三(章台柳)·····	(81)
其四(御沟柳)·····	(81)
醉花间(休相问)·····	(82)
其二(深相忆)·····	(82)
浣溪沙(春水轻波浸绿苔)·····	(82)
其二(七夕年年信不违)·····	(83)
月宫春(水晶宫里桂花开)·····	(83)
恋情深(滴滴铜壶寒漏咽)·····	(83)
其二(玉殿春浓花烂漫)·····	(84)
诉衷情(桃花流水漾纵横)·····	(84)
其二(鸳鸯交颈绣衣轻)·····	(84)
应天长(平江波暖鸳鸯语)·····	(85)
河满子(红粉楼前月照)·····	(85)
巫山一段云(雨霁巫山上)·····	(85)
临江仙(暮蝉声尽落斜阳)·····	(85)
牛希济·····	(86)
临江仙(峭碧参差十二峰)·····	(86)
其二(谢家仙观寄云岑)·····	(86)





其三(渭阙官城秦树凋)·····	(87)
其四(江绕黄陵春庙闲)·····	(87)
其五(素洛春光潋滟平)·····	(87)
其六(柳带摇风汉水滨)·····	(88)
其七(洞庭波浪飏晴天)·····	(88)
酒泉子(枕转簟凉)·····	(88)
生查子(春山烟欲收)·····	(89)
中兴乐(池塘暖碧浸晴辉)·····	(89)
谒金门(秋已暮)·····	(89)

卷三

欧阳炯·····	(93)
浣溪沙(落絮残红半日天)·····	(93)
其二(天碧罗衣拂地垂)·····	(93)
其三(相见休言有泪珠)·····	(93)
三字令(春欲尽)·····	(94)
欧阳炯·····	(94)
南乡子(嫩草如烟)·····	(94)
其二(画舸停桡)·····	(94)
其三(岸远沙平)·····	(95)
其四(洞口谁家)·····	(95)
其五(二八花钿)·····	(95)
其六(路入南中)·····	(95)
其七(袖敛蛟绡)·····	(96)

其八(翡翠鸂鶒)·····	(96)
献衷心(见好花颜色)·····	(96)
贺明朝(忆昔花间初识面)·····	(97)
其二(忆昔花间相见后)·····	(97)
江城子(晚日金陵岸草平)·····	(97)
凤楼春(凤髻绿云丛)·····	(98)
和凝·····	(98)
小重山(春入神京万木芳)·····	(98)
其二(正是神京烂漫时)·····	(99)
临江仙(海棠香老春江晚)·····	(99)
其二(披袍窄地红官锦)·····	(99)
菩萨蛮(越梅半折轻寒里)·····	(100)
山花子(莺锦蝉毂馥麝脐)·····	(100)
其二(银字笙寒调正长)·····	(100)
河满子(正是破瓜年几)·····	(101)
其二(写得鱼笺无限)·····	(101)
薄命女(天欲晓)·····	(101)
望梅花(春草全无消息)·····	(101)
天仙子(柳色披衫金缕凤)·····	(102)
其二(洞口春红飞蔌蔌)·····	(102)
春光好(纱窗暖)·····	(102)
其二(蘋叶软)·····	(102)
采桑子(蜡蛸领上河梨子)·····	(103)
杨柳枝(软碧摇烟似送人)·····	(103)





其二(瑟瑟罗裙金缕腰)·····	(103)
其三(鹊桥初就咽银河)·····	(104)
渔父(白芷汀寒立鹭鸶)·····	(104)
顾夔·····	(104)
虞美人(晓莺啼破相思梦)·····	(104)
其二(触帘风送景阳钟)·····	(105)
其三(翠屏闲掩垂珠箔)·····	(105)
其四(碧梧桐映纱窗晚)·····	(105)
其五(深闺春色劳思想)·····	(106)
其六(少年艳质胜琼英)·····	(106)
河传(燕颔)·····	(106)
其二(曲槛)·····	(107)
其三(棹举)·····	(107)
甘州子(一炉龙麝锦帷傍)·····	(107)
其二(每逢清夜与良晨)·····	(108)
其三(曾如刘阮访仙踪)·····	(108)
其四(露桃花里小楼深)·····	(108)
其五(红炉深夜醉调笙)·····	(108)
玉楼春(月照玉楼春漏促)·····	(109)
其二(柳映玉楼春日晚)·····	(109)
其三(月皎露华窗影细)·····	(109)
其四(拂水双飞来去燕)·····	(110)
顾夔·····	(110)
浣溪沙(春色迷人恨正赊)·····	(110)

其二(红藕香寒翠渚平)·····	(110)
其三(荷菱风轻帘幕香)·····	(111)
其四(惆怅经年别谢娘)·····	(111)
其五(庭菊飘黄玉露浓)·····	(112)
其六(云淡风高叶乱飞)·····	(112)
其七(雁响遥天玉漏清)·····	(112)
其八(露白蟾明又到秋)·····	(112)
酒泉子(杨柳舞风)·····	(113)
其二(罗带绾金)·····	(113)
其三(小槛日斜)·····	(113)
其四(黛薄红深)·····	(114)
其五(掩却菱花)·····	(114)
其六(水碧风清)·····	(114)
其七(黛怨红羞)·····	(115)
杨柳枝(秋夜香闺思寂寥)·····	(115)
遐方怨(帘影细)·····	(115)
献衷心(绣鸳鸯帐暖)·····	(116)
应天长(瑟瑟罗裙金线缕)·····	(116)
诉衷情(香灭帘垂春漏永)·····	(117)
其二(永夜抛人何处去)·····	(117)
荷叶杯(春尽小庭花落)·····	(117)
其二(歌发谁家筵上)·····	(117)
其三(弱柳好花尽拆)·····	(118)
其四(记得那时相见)·····	(118)





其五(夜久歌声怨咽)·····	(118)
其六(我忆君诗最苦)·····	(118)
其七(金鸭香浓鸳被)·····	(119)
其八(曲砌蝶飞烟暖)·····	(119)
其九(一去又乖期信)·····	(119)
渔歌子(晓风清)·····	(119)
临江仙(碧染长空池似镜)·····	(120)
其二(幽闺小槛春光晚)·····	(120)
其三(月色空帘风入竹)·····	(120)
醉公子(漠漠秋云淡)·····	(121)
其二(岸柳垂金线)·····	(121)
更漏子(旧欢娱)·····	(121)
孙光宪·····	(122)
浣溪沙(蓼岸风多橘柚香)·····	(122)
其二(桃杏风香帘幕闲)·····	(122)
其三(花渐凋疏不耐风)·····	(123)
其四(揽镜无言泪欲流)·····	(123)
其五(半踏长裾宛约行)·····	(123)
其六(兰沐初休曲槛前)·····	(124)
其七(风递残香出绣帘)·····	(124)
其八(轻打银筝坠燕泥)·····	(124)
其九(乌帽斜欹倒佩鱼)·····	(125)
河传(太平天子)·····	(125)
其二(柳拖金缕)·····	(125)

其三(花落)·····	(126)
其四(风贴)·····	(126)
菩萨蛮(月华如水笼香砌)·····	(126)
其二(花冠频鼓墙头翼)·····	(127)
其三(小庭花落无人扫)·····	(127)
其四(青岩碧洞经朝雨)·····	(127)
其五(木绵花映丛祠小)·····	(128)
河渚神(汾水碧依依)·····	(128)
其二(江上草芊芊)·····	(128)
虞美人(红窗寂寂无人语)·····	(129)
其二(好风微揭帘旌起)·····	(129)
后庭花(景阳钟动官莺啭)·····	(129)
其二(石城依旧空江国)·····	(130)
生查子(寂寞掩朱门)·····	(130)
其二(暖日策花骢)·····	(130)
其三(金井坠高梧)·····	(131)
临江仙(霜拍井梧干叶堕)·····	(131)
其二(暮雨凄凄深院闭)·····	(131)
酒泉子(空碛无边)·····	(132)
其二(曲槛小楼)·····	(132)
其三(敛态窗前)·····	(132)
清平乐(愁肠欲断)·····	(133)
其二(等闲无语)·····	(133)
更漏子(听寒更)·····	(134)





其二(今夜期)..... (134)

卷四

女冠子(蕙风芝露)..... (137)

其二(淡花瘦玉)..... (137)

风流子(茅舍槿篱溪曲)..... (137)

其二(楼倚长衢欲暮)..... (137)

其三(金络玉衔嘶马)..... (138)

定西番(鸡禄山前游骑)..... (138)

其二(帝子枕前秋夜)..... (138)

河满子(冠剑不随君去)..... (139)

玉蝴蝶(春欲尽)..... (139)

八拍蛮(孔雀尾拖金线长)..... (139)

竹枝(门前春水白蘋花)..... (139)

其二(乱绳千结绊人深)..... (140)

思帝乡(如何)..... (140)

上行杯(草草离亭鞍马)..... (140)

其二(离辔逡巡欲动)..... (141)

谒金门(留不得)..... (141)

思越人(古台平)..... (141)

其二(渚莲枯)..... (142)

杨柳枝(阊门风暖落花干)..... (142)

其二(有池有榭即濛濛)..... (142)

其三(根柢虽然傍浊河)..... (143)

其四(万株枯槁怨亡隋)·····	(143)
望梅花(数枝开与短墙平)·····	(143)
渔歌子(草芊芊)·····	(144)
其二(泛流萤)·····	(144)
魏承班·····	(144)
菩萨蛮(罗裾薄薄秋波染)·····	(144)
其二(罗衣隐约金泥画)·····	(145)
魏承班·····	(145)
满宫花(雪霏霏)·····	(145)
木兰花(小芙蓉)·····	(146)
玉楼春(寂寂画堂梁上燕)·····	(146)
其二(轻敛翠蛾呈皓齿)·····	(146)
诉衷情(高歌宴罢月初盈)·····	(147)
其二(春深花簇小楼台)·····	(147)
其三(银汉云情玉漏长)·····	(147)
其四(金风轻透碧窗纱)·····	(148)
其五(春情满眼脸红绡)·····	(148)
生查子(烟雨晚晴天)·····	(148)
其二(寂寞画堂空)·····	(149)
黄钟乐(池塘烟暖草萋萋)·····	(149)
渔歌子(柳如眉)·····	(149)
鹿虔宸·····	(150)
临江仙(金锁重门荒苑静)·····	(150)
其二(无赖晓莺惊梦断)·····	(150)





女冠子(凤楼琪树)·····	(150)
其二(步虚坛上)·····	(151)
思越人(翠屏欹)·····	(151)
虞美人(卷荷香淡浮烟渚)·····	(151)
阎选·····	(152)
虞美人(粉融红膩莲房绽)·····	(152)
其二(楚腰蛭领团香玉)·····	(152)
临江仙(雨停荷芰逗浓香)·····	(152)
其二(十二高峰天外寒)·····	(153)
浣溪沙(寂寞流苏冷绣茵)·····	(153)
八拍蛮(云锁嫩黄烟柳细)·····	(153)
其二(愁锁黛眉烟易惨)·····	(154)
河传(秋雨)·····	(154)
尹鹗·····	(155)
临江仙(一番荷芰生池沼)·····	(155)
其二(深秋寒夜银河静)·····	(155)
满宫花(月沉沉)·····	(155)
杏园芳(严妆嫩脸花明)·····	(156)
醉公子(暮烟笼藓砌)·····	(156)
菩萨蛮(陇云暗合秋天白)·····	(156)
毛熙震·····	(157)
浣溪沙(春暮黄莺下砌前)·····	(157)
其二(花榭香红烟景迷)·····	(157)
其三(晚起红房醉欲销)·····	(157)

其四(一只横钗坠髻丛)·····	(158)
其五(云薄罗裙绶带长)·····	(158)
其六(碧玉冠轻袅燕钗)·····	(158)
其七(半醉凝情卧绣茵)·····	(159)
临江仙(南齐天子宠婵娟)·····	(159)
其二(幽闺欲曙闻莺转)·····	(160)
更漏子(秋色清)·····	(160)
其二(烟月寒)·····	(160)
女冠子(碧桃红杏)·····	(161)
其二(修蛾慢脸)·····	(161)
清平乐(春光欲暮)·····	(161)
南歌子(远山愁黛碧)·····	(162)
其二(惹恨还添恨)·····	(162)
毛熙震·····	(162)
河满子(寂寞芳菲暗度)·····	(162)
其二(无语残妆淡薄)·····	(163)
小重山(梁燕双飞画阁前)·····	(163)
定西番(苍翠浓阴满院)·····	(163)
木兰花(掩朱扉)·····	(164)
后庭花(莺啼燕语芳菲节)·····	(164)
其二(轻盈舞妓含芳艳)·····	(164)
其三(越罗小袖新香藕)·····	(165)
酒泉子(闲卧绣帏)·····	(165)
其二(钿匣舞鸾)·····	(165)



菩萨蛮(梨花满院飘香雪)·····	(166)
其二(绣帘高轴临塘看)·····	(166)
其三(天寒残碧融春色)·····	(166)
李珣·····	(167)
浣溪沙(入夏偏宜淡薄妆)·····	(167)
其二(晚出闲庭看海棠)·····	(167)
其三(访旧伤离欲断魂)·····	(168)
其四(红藕花香到槛频)·····	(168)
渔歌子(楚山青)·····	(168)
其二(荻花秋)·····	(169)
其三(柳垂丝)·····	(169)
其四(九疑山)·····	(169)
巫山一段云(有客经巫峡)·····	(170)
其二(古庙依青嶂)·····	(170)
临江仙(帘卷池心小阁虚)·····	(170)
其二(莺报帘前暖日红)·····	(171)
南乡子(烟漠漠)·····	(171)
其二(兰桡举)·····	(171)
其三(归路近)·····	(172)
其四(乘彩舫)·····	(172)
其五(倾绿蚁)·····	(172)
其六(云带雨)·····	(172)
其七(沙月静)·····	(173)
其八(渔市散)·····	(173)

其九(拢云髻)·····	(173)
其十(相见处)·····	(173)
女冠子(星高月午)·····	(174)
其二(春山夜静)·····	(174)
酒泉子(寂寞青楼)·····	(174)
其二(雨渍花零)·····	(174)
其三(秋雨联绵)·····	(175)
其四(秋月婵娟)·····	(175)
望远行(春日迟迟思寂寥)·····	(175)
其二(露滴幽庭落叶时)·····	(176)
菩萨蛮(回塘风起波纹细)·····	(176)
其二(等闲将度三春景)·····	(176)
其三(隔帘微雨双飞燕)·····	(177)
西溪子(金缕翠钿浮动)·····	(177)
虞美人(金笼莺报天将曙)·····	(177)
河传(去去)·····	(178)
其二(春暮)·····	(178)
《花间集》跋·····	(179)

尊前集

明皇·····	(183)
好时光(宝髻偏宜宫样)·····	(183)





- 昭宗..... (184)
- 巫山一段云(缥缈云间质)..... (184)
- 又(蝶舞梨园雪)..... (184)
- 庄宗..... (185)
- 一叶落(一叶落)..... (185)
- 阳台梦(薄罗衫子金泥缝)..... (185)
- 歌头·大石调(赏芳春) (186)
- 忆仙姿(曾宴桃源深洞)..... (187)
- 李玉..... (188)
- 一斛珠·商调(晓妆初过) (188)
- 子夜(人生愁恨何能免)..... (189)
- 更漏子·大石调(金雀钗) (190)
- 浣溪沙(手卷真珠上玉钩)..... (190)
- 虞美人·中吕调(春花秋叶何时了) (192)
- 李白..... (194)
- 连理枝·黄钟宫(雪盖官楼闭) (194)
- 清平乐(禁庭春昼)..... (194)
- 又(禁闱清夜)..... (195)
- 又(烟深水阔)..... (196)
- 又(鸾衾凤褥)..... (196)
- 又(画堂晨起)..... (196)
- 菩萨蛮·中吕宫(游人尽道江南好) (197)
- 又(平林漠漠烟如织)..... (198)
- 又(举头忽见衡阳雁)..... (199)

清平调(云想衣裳花想容)·····	(199)
又(一枝红艳露凝香)·····	(200)
又(名花倾国两相欢)·····	(201)
韦应物·····	(202)
调笑(胡马)·····	(202)
又(河汉)·····	(202)
三台(一年一年老去)·····	(203)
又(冰泮寒塘水绿)·····	(203)
王建·····	(204)
官中三台(鱼藻池边射鸭)·····	(204)
又(池北池南草绿)·····	(204)
江南三台(扬州池边少妇)·····	(204)
又(青草台边草色)·····	(205)
又(树头花落花开)·····	(205)
又(斗身强健且为)·····	(205)
官中调笑(团扇)·····	(205)
又(蝴蝶)·····	(206)
又(罗袖)·····	(206)
又(杨柳)·····	(206)
杜牧·····	(207)
八六子(洞房深)·····	(207)
刘禹锡·····	(208)
杨柳枝(塞北梅花羌笛吹)·····	(208)
又(南陌东城春草时)·····	(209)



- 又(凤阙轻遮翡翠帷)..... (209)
- 又(金谷园中莺乱飞)..... (210)
- 又(花萼楼前初种时)..... (210)
- 又(炀帝行宫汴水滨)..... (211)
- 又(御陌青门拂地垂)..... (212)
- 又(城外春风吹酒旗)..... (212)
- 又(轻盈袅娜占年华)..... (213)
- 又(扬子江头烟景迷)..... (214)
- 竹枝(白帝城头春草生)..... (214)
- 又(山桃红花满上头)..... (215)
- 又(江上春来新雨晴)..... (216)
- 又(日出三竿春雾消)..... (216)
- 又(两岸山花似雪开)..... (217)
- 又(瞿塘嘈嘈十二滩)..... (217)
- 又(巫峡苍苍烟雨时)..... (217)
- 又(城西门前滟滪堆)..... (218)
- 又(杨柳青青江水平)..... (218)
- 又(楚水巴山江雨多)..... (219)
- 忆江南(杨柳郁青青)..... (219)
- 又(踏曲兴无穷)..... (220)
- 忆江南(春去也)..... (220)
- 浪淘沙(九曲黄河万里沙)..... (221)
- 又(洛水桥边春日斜)..... (221)
- 又(汴水东流虎眼纹)..... (221)

又(鸚鵡洲头浪飏沙)·····	(221)
又(濯锦江边两岸花)·····	(222)
又(日照澄洲江雾开)·····	(222)
又(八月涛声吼地来)·····	(223)
又(莫道谗言如浪深)·····	(223)
又(流水淘沙不暂停)·····	(223)
潇湘神(湘水流)·····	(223)
又(斑竹枝)·····	(224)
抛球乐(五色绣团圆)·····	(224)
又(春早见花枝)·····	(224)
杨柳枝(迎得春光先到来)·····	(225)
又(巫峡巫山杨柳多)·····	(225)
白居易·····	(226)
杨柳枝(六幺水调家家唱)·····	(226)
又(陶令门前四五树)·····	(227)
又(依依袅袅复青青)·····	(227)
又(红板江桥青酒旗)·····	(227)
又(苏州杨柳任君夸)·····	(228)
又(苏家小女旧知名)·····	(228)
又(叶含浓露如啼眼)·····	(228)
又(人言柳叶似愁眉)·····	(229)
又(一树春风万万枝)·····	(229)
又(一树衰残委泥土)·····	(229)
竹枝(瞿塘峡口水烟低)·····	(230)





又(竹枝苦怨怨何人)·····	(231)
又(巴东船舫上巴西)·····	(231)
又(江畔谁家唱竹枝)·····	(231)
浪淘沙(一泊沙来一泊去)·····	(232)
又(白浪茫茫与海连)·····	(232)
又(青草湖中万里程)·····	(232)
又(借问江潮与海水)·····	(232)
又(海底飞尘终有日)·····	(233)
又(随波逐浪到天涯)·····	(233)
忆江南(江南好)·····	(233)
又(江南忆)·····	(234)
又(江南忆)·····	(235)
宴桃源(前度小花静院)·····	(235)
又(落月西窗惊起)·····	(235)
又(频日雅欢幽会)·····	(236)
卢贞·····	(236)
杨柳枝(一树依依在永丰)·····	(236)
张志和·····	(237)
渔父(西塞山边白鹭飞)·····	(237)
又(钓台渔父褐为裘)·····	(239)
又(云溪湾里钓鱼翁)·····	(239)
又(松江蟹舍主人欢)·····	(239)
又(青草湖中月正圆)·····	(240)
司空图·····	(241)

酒泉子(买得杏花)·····	(241)
韩偓 ·····	(242)
浣溪沙(拢鬓新收玉步摇)·····	(242)
又(宿醉离愁慢髻鬟)·····	(242)
薛能·····	(243)
杨柳枝(华清高树出深宫)·····	(243)
又(洛阳晴景覆江船)·····	(243)
又(嫩绿轻悬似缀旒)·····	(244)
又(暖风晴日断浮埃)·····	(244)
又(潭上江边袅袅垂)·····	(244)
又(汴水高悬百万条)·····	(245)
又(和花烟树九重城)·····	(245)
又(窗外齐垂晓日初)·····	(245)
又(众木犹寒独早青)·····	(246)
又(帐偃纓垂细复繁)·····	(246)
又(数首新词带恨成)·····	(246)
又(高出军营远映桥)·····	(246)
又(县依陶令想嫌迂)·····	(246)
又(朝阳晴照绿杨烟)·····	(247)
又(晴垂芳态吐牙新)·····	(247)
又(暖梳簪朵事登楼)·····	(247)
又(西园高树后庭根)·····	(247)
又(刘白苏台总近时)·····	(248)
成文干·····	(248)



杨柳枝(欲趁寒梅趁得么)·····	(248)
又(轻笼小径近谁家)·····	(248)
又(鹅黄剪出小花钿)·····	(249)
又(东君爱惜与先春)·····	(249)
又(勾践初迎西子年)·····	(249)
又(绿杨移傍小亭栽)·····	(249)
又(远接山河高接云)·····	(249)
又(掩映莺花媚有馀)·····	(250)
又(王孙宴罢曲江池)·····	(250)
又(残照林梢袅数枝)·····	(250)
冯延巳·····	(251)
捣练子(深院静)·····	(251)
谒金门(风又起)·····	(252)
玉楼春(雪云乍变春云簇)·····	(254)
温飞卿·····	(255)
菩萨蛮(玉纤弹处真珠落)·····	(255)
又(南园满地堆轻絮)·····	(255)
又(夜来皓月才当午)·····	(256)
又(雨晴夜合玲珑月)·····	(257)
又(竹风轻动庭除冷)·····	(257)
皇甫松·····	(258)
怨回纥(白首南朝女)·····	(258)
又(祖席驻征棹)·····	(258)
竹枝(槟榔花发鹧鸪啼)·····	(259)

又(木棉花尽荔枝垂)·····	(259)
又(芙蓉并蒂一心连)·····	(259)
又(筵中蜡烛泪珠红)·····	(260)
又(斜江风起动横波)·····	(260)
又(山头桃花谷底杏)·····	(260)
抛球乐(红拨一声飘)·····	(261)
又(金蹙花球小)·····	(261)
韦庄·····	(262)
怨王孙(锦里)·····	(262)
定西蕃(挑尽金灯红烬)·····	(262)
又(芳草丛生结缕)·····	(263)
清平乐(琐窗春暮)·····	(263)
又(绿杨春雨)·····	(263)
张泌·····	(264)
江城子(窄罗衫子薄罗裙)·····	(264)
毛文锡·····	(264)
巫山一段云(貌掩巫山色)·····	(264)
欧阳炯·····	(265)
南歌子(锦帐银灯影)·····	(265)
渔父(摆脱尘机上钓船)·····	(265)
又(风浩寒溪照胆明)·····	(265)
巫山一段云(绛阙登真子)·····	(266)
又(春去秋来也)·····	(266)
春光好(天初暖)·····	(266)



又(花滴露)·····	(267)
又(胸铺雪)·····	(267)
又(磬香散)·····	(268)
又(鸡树绿)·····	(268)
又(芳丛肃)·····	(268)
又(垂绣幔)·····	(268)
又(金簪响)·····	(269)
又(蕖叶嫩)·····	(270)
西江月(月映长江秋水)·····	(270)
又(水上鸳鸯比翼)·····	(271)
赤枣子(夜悄悄)·····	(271)
又(莲脸薄)·····	(271)
女冠子(薄妆桃脸)·····	(272)
又(秋宵秋月)·····	(272)
玉楼春(日照玉楼花似锦)·····	(272)
又(春早玉楼烟雨夜)·····	(273)
更漏子(玉阑干)·····	(273)
又(三十六宫秋夜永)·····	(274)
定风波(暖日闲窗映碧纱)·····	(274)
木兰花(儿家夫婿心容易)·····	(275)
清平乐(春来阶砌)·····	(275)
菩萨蛮(晓来中酒和春睡)·····	(276)
又(红炉暖阁佳人睡)·····	(276)
又(翠眉双脸新妆薄)·····	(276)

又(画屏绣阁三秋雨)·····	(277)
和凝·····	(277)
江城子(初夜含娇入洞房)·····	(277)
又(竹里风生月上门)·····	(277)
又(斗转星移玉漏频)·····	(278)
又(迎得郎来入绣阁)·····	(278)
又(帐里鸳鸯交颈情)·····	(278)
喜迁莺(晓月坠)·····	(279)
麦秀两歧(凉簟铺斑竹)·····	(279)
孙光宪·····	(280)
浣溪沙(风撼芳菲满院香)·····	(280)
又(碧玉衣裳白玉人)·····	(281)
又(何事相逢不展眉)·····	(282)
又(落絮飞花满帝城)·····	(282)
又(静想离愁暗泪零)·····	(282)
又(试问于谁分最多)·····	(283)
又(叶坠空阶折早秋)·····	(283)
又(月淡风和画阁深)·····	(284)
又(自入春来月夜稀)·····	(284)
又(十五年来锦岸游)·····	(284)
定风波(帘拂疏香断碧丝)·····	(274)
南歌子(艳冶青楼女)·····	(285)
又(映月论心处)·····	(285)
应天长(翠凝仙艳非凡有)·····	(286)

生查子(春病与春愁)·····	(286)
又(为惜美人娇)·····	(286)
又(清晓牡丹芳)·····	(286)
又(密雨阻佳期)·····	(287)
遐方怨(红绶带)·····	(287)
更漏子(烛荧煌)·····	(287)
又(掌中珠)·····	(288)
又(对秋深)·····	(288)
又(求君心)·····	(288)
魏承班·····	(289)
生查子(离别又经年)·····	(289)
满宫花(寒夜长)·····	(289)
菩萨蛮(玉容光照菱花影)·····	(290)
谒金门(烟水阔)·····	(290)
又(春欲半)·····	(290)
又(长思忆)·····	(291)
阎选·····	(291)
谒金门(美人浴)·····	(291)
定风波(江水沉沉帆影过)·····	(292)
尹鹗·····	(292)
江城子(裙拖碧)·····	(292)
何满子(云雨常陪胜会)·····	(293)
女冠子(双成伴侣)·····	(293)
菩萨蛮(呜呜晓角调如语)·····	(294)

又(锦茵闲衬丁香枕)·····	(294)
拨棹子(风切切)·····	(294)
又(丹脸腻)·····	(295)
金浮图(繁华地)·····	(295)
秋夜月(三秋佳节)·····	(296)
清平乐(低红敛翠)·····	(297)
又(芳年妙伎)·····	(298)
李珣·····	(298)
中兴乐(后庭寂寂日初长)·····	(298)
渔父(水接衡门十里馀)·····	(299)
又(避世垂纶不记年)·····	(299)
又(棹警鸥飞水溅袍)·····	(299)
南乡子(携笼去)·····	(300)
又(云髻重)·····	(300)
又(登画舸)·····	(300)
又(双髻坠)·····	(300)
又(红豆蔻)·····	(301)
又(山果熟)·····	(301)
又(新月上)·····	(301)
定风波(志在烟霞慕隐沦)·····	(302)
又(十载逍遥物外居)·····	(302)
又(又见新巢燕子归)·····	(303)
又(雁过秋空夜未央)·····	(303)
又(帘外烟和月满庭)·····	(303)



西溪子(马上见时如梦)·····	(304)
又(金缕翠钿浮动)·····	(304)
李玉·····	(304)
望江南(多少恨)·····	(304)
又(多少泪)·····	(305)
更漏子·大石调(柳丝长)·····	(305)
蝶恋花(遥夜亭皋闲信步)·····	(306)
清平乐(别来春半)·····	(306)
采桑子·羽调(亭前春逐红英尽)·····	(307)
喜迁莺(晓月坠)·····	(307)
浣溪沙(菡萏香消翠叶残)·····	(308)
冯延巳·····	(308)
罗敷艳歌(小庭雨过春将尽)·····	(308)
又(马嘶人语春风岸)·····	(309)
更漏子·商调(夜初长)·····	(309)
又(玉炉烟)·····	(310)
临江仙(冷红飘起桃花片)·····	(310)
虞美人(画帘新霁情萧索)·····	(311)
又(碧波朱户垂帘幕)·····	(311)
李玉·····	(312)
子夜啼(花明月暗笼轻雾)·····	(312)
庾传素·····	(312)
木兰花(木兰红艳多情态)·····	(312)
刘侍读·····	(313)

生查子·双调(深秋更漏长)	(313)
欧阳彬左丞	(313)
生查子(竟日画堂欢)	(313)
许岷	(314)
木兰花(小庭日晚花零落)	(314)
又(江南日暖芭蕉展)	(314)
林楚翘	(315)
菩萨蛮·中吕宫(画堂春昼垂珠箔)	(315)
薛昭蕴	(315)
谒金门(春满院)	(315)
徐昌图	(316)
木兰花·双调(沉檀烟起盘红雾)	(316)
临江仙(饮散离亭西去)	(317)
河传(秋光满目)	(317)



花间集

《花间集》原序

镂玉雕琼，拟化工而迥巧；裁花剪叶，夺春艳以争鲜。是以唱云谣则金母词清，挹霞醴则穆王心醉。名高白雪，声声而自合鸾歌；响遏行云，字字而偏谐凤律。杨柳大堤之句，乐府相传；芙蓉曲渚之篇，豪家自制。莫不爭高门下，三千玳瑁之簪；竞富尊前，数十珊瑚之树。则有绮筵公子，绣幌佳人，递叶叶之花笺，文抽丽锦；举纤纤之玉指，拍按香檀。不无清绝之辞，用助娇娆之态。自南朝之官体，扇北里之倡风。何止言之不文，所谓秀而不实。有唐已降，率土之滨，家家之香径春风，宁寻越艳；处处之红楼夜月，自锁嫦娥。在明皇朝，则有李太白之应制《清平乐》调四首。近代温飞卿复有《金筌集》。迩来作者，无愧前人。今卫尉少卿，字弘基，以拾翠洲边，自得羽毛之异；织绡泉底，独殊机杼之功。广会众宾，时延佳论。因集近来诗客曲子词五百首，分为十卷。以炯粗预知音，辱请命题，仍为序引。昔郢人有歌阳春者，号为绝唱，乃命之为《花间集》。庶使西园英哲，用资羽盖之欢；南国婵娟，休唱莲舟之引。

时大蜀唐广政三年夏四月日，欧阳炯序。

（娄县季许书）



《花间集》叙

自三百篇降而骚、赋，骚、赋不便入乐；降而古乐府，古乐府不入俗；降而以绝句为乐府，绝句少婉转；则又降而为词。故宋人遂以为词者诗之余也。乃北地李献吉之言曰：“诗至唐，古调亡矣。然自有唐调可歌咏，犹足被管弦。宋人主理不主调，于是唐调亦亡。”尝考唐调所始，必以李太白《菩萨蛮》、《忆秦娥》及杨用修所传《清平乐》为开山。而陶宏景之《寒夜怨》，梁武帝之《江南弄》，陆琼之《饮酒乐》，隋炀帝之《望江南》，又为太白开山。若唐宣宗所称“牡丹带露真珠颗”《菩萨蛮》一阙，又不知何时何许人，而其为《花间集》先声，盖可知矣。

《花间集》久失其传。正德初，杨用修游昭觉寺，寺故孟氏宣华宫故址，始得其本，行于南方。《诗余》流遍人间，枣梨充栋，而讥评赏誉之者亦复称是，不若留心《花间集》者之寥寥也，余于《牡丹亭》亭梦之暇，结习不忘，试取而点次之，评鹭之，期世之有志风雅者，与《诗余》互赏。而唐调之反而乐府，而骚、赋，而三百篇也。诗其不亡也夫！诗其不亡也夫！

万历乙卯，春日，清远道人汤显祖题于玉茗堂。

【花
间
集】

卷

一

〔唐〕赵崇祚
集

〔明〕汤显祖
评



温庭筠

菩萨蛮

小山重迭金明灭，鬓云欲度香腮雪。懒起画蛾眉，
弄妆梳洗迟。

照花前后镜，花面交相映。新帖绣罗襦，双双金鹧
鸪。

【笺评】

芑《花间集》者，颇以温飞卿《菩萨蛮》十四首，而李翰林一首
为词家鼻祖，以生不同时，不得例入。今读之，李如邈姑仙子，以
脱尽人间烟火气。温如芙蓉浴碧，杨柳挹青，意中之意，言外之
言，无不巧隽而妙入。珠璧相耀，正自不妨并美。

其 二

水精帘里颇黎枕，暖香惹梦鸳鸯锦。江上柳如烟，
雁飞残月天。

藕丝秋色浅，人胜参差剪。双鬓隔香红，玉钗头上
风。

其 三

蕊黄无限当山额，宿妆隐笑纱窗隔。相见牡丹时，



暂来还别离。

翠钗金作股，钗上双蝶舞。心事竟谁知，月明花满枝。

其 四

翠翘金缕双鸂鶒，水纹细起春池碧。池上海棠梨，雨晴红满枝。

绣衫遮笑靥，烟草粘飞蝶。青琐对芳菲，玉门音信稀。

其 五

杏花含露团香雪，绿杨陌上多离别。灯在月胧明，觉来闻晓莺。

玉钩褰翠幕，妆浅旧眉薄。春梦正关情，镜中蝉鬓轻。

【笺评】

碧纱如烟隔窗语，得画家三昧，此更觉微远。

其 六

玉楼明月长相忆，柳丝袅娜春无力。门外草萋萋，

送君闻马嘶。

画罗金翡翠，香烛销成泪。花落子规啼，绿窗残梦迷。

其 七

凤凰相对盘金缕，牡丹一夜经微雨。明镜照新妆，
鬟轻双脸长。

画楼相望久，栏外垂丝柳。音信不归来，社前双燕回。

【笺评】

眼前景，非会心人不知。

其 八

牡丹花谢莺声歇，绿杨满院中庭月。相忆梦难成，
背窗灯半明。

翠钿金压脸，寂寞香闺掩。人远泪阑干，燕飞春又残。

其 九

满宫明月梨花白，故人万里关山隔。金雁一双飞，





泪痕沾绣衣。

小园芳草绿，家住越溪曲。杨柳色依依，燕归君不归。

【笺评】

兴语似李贺，结语似李白，中间平调而已。

其 十

宝函钿雀金鸂鶒，沉香关上吴山碧。杨柳又如丝，驿桥春雨时。

画楼音信断，芳草江南岸。鸾镜与花枝，此情谁得知。

【笺评】

“沉香”、“芳草”句，皆诗中画。

其十一

南园满地堆轻絮，愁闻一霎清明雨。雨后却斜阳，杏花零落香。

无言匀睡脸，枕上屏山掩。时节欲黄昏，无柰独倚门。

其十二

夜来皓月才当午，重帘悄悄无人语。深处麝烟长，

卧时留薄妆。

当年还自惜，往事那堪忆。花落月明残，锦衾知晓寒。

其十三

雨晴夜合玲珑日，万枝香袅红丝拂。闲梦忆金堂，
满庭萱草长。

绣帘垂玳瑁，眉黛远山绿。春水渡溪桥，凭栏魂欲销。

其十四

竹风轻动庭除冷，珠帘月上玲珑影。山枕隐秣妆，
绿檀金凤凰。

两蛾愁黛浅，故国吴宫远。春恨正关情，画楼残点声。

【笺评】

十五调中如“团”字、“留”字、“晋”字、“冷”字皆一字法。如“惹梦”，如“香雪”，皆二字法。如“当山额”，如“金压脸”，皆三字法，四五字、六七字皆有法。解人当自知之，不能悉记。

【附按】

“十五调”当为“十四调”。



更漏子

柳丝长，春雨细，花外漏声迢递。惊塞雁，起城乌，
画屏金鹧鸪。

香雾薄，透帘幕，惆怅谢家池阁。红烛背，绣帘垂，
梦长君不知。

其二

星斗稀，钟鼓歇，帘外晓莺残月。兰露重，柳风斜，
满庭堆落花。

虚阁上，倚阑望，还似去年惆怅。春欲暮，思无穷，
旧欢如梦中。

【笺评】

“帘外晓莺残月”，妙矣，而“杨柳晓风残月”更过之。宋诗远不及唐，而词多不让，其故殆不可解。

其三

金雀钗，红粉面，花里暂时相见。知我意，感君怜，
此情须问天。

香作穗，蜡成泪，还似两人心意。山枕腻，锦衾寒，

觉来更漏残。

其 四

相见稀，相忆久，眉浅淡烟如柳。垂翠幕，结同心，
侍郎熏绣衾。

城上月，白如雪，蝉鬓美人愁绝。宫树暗，鹊桥横，
玉籤初报明。

【笺评】

口头语，平衍不俗，亦是填词当家。

其 五

背江楼，临海月，城上角声呜咽。堤柳动，岛烟昏，
两行征雁分。

西陵路，归帆渡，正是芳菲欲度。银烛尽，玉绳低，
一声村落鸡。

【笺评】

句好。

其 六

玉炉香，红蜡泪，偏照画堂秋思。眉翠薄，鬓云残，



夜长衾枕寒。

梧桐树，三更雨，不道离情正苦。一叶叶，一声声，空阶滴到明。

归国遥

香玉，翠凤宝钗垂篆褭。钿筐交胜金粟，越罗春水绿。

画堂照帘残烛，梦余更漏促。谢娘无限心曲，晓屏山断续。

【笺评】

芙蓉脂膩绿云鬟，故觉钗头玉亦香。

其二

双脸，小凤战篦金贴艳。舞衣无力风敛，藕丝秋色染。

锦帐绣帏斜掩，露珠清晓簟。粉心黄蕊花靥，黛眉山两点。

酒泉子

花映柳条，吹向绿萍池上。凭阑干，窥细浪，雨萧萧。

近来音信两疏索，洞房空寂寞。掩银屏，垂翠箔，度春宵。

【笺评】

《酒泉子》强半用三字句最易。

其 二

日映纱窗，金鸭小屏山碧。故乡春，烟霭隔，背兰缸。

宿妆惆怅倚高阁，千里云影薄。草初齐，花又落，燕双双。

其 三

楚女不归，楼枕小河春水。月孤明，风又起，杏花稀。

玉钗斜簪云鬓髻，裙上金缕凤。八行书，千里梦，雁南归。

其 四

罗带惹香，犹系别时红豆。泪痕新，金缕旧，断离肠。





一双娇燕语雕梁，还是去年时节。绿杨浓，芳草歇，
柳花狂。

【笺评】

全四调中纤词丽语，转折自如，能品也。

定西番

汉使昔年离别，攀弱柳，折寒梅，上高台。

千里玉关春雪，雁来人不来。羌笛一声愁绝，月徘徊。

【笺评】

“月徘徊”是“香稻啄馀鸂鶒粒”句法。

其二

海燕欲飞调羽，萱草绿，杏花红。隔帘栊。

双鬓翠霞金缕，一枝春艳浓。楼上月明三五，琐窗
中。

【笺评】

不知秋思在谁家。

其三

细雨晓莺春晚，人似玉，柳如眉。正相思。

罗幕翠帘初卷，镜中花一枝。肠断塞门消息，雁来稀。

杨柳枝

宜春花外又长条，闲袅春风伴舞腰。正是玉人肠绝处，一渠春水赤栏桥。

其二

南内墙东御路傍，须知春色柳丝黄。杏花未肯无情思，何事行人最断肠。

其三

苏小门前柳万条，毵毵金线拂平桥。黄莺不语东风起，深闭朱门伴舞腰。

其四

金缕毵毵碧瓦沟，六宫眉黛惹春愁。晚来更带龙池雨，半拂阑干半入楼。



其 五

馆娃宫外邺城西，远映征帆近拂堤。系得王孙归意切，不同芳草绿萋萋。

其 六

两两黄鹂色似金，袅枝啼露动芳音。春来幸自长如线，可惜牵缠荡子心。

其 七

御柳如丝映九重，凤凰窗映绣芙蓉。景阳楼畔千条路，一面新妆待晓风。

其 八

织锦机边莺语频，停梭垂泪忆征人。塞门三月犹萧索，纵有垂杨未觉春。

【笺评】

《杨柳枝》，唐自刘禹锡、白居易而下凡数十首。然惟咏史、咏物、比讽、隐含，方能各极其妙。如“飞入宫墙不见人”、“随风好去入谁家”、“万树千条各自垂”等什，皆感物写怀，言不尽意，

真托咏之名匠也，此中三、五、卒章，直堪方驾刘、白。

南歌子

手里金鹦鹉，胸前绣凤凰。偷眼暗形相。不如从嫁
与，作鸳鸯。

其 二

似带如丝柳，团酥握雪花。帘卷玉钩斜。九衢尘欲
暮，逐香车。

其 三

倭堕低梳髻，连娟细扫眉。终日两相思。为君憔悴
尽，百花时。

其 四

脸上金霞细，眉间翠钿深。欹枕覆鸳衾。隔帘莺百
啭，感君心。



其 五

扑蕊添黄子，呵花满翠鬟。鸳枕暗屏山。月明三五夜，对芳颜。

【笺评】

“扑蕊”“呵花”四字，从未经人道过。

其 六

转盼如波眼，娉婷似柳腰。花里暗相招。忆君肠欲断，恨春宵。

其 七

懒拂鸳鸯枕，休缝翡翠裙。罗帐罢炉熏。近来心更切，为思君。

【笺评】

短调中能尖新而转换，自觉隽永可思。腐句腐字一毫用不着。

河渚神

河上望丛祠，庙前春雨来时。楚山无限鸟飞迟，兰

棹空伤别离。

何处杜鹃啼不歇，艳红开尽如血，蝉鬓美人愁绝，百花芳草佳节。

其 二

孤庙对寒潮，西陵风雨萧萧。谢娘惆怅倚兰桡，泪
流玉箸千条。

暮天愁听思归乐，早梅香满山郭。回首两情萧索，
离魂何处飘泊？

其 三

铜鼓赛神来，满庭幡盖徘徊。水村江浦过风雷，楚
山如画烟开。

离别橹声空萧索，玉容惆怅妆薄。青麦燕飞落落，
卷帘愁对珠阁。

【笺评】

二词颇无深致，亦流千古并传。《柏梁》、《金谷》、《兰亭》带
契中乘人不少，上驷之冤，亦下驷之幸耶？阁笔为之一噓。

女冠子

含娇含笑，宿翠残红窈窕。鬓如蝉。寒玉簪秋水，



轻纱卷碧烟。

雪胸鸾镜里，琪树凤楼前。寄语青娥伴，早求仙。

【笺评】

“宿翠残红窈窕”，新装初试，当更妩媚撩人。情语不当为登徒子见也。

其 二

霞帔云发，钿镜仙容似雪。画愁眉。遮语回轻扇，
含羞下绣帏。

玉楼相望久，花洞恨来迟。早晚乘鸾去，莫相遗。

玉蝴蝶

秋风凄切伤离，行客未归时。塞外草先衰，江南雁
到迟。

芙蓉雕嫩脸，杨柳堕新眉。摇落使人悲，断肠谁得
知。

温庭筠

清平乐

上阳春晚，宫女愁蛾浅。新岁清平思同辇，争那长安路远。

风帐鸳被徒熏，寂寞花锁千门。竟把黄金买赋，为妾将上明君。

【笺评】

《清平乐》亦创自太白，见吕鹏《遏云集》，凡四首。黄玉林以二首无清逸，气韵促促，删去，殊恼人。此二词不知应作何去取。

其二

洛阳愁绝，杨柳花飘雪。终日行人争攀折，桥下水流呜咽。

上马争劝离觞，南浦莺声断肠。愁杀平原年少，回首挥泪千行。

遐方怨

凭绣槛，解罗帏。未得君书，断肠潇湘春雁飞。不知征马几时归，海棠花谢也，雨霏霏。





其二

花半坼，雨初晴。未卷珠帘，梦残惆怅闻晓莺。宿
妆眉浅粉山横。约鬟鸾镜里，绣罗轻。

诉衷情

莺语，花舞，春昼午，雨霏微。金带枕，宫锦凤凰帷。
柳弱蝶交飞依依。辽阳音信稀，梦中归。

思帝乡

花花，满枝红似霞。罗袖画帘肠断，卓香车。回面
共人闲语，战篋金凤斜。唯有阮郎春尽，不归家。

梦江南

千万恨，恨极在天涯。山月不知心里事，水风空落
眼前花，摇曳碧云斜。

【笺评】

风华情致，六朝人之长短句也。

其 二

梳洗罢，独倚望江楼。过尽千帆皆不是，斜晖脉脉
水悠悠，肠断白蘋洲。

【笺评】

“朝朝江上望，错认几人船。”同一结想。

河 传

江畔，相唤。晓妆鲜，仙景个女采莲。请君莫向那
岸边。少年。好花新满船。

红袖摇曳逐风暖，垂玉腕，肠向柳丝断。浦南归，浦
北归，莫知。晚来人已稀。

其 二

湖上，闲望。雨萧萧，烟浦花桥路遥。谢娘翠蛾愁
不销，终朝。梦魂迷晚潮。

荡子天涯归棹远，春已晓，莺语空肠断。若耶溪，溪
水西，柳堤，不闻郎马嘶。





其 三

同伴，相唤。杏花稀，梦里每愁依违。仙客一去燕已飞。不归。泪痕空满衣。

天际云鸟引情远，春已晓，烟霭渡南苑。雪梅香，柳带长。小娘。转令人意伤。

【笺评】

三词俱少轻倩，似不宜于十七八女孩儿之红牙拍歌，又无关西大汉执铁钲板气概，恐无当也。

蕃女怨

万枝香雪开已遍，细雨双燕。钿蝉筝，金雀扇，画梁相见。雁门消息不归来，又飞回。

其 二

碛南沙上惊雁起，飞雪千里。玉连环，金镞箭，年年征战。画楼离恨锦屏空，杏花红。

荷叶杯

一点露珠凝冷，波影，满池塘。绿茎红艳两相乱，肠

断,水风凉。

其 二

镜水夜来秋月,如雪,采莲时。小娘红粉对寒浪,惆
怅,正思惟。

其 三

楚女欲归南浦,朝雨,湿愁红。小船摇漾入花里,波
起,隔西风。

【笺评】

唐人多缘题起词,如《荷叶杯》,佳题也。此公按题矣,词短
而无深味;韦相尽多佳句,而又与题茫然,令人不无遗憾。

皇甫松

天仙子

晴野鹭鸶飞一只,水荇花发秋江碧。刘郎此日别天
仙,登绮席,泪珠滴,十二晚峰高历历。





【笺评】

余有诗云：“推窗历历数晴峰。”恍与此合。

其二

踣躅花开红照水，鸂鶒飞绕青山觜。行人经岁始归来，
千万里，错相倚，懊恼天仙应有以。

浪涛沙

滩头细草接疏林，浪恶罨船半欲沉。宿鹭眠鸥非旧
浦，去年沙觜是江心。

【笺评】

桑田沧海，一语破尽。红颜变为白发，美少年化为鸡皮老
翁，感慨系之矣！

其二

蛮歌豆蔻北人愁，浦雨杉风野艇秋，浪起鸂鶒眠不
得，寒沙细细入江流。

杨柳枝

春入行宫映翠微，玄宗侍女舞烟丝。如今柳向空城

绿，玉笛何人更把吹。

其 二

烂漫春归水国时，吴王宫殿柳丝垂。黄莺长叫空闺伴，西子无因更得知。

摘得新

酌一卮，须教玉笛吹。锦筵红蜡烛，莫来迟。繁红一夜经风雨，是空枝。

【笺评】

“自是寻春去较迟”，情痴之感，亦负心之痛也。摘得新者，自不落风雨之后。

其 二

摘得新，枝枝叶叶春。管弦兼美酒，最关人。平生那得几十度，展香茵。

【笺评】

敲醒世人蕉梦，急当着眼。



梦江南

兰烬落，屏上暗红蕉。闲梦江南梅熟日，夜船吹笛雨萧萧，人语驿边桥。

【笺评】

好景多在闲时，风雨萧萧何害。

其二

楼上寝，残月下帘旌。梦见秣陵惆怅事，桃花柳絮满江城，双髻坐吹笙。

采莲子

菡萏香莲十顷陂，举棹，小姑贪戏采莲迟年少。晚来弄水船头湿，更脱红裙裹鸭儿年少。

其二

船动湖光滟滟秋，举棹，贪看年少信船流年少。无端隔水抛莲子，遥被人知半日羞年少。

【笺评】

人情中语，体贴工致，不减靓面见之。

韦 庄

浣溪沙

清晓妆成寒食天，柳球斜袅间花钿，卷帘直出画堂前。

指点牡丹初绽朵，日高犹自凭朱栏，含嚙不语恨春残。

其 二

欲上秋千四体慵，拟交人送又心忪，画堂帘幕月明风。

此夜有情谁不极，隔墙梨雪又玲珑，玉容憔悴惹微红。

【笺评】

“忪”字亦凑韵。

其 三

惆怅梦馀三月斜，孤灯照碧背窗纱，小楼高阁谢娘家。

暗想玉容何所似，一枝春雪冻梅花，满身香雾簇朝



霞。

【笺评】

以“暗想”句问起，越见下二句形容快绝。

其 四

绿树藏莺莺正啼，柳丝斜拂白铜堤，弄珠江上草萋萋。

日暮饮归何处客，绣鞍骢马一声嘶，满身兰麝醉如泥。

【笺评】

痛饮真吾师。

其 五

夜夜相思更漏残，伤心明月凭阑干，想君思我锦衾寒。

咫尺画堂深似海，忆来唯把旧书看，几时携手入长安。

【笺评】

“想君”“忆来”二句，皆意中意、言外言也。水中着盐，甘苦自知。

菩萨蛮

红楼别夜堪惆怅，香灯半卷流苏帐。残月出门时，
美人泪辞。

琵琶金翠羽，弦上黄莺语。劝我早归家，绿窗人似
花。

【笺评】

词本《菩萨蛮》，而语近《江南弄》、《梦江南》等，亦作者之变
风也。

其二

人人尽说江南好，游人只合江南老。春水碧于天，
画船听雨眠。

炉边人似月，皓腕凝双雪。未老莫还乡，还乡须断
肠。

【笺评】

江南好，只如此耶。

其三

如今却忆西湖乐，当时年少春衫薄。骑马倚斜桥，
满楼红袖招。

翠屏金屈曲，醉入花丛宿。此度见花枝，白头誓不归。

其 四

劝君今夜须沉醉，樽前莫话明朝事。珍重主人心，酒深情亦深。

须愁春漏短，莫诉金杯满，遇酒且呵呵，人生能几何！

【笺评】

一起一结，直写旷达之思，与郭璞《游仙》、阮籍《述怀》，将毋同调。

其 五

洛阳城里春光好，洛阳才子他乡老。柳暗魏王堤，此时心转迷。

桃花春水绿，水上鸳鸯浴。凝恨对残辉，忆君君不知。

【笺评】

可怜，可怜，使我心恻。

归国遥

春欲暮，满地落花红带雨。惆怅玉笼鹦鹉，单栖无

伴侣。

南望去程何许？问花花不语。早晚得同归去，恨无双翠羽。

【笺评】

还不是解语花，不问也得。

其 二

金翡翠，为我南飞传我意。罨画桥边春水，几年花下醉。

别后只知相愧，泪珠难远寄，罗幕绣帏鸳被，旧欢如梦里。

其 三

春欲晚，戏蝶游蜂花烂漫。日落谢家池馆，柳丝金缕断。

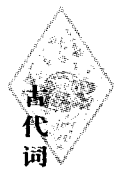
睡觉绿鬟风乱，画屏云雨散。闲倚博山长叹，泪流沾皓腕。

【笺评】

好光景。

应天长

绿槐阴里黄莺语，深院无人春昼午。画帘垂，金凤



舞，寂寞绣屏香一炷。

碧天云，无定处。空有梦魂来去。夜夜绿窗风雨，
断肠君信否？

其二

别来半岁音书绝，一寸离肠千万结，难相见，易相
别，又是玉楼花似雪。

暗相思，无处说，惆怅夜来烟月。想得此时情切，泪
沾红袖颧。

【笺评】

唐人西边之州，伊、梁、甘、石、渭、氏。《六州歌头》本鼓吹曲
也，以古兴亡事实之，音调悲壮，闻之使人慷慨。故宋人大祀大
恤皆用之。国朝则用《应天长》，然非此艳体也。

荷叶杯

绝代佳人难得，倾国，花下见无期。一双愁黛远山
眉，不忍更思惟。

闲掩翠屏金凤，残梦，罗幕画堂空。碧天无路信难
通，惆怅旧房栊。

其二

记得那年花下，深夜，初识谢娘时。水堂西面画帘

垂，携手暗相期。

惆怅晓莺残月，相别，从此隔音尘。如今俱是异乡人，（汤评：“惨”。）相见更无因。

【笺评】

情景逼真，自与寻常艳语不同。

清平乐

春愁南陌，故国音书隔。细雨霏霏梨花白，燕拂画帘金额。

尽日相望王孙，尘满衣上泪痕。谁向桥边吹笛，驻马西望销魂。

其二

野花芳草，寂寞关山道。柳吐金丝莺语早，惆怅香闺暗老。

罗带悔结同心，独凭朱栏思深。梦觉半床斜月，小窗风触鸣琴。

【笺评】

坡老咏琴，已脱风幡之案。“风触鸣琴”，是风？是琴？须更转一解。



其 三

何处游女，蜀国多云雨。云解有情花解语，窄地绣罗金缕。

妆成不整金钿，含羞待月秋千。住在绿槐阴里，门临春水桥边。

其 四

莺啼残月，绣阁香灯灭。门外马嘶郎欲别，正是落花时节。

妆成不画蛾眉，含羞独倚金扉。去路香尘莫扫，扫即郎去归迟。

【笺评】

情与时会，倍觉其惨，如此想头，几转《法华》。

望远行

欲别无言倚画屏，含恨暗伤情，谢家庭树锦鸡鸣，残月落边城。

人欲别，马频嘶，绿槐千里长堤。出门芳草路萋萋，云雨别来易东西。不忍别君后，却入旧香闺。

韦 庄

谒金门

春漏促，金烬暗挑残烛。一夜帘前风撼竹，梦魂相断续。

有个娇娆如玉，夜夜绣屏孤宿。（汤评：“惨”。）闲抱琵琶寻旧曲，远山眉黛绿。

【笺评】

情不知所起，一往而深。“闲抱琵琶寻旧曲”，直是无聊之思。

其 二

空相忆，无计得传消息。天上嫦娥人不识，寄书何处觅。

新睡觉来无力，不忍把伊书迹。满院落花春寂寂，断肠芳草碧。

江城子

恩重娇多情易伤，漏更长，解鸳鸯。朱唇未动，先觉口脂香。缓揭绣衾抽皓腕，移凤枕、枕潘郎。





【笺评】

全篇摹画乐境，而不觉其流连狼藉，言简而旨远矣。

其二

髻鬟狼籍黛眉长，出兰房，别檀郎。角声呜咽，星斗渐微茫。露冷月残人未起，留不住、泪千行。

河 传

何处，烟雨。隋堤春暮，柳色葱茏。画桡金缕，翠旗高飏香风，水光融。

青娥殿脚春妆媚，轻云里，绰约司花妓。江都宫阙，清淮月映迷楼，古今愁。

【笺评】

“清淮月映”句，感慨一时，涕泪千古。

其二

春晚，风暖。锦城花满，狂杀游人。玉鞭金勒，寻胜驰骤轻尘，惜良晨。

翠娥争劝临邛酒，纤纤手，拂面垂丝柳。归时烟里，钟鼓正是黄昏，暗销魂。

其 三

锦浦，春女。绣衣金缕，雾薄云轻。花深柳暗，时节正是清明，雨初晴。

玉鞭魂断烟雾路，莺莺语，一望巫山雨。香尘隐映，遥望翠槛红楼，黛眉愁。

天仙子

怅望前回梦里期，看花不语苦寻思。露桃宫里小腰肢，眉眼细，鬓云垂，唯有多情宋玉知。

其 二

深夜归来长酩酊，扶入流苏犹未醒。醺醺酒气麝兰和。惊睡觉，笑呵呵，长道人生能几何。

【笺评】

有此和法，便不觉其酒气。虽烂醉如泥，受用矣。

其 三

蟾彩霜华夜不分，天外鸿声枕上闻。绣衾香冷懒重熏。人寂寂，叶纷纷，才睡依前梦见君。

其 四

梦觉云屏依旧空，杜鹃声咽隔帘栊。玉郎薄幸去无踪。一日日，恨重重，泪界莲腮两线红。

【笺评】

以上四首俱佳绝，卒章何率意乃尔！岂强弩之末，江淹才尽耶？

其 五

金似衣裳玉似身，眼如秋水鬓如云。霞裙月帔一群群。来洞口，望烟分，刘阮不归春日曛。

【笺评】

无此结句，确乎当删。

喜迁莺

人汹汹，鼓冬冬，襟袖五更风。大罗天上月朦胧，骑马上虚空。

香满衣，云满路，鸾凤绕身飞舞。霓旌绛节一群群，引见玉华君。

其 二

街鼓动，禁城开，天上探人回。凤衔金榜出云来，平地一声雷。

莺已迁，龙已化，一夜满城车马。家家楼上簇神仙，争看鹤冲天。

【笺评】

读《张道陵传》，每恨白日鬼话，便头疼欲睡，二词亦复类此。

思帝乡

云髻坠，风钗垂。髻坠钗垂无力，枕函欹。翡翠屏深月落，漏依依。说尽人间天上，两心知。

其 二

春日游，杏花吹满头。陌上谁家年少，足风流。妾拟将身嫁与，一生休。纵被无情弃，不能羞。

诉衷情

烛烬香残帘半卷，梦初惊。花欲谢，深夜，月胧明。何处按歌声，轻轻。舞衣尘暗生，负春情。



其二

碧沼红芳烟雨静，倚兰桡。垂玉珮，交带，袅纤腰。
鸳梦隔星桥，迢迢。越罗香暗销，坠花翘。

【笺评】

此词在成都作。蜀之伎女，至今有花翘之饰，名曰“翘花儿”云。

上行杯

芳草灞陵春岸，柳烟深，满楼弦管，一曲离声肠寸断。

今日送君十万，红缕玉盘金缕盏。须劝，珍重意，莫辞满。

其二

白马玉鞭金轡，少年郎，别离容易，迢递去程千万里。

惆怅异乡云水，满酌一杯劝和泪。须愧，珍重意，莫辞醉。

女冠子

四月十七，正是去年今日。别君时。忍泪佯低面，
含羞半敛眉。

不知魂已断，空有梦相随。除却天边月，没人知。

【笺评】

直抒情绪，怨而不怒，《骚》、《雅》之遗也。但嫌与题义少远，
类今日之博士家言。

其二

昨夜夜半，枕上分明梦见。语多时。依旧桃花面，
频低柳叶眉。

半羞还半喜，欲去又依依。觉来知是梦，不胜悲。

更漏子

钟鼓寒，楼阁暝，月照古桐金井。深院闭，小庭空，
落花香露红。

烟柳重，春雾薄，灯背水窗高阁。闲倚户，暗沾衣，
待郎郎不归。



【花
间
集】

卷 二

〔唐〕赵崇祚
集

〔明〕汤显祖
评

酒泉子

月落星沉，楼上美人春睡。绿云倾，金枕腻，画屏深。

子规啼破相思梦，曙色东方才动。柳烟轻，花露重，思难任。

【笺评】

不做美的子规，故当夜半啼血。

木兰花

独上小楼春欲暮，愁望玉关芳草路。消息断，不逢人，却敛细眉归绣户。

坐看落花空叹息，罗袂湿斑红泪滴。千山万水不曾行，魂梦欲教何处觅。

【笺评】

与“梦中不识路”，“打起黄莺儿”，可并不朽。

小重山

一闭昭阳春又春。夜寒宫漏永，梦君恩。卧思陈事暗消魂。罗衣湿，红袂有啼痕。

歌吹隔重闾。绕庭芳草绿，倚长门。万般惆怅向谁论？颦情立，宫殿欲黄昏。

【笺评】

向作“新搵旧啼痕”，语更超远。“宫殿欲黄昏”，何等凄绝！
官词中妙句也。

薛昭蕴

浣溪沙

红蓼渡头秋正雨，印沙鸥迹自成行，整鬟飘袖野风香。

不语含嗔深浦里，几回愁煞棹船郎，燕归帆尽水茫茫。

【笺评】

天空鸟飞，水落石出，凡境皆然。

其二

钿匣菱花锦带垂，静临兰槛卸头时，约鬟低珥算归期。

茂苑草青湘渚阔，梦余空有漏依依，二年终日损芳

扉。

其 三

粉上依稀有泪痕，郡庭花落敛黄昏，远情深恨与谁论？

记得去年寒食日，延秋门外卓金轮，日斜人散暗销魂。

其 四

握手河桥柳似金，蜂须轻惹百花心，蕙风兰思寄清琴。

意满便同春水满，情深还似酒杯深，楚烟湘月两沉沉。

【笺评】

俗笔。

其 五

帘下三间出寺墙，满街垂柳绿阴长，嫩红轻翠间浓妆。

瞥地见时犹可可，却来闲处暗思量，如今情事隔仙



乡。

【笺评】

瞥见都易错过，耐得思量，定不折本。

其 六

江馆清秋缆客船，故人相送夜开筵，麝烟兰焰簇花钿。

正是断魂迷楚雨，不堪离恨咽湘弦，月高霜白水连天。

其 七

倾国倾城恨有馀，几多红泪泣姑苏，倚风凝睇雪肌肤。

吴主山河空落日，越王宫殿半平芜，藕花菱蔓满重湖。

【笺评】

与“只今惟有西江月”诸篇同一凄惋。

其 八

越女淘金春水上，步摇云鬓佩鸣珰，渚风江草又清

香。

不为远山凝翠黛，只应含恨向斜阳，碧桃花谢忆刘郎。

喜迁莺

残蟾落，晓钟鸣，羽化觉身轻。乍无春睡有馀醒，杏苑雪初晴。

紫陌长，襟袖冷，不是人间风景。回看尘土似前生，休羨谷中莺。

【笺评】

句不呆。

其二

金门晓，玉京春，骏马骤轻尘。禅烟深处白衫新，认得化龙身。

九陌喧，千户启，满袖桂香风细。杏园欢宴曲江滨，自此占芳辰。

其三

清明节，雨晴天，得意正当年。马骄泥软锦连乾，香

袖半笼鞭。

花色融，人竞赏，尽是绣鞍朱鞅。日斜无计更留连，
归路草和烟。

【笺评】

此首独脱套，觉腐气俱消。

小重山

春到长门春草青，玉阶华露滴，月胧明。东风吹断
玉箫声，宫漏促，帘外晓啼莺。

愁极梦难成，红妆流宿泪，不胜情。手授裙带绕阶
行，思君切，罗幌暗尘生。

【笺评】

“愁极”作“愁起”，“绕阶”作“绕宫”，非是。今从旧本。

其二

秋到长门秋草黄，画梁双燕去，出宫墙。玉箫无复
理霓裳，金蝉坠，鸾镜掩休妆。

忆昔在昭阳，舞衣红绶带，绣鸳鸯。至今犹惹御炉
香，魂梦断，愁听漏更长。

离别难

宝马晓鞴雕鞍，罗帏乍别情难。那堪春景媚，送君

千万里，半妆珠翠落，露华寒。红蜡烛，青丝曲，偏能钩引泪阑干。

良夜促，香尘绿，魂欲迷。檀眉半敛愁低。未别心先咽，欲语情难说，出芳草，路东西。摇袖立，春风急，樱花杨柳雨凄凄。

【笺评】

咽心之别愈惨，难说之情转迫。“平生无泪落，不洒别离间”，应是好看话。

相见欢

罗襦绣袂香红，画堂中。细草平沙蕃马，小屏风。
卷罗幕，凭妆合，思无穷。暮雨轻烟魂断，隔帘栊。

醉公子

慢绾青丝发，光研吴绫袜。床上小熏笼，韶州新退红。

巨耐无端处，捻得从头污。恼得眼慵开，问人闲事来。

【笺评】

昔西王母宴群仙，戴研光帽，簪花舞，“光研”二字本此。



女冠子

求仙去也，翠钿金篦尽舍。入崖巖，雾卷黄罗帔，云
雕白玉冠。

野烟溪洞冷，林月石桥寒。静夜松风下，礼天坛。

【笺评】

隽雅不及韦相，而直叙道情，翻觉当行，次首恨有俗句。

其二

云罗雾縠，新授明威法箓。降真函，髻绾青丝发，冠
抽碧玉簪。

往来云过五，去住岛经三。正遇刘郎使，启瑶缄。

【笺评】

历祖中数目句子。

谒金门

春满院，叠损罗衣金线。睡觉水晶帘未卷，檐前双
语燕。

斜掩金铺一扇，满地落花千片。早是相思肠欲断，
忍教频梦见。

牛 峤 柳枝五首

公成都人，为孟蜀学士，世以为牛给事者，误也。公尚有“紫陌青门”《酒泉子》一调，亦甚佳，集中何独遗之？

杨柳枝

解冻风来陌上青，半垂罗袖拜卿卿。无端袅娜临官路，舞送行人过一生。

【笺评】

《杨枝》，《柳枝》，《杨柳枝》，总以物托兴。前人无甚分析，但极咏物之致，而能抒作者怀，而能下读者泪，斯其至矣。“舞送行人”等句，正是使人悲惋。

其 二

吴王宫里色偏深，一簇纤条万缕金。不愤钱塘苏小小，引郎松下结同心。

其 三

桥北桥南千万条，恨伊张绪不相饶。金鸡白马临风望，认得杨家静婉腰。

其 四

狂雪随风扑马飞，惹烟无力被春欺。莫教移入灵和殿，宫女三千又妒伊。

其 五

裊翠笼烟拂暖波，舞裙新染麴尘罗。章华台畔隋堤上，傍得春风尔许多。

牛 峤二十六首

女冠子

绿云高髻，点翠匀红时世。月如眉，浅笑含双靥，低声唱小词。

眼看唯恐化，魂荡欲相随。玉趾回娇步，约佳期。

其 二

锦江烟水，卓女浣春浓美。小檀霞，绣带芙蓉帐，金

钗芍药花。

额黄侵腻发，臂钏透红纱。柳暗莺啼处，认郎家。

【笺评】

（“绣带”句）六朝丽句；（“柳暗”句）好结句。

其 三

星冠霞帔，住在蕊珠宫里。佩玎珰，明翠摇蝉翼，纤手理宿妆。

醺坛春草绿，药院杏花香。青鸟传心事，寄刘郎。

【笺评】

前后丽情多属《玉台》艳体，忽插入道家语，岂为题目张本耶？

其 四

双飞双舞，春昼后园莺语。卷罗帏，锦字书封了，银河雁过迟。

鸳鸯排宝帐，豆蔻绣连枝。不语匀珠泪，落花时。

梦江南

衔泥燕，飞到画堂前。占得杏梁安稳处，体轻唯有主人怜，堪美好姻缘。





其二

红绣被，两两间鸳鸯。不是鸟中偏爱尔，为缘交颈睡南塘，全胜薄情郎。

感恩多

两条红粉泪，多少香闺意。强攀桃李枝，敛愁眉。

陌上莺啼蝶舞，柳花飞。柳花飞，愿得郎心，忆家还早归。

【笺评】

起语一问一答，便有无限委婉。

其二

自从南浦别，愁见丁香结。近来情转深，忆鸳衾。

几度将书托烟雁，泪盈襟。泪盈襟，礼月求天，愿君知我心。

应天长

玉楼春望晴烟灭，舞衫斜卷金条脱。黄鹂娇啭声初歇，杏花飘尽龙山雪。

凤钗低赴节，筵上王孙愁绝。鸳鸯对衔罗结，两情
深夜月。

【笺评】

峭壁孤松，寒潭秋月，庶足比二词之高洁。

其 二

蛾眉淡薄藏心事，清夜背灯娇又醉。玉钗横，山枕
腻，宝帐鸳鸯春睡美。

别经时，无限意，虚道相思憔悴。莫信彩笺书里，赚
人肠断字。

更漏子

星渐稀，漏频转，何处轮台声怨？香阁掩，杏花红，
月明杨柳风。

挑锦字，记情事，唯愿两心相似。收泪语，背灯眠，
玉钗横枕边。

其 二

春夜阑，更漏促，金烬暗挑残烛。惊梦断，锦屏深，
两乡明月心。

闺草碧，望归客，还是不知消息。辜负我，悔怜君，
告天天不闻。

【笺评】

女娲补不到，天有离恨天。世间缺陷事不少，天也管不得许多。

其 三

南浦情，红粉泪，争奈两人深意。低翠黛，卷征衣，
马嘶霜叶飞。

招手别，寸肠结，还是去年时节。书托雁，梦归家，
觉来江月斜。

望江怨

东风急，惜别花时手频执，罗帏愁独入。马嘶残雨
春芜湿，倚门立。寄语薄情郎，粉香和泪泣。

【笺评】

“一庭疏雨湿春愁”，“马嘶残雨春芜湿”，皆集中秀句。“湿”字俱下得天然。

菩萨蛮

舞裙香暖金泥凤，画梁语燕惊残梦。门外柳花飞，

玉郎犹未归。

愁匀红粉泪，眉剪春山翠。何处是辽阳，锦屏春昼长。

其 二

柳花飞处莺声急，晴街春色香车立。金凤小帘开，
脸波和恨来。

今宵求梦想，难到青楼上。赢得一肠愁，鸳衾谁并头？

其 三

玉钗风动春幡急，交枝红杏笼烟泣。楼上望卿卿，
窗寒新雨晴。

熏炉蒙翠被，绿帐鸳鸯睡。何处最相知，羡他初画眉。

【笺评】

填词白描，须看微致。若全篇平行，几同嚼蜡矣。

其 四

画屏重叠巫阳翠，楚神尚有行云意。朝暮几般心，



向他情漫深。

风流今古隔，虚作瞿塘客。山月照山花，梦回灯影斜。

其 五

风帘燕舞莺啼柳，妆台约鬓低纤手。钗重髻盘珊，一枝红牡丹。

门前行乐客，白马嘶春色。故故坠金鞭，回头应眼穿。

其 六

绿云鬓上飞金雀，愁眉敛翠春烟薄。香阁掩芙蓉，画屏山几重。

窗寒天欲曙，犹结同心苣。啼粉污罗衣，问郎何日归。

【笺评】

芳草生兮萋萋，王孙归兮不归，问他何益？

其 七

玉楼冰簟鸳鸯锦，粉融香汗流山枕。帘外辘轳声，

敛眉含笑惊。

柳阴烟漠漠，低鬓蝉钗落。须作一生拼，尽君今日欢。

酒泉子

记得去年，烟暖杏园花正发，雪飘香。江草绿，柳丝长。

钿车纤手卷帘望，眉学春山样。凤钗低袅翠鬟上，落梅妆。

【笺评】

远山眉，落梅妆，石华袖，古语新裁，令人远想。

定西番

紫塞月明千里，金甲冷，戍楼寒，梦长安。

乡思望中天阔，漏残星亦残。画角数声呜咽，雪漫漫。

玉楼春

春入横塘摇浅浪，花落小园空惆怅。此情谁信为狂夫，恨翠愁红流枕上。



小玉窗前嗔燕语，红泪滴穿金线缕。雁归不见报郎归，织成锦字封过与。

【笺评】

隽调中时下隽句，隽句中时下隽字，读之甘芳浹齿。

西溪子

捍拨双盘金凤，蝉鬓玉钗摇动。画堂前，人不语，弦解语。弹到昭君怨处，翠蛾愁，不抬头。

江城子

鸂鶒飞起郡城东，碧江空，半滩风。越王宫殿，蘋叶藕花中。帘卷水楼渔浪起，千片雪，雨濛濛。

【笺评】

起句率意。

其二

极浦烟消水鸟飞，离筵分首时。送金卮。渡口杨花，狂雪任风吹。日暮空江波浪急，芳草岸，雨如丝。

张 泌

此公与徐铉、汤悦、潘祐，俱南唐人，有文名。而祐好以诗谏，有词云：“寒山四面，桃李不须夸烂漫，已失了东风一半。”盖讽其地之侵削也。集中独载张词，词亦有幸不幸耶？

浣溪沙

钿毂香车过柳堤，桦烟分处马频嘶，为他沉醉不成泥。

花满驿亭香露细，杜鹃声断玉蟾低，含情无语倚楼西。

其 二

马上凝情忆旧游，照花淹竹小溪流，钿筝罗幕玉搔头。

早是出门长带月，可堪分袂又经秋，晚风斜日不胜愁。

其 三

独立寒阶望月华，露浓香泛小庭花，绣屏愁背一灯斜。



云雨自从分散后，人间无路到仙家，但凭魂梦访天涯。

其 四

依约残眉理旧黄，翠鬟抛掷一簪长，暖风晴日罢朝妆。
闲折海棠看又拈，玉纤无力惹余香，此情谁会倚斜阳。

其 五

翡翠屏开绣幄红，谢娥无力晚妆慵，锦帷鸳被宿香浓。
微雨小庭春寂寞，燕飞莺语隔帘栊，杏花凝恨倚东风。

其 六

枕障熏炉隔绣帷，二年终日两相思，杏花明月始应知。
天上人间何处去，旧欢新梦觉来时，黄昏微雨画帘垂。

【笺评】

第三个年头自有知者，“杏花明月”，知我怜我，未必笑我。

其 七

花月香寒悄夜尘，绮筵幽会暗伤神，婵娟依约画屏人。

人不见时还暂语，令才抛后爱微嗔，越罗巴锦不胜春。

其 八

偏戴花冠白玉簪，睡容新起意沉吟，翠钿金缕镇眉心。

小槛日斜风悄悄，隔帘零落杏花阴，断香轻碧锁愁深。

【笺评】

锁得住的，还不是愁。人言愁，我始叹愁，只为锁他不住。

其 九

晚逐香车入凤城，东风斜拂绣帘轻，慢回娇眼笑盈盈。

消息未通何计是，便须佯醉且随行，依稀闻道太狂生。

其 十

小市东门欲雪天，众中依约见神仙，蕊黄香画贴金蝉。

饮散黄昏人草草，醉容无语立门前，马嘶尘哄一街烟。

临江仙

烟收湘渚秋江静，蕉花露泣愁红。五云双鹤去无踪。几回魂断，凝望向长空。

翠竹暗留珠泪怨，闲调宝瑟波中。花鬟月鬓绿云重。古祠深殿，香冷雨和风。

【笺评】

语气委婉，不即不离，水仙之雅调也。

女冠子

露花烟草，寂寞五云三岛。正春深。貌减潜销玉，香残尚惹襟。

竹疏虚槛静，松密醺坛阴。何事刘郎去，信沉沉。

河 传

渺莽，云水。惆怅暮帆，去程迢递。夕阳芳草，千里万里，雁声无限起。

梦魂悄断烟波里，心如醉，相见何处是。锦屏香冷无睡，被头多少泪。

【笺评】

可怜。《河传》高调。

其 二

红杏，交枝相映，密密濛濛。一庭浓艳倚东风，香融透帘栊。

斜阳似共春光语，蝶争舞，更引流莺妒。魂销千片玉樽前，神仙，瑶池醉暮天。

酒泉子

春雨打窗，惊梦觉来天气晓。画堂深，红焰小，背兰缸。

酒香喷鼻懒开缸，惆怅更无人共醉。旧巢中，新燕子，语双双。

【笺评】

抚景怀人，如怨如慕，何减《标梅》诸什。

其二

紫陌青门，三十六宫春色，御沟辇路暗相通，杏园风。

咸阳沽酒宝钗空，笑指未央归去，插花走马落残红，
月明中。

生查子

相见稀，喜相见，相见还相远。檀画荔枝红，金蔓蜻蜓软。

鱼雁疏，芳信断，花落庭阴晚。可惜玉肌肤，销瘦成慵懒。

【笺评】

信笔而往，无一浮蔓，非止口头禅也。

思越人

燕双飞，莺百啭，越波堤下长桥。斗钿花筐金匣恰，
舞衣罗薄纤腰。

东风淡荡慵无力，黛眉愁聚春碧。满地落花无消息，
月明肠断空忆。

满宫花

花正芳，楼似绮，寂寞上阳宫里。钿笼金锁睡鸳鸯，
帘冷露华珠翠。

娇艳轻盈香雪腻，细雨黄莺双起。东风惆怅欲清明，
公子桥边沉醉。

杨柳枝

腻粉琼妆透碧纱，雪休夸。金凤搔头坠鬓斜，发交
加。

倚着云屏新睡觉，思梦笑。红腮隐出枕函花，有些
些。

【笺评】

此《柳枝》之变体也。“红腮”一语，自见巧思。

南歌子

柳色遮楼暗，桐花落砌香。画堂开处远风凉，高卷
水精帘额，衬斜阳。

【笺评】

有韵致。



其 二

岸柳拖烟绿，庭花照日红。数声蜀魄入帘栊，惊断碧窗残梦，画屏空。

其 三

锦荐红鸂鶒，罗衣绣凤凰。绮疏飘雪北风狂，帘幕尽垂无事，郁金香。

张 泌

江城子

碧栏干外小中庭，雨初晴，晓莺声。飞絮落花，时节近清明。睡起卷帘无一事，匀面了，没心情。

【笺评】

“无一事”，不消匀面；“匀面了，没心情”，连匀面也是多的。

其 二

浣花溪上见卿卿，脸波秋水明，（汤评：应是“烟波

明”。)黛眉轻。绿云高绾,金簇小蜻蜓。好是问他来得么,和笑道,莫多情。

【笺评】

黄叔阳云:唐词多无换头。如此词两段自是两首,故重押两“情”字、两“明”字,合作一首者误矣。

河渚神

古树噪寒鸦,满庭枫叶芦花。昼灯当午隔轻纱,画阁珠帘影斜。

门外往来祈赛客,翩翩帆落天涯。回首隔江烟火,渡头三两人家。

蝴蝶儿

蝴蝶儿,晚春时。阿娇初着淡黄衣,倚窗学画伊。

还似花间见,双双对对飞。无端和泪拭胭脂,惹教双翅垂。

【笺评】

妩媚。

毛文锡

虞美人

鸳鸯对浴银塘暖，水面蒲梢短。垂杨低拂麴尘波，
蛟丝结网露珠多，滴圆荷。

遥思桃叶吴江碧，便是天河隔。锦鳞红鬣影沉沉，
相思空有梦相寻，意难任。

其二

宝檀金缕鸳鸯枕，绶带盘宫锦。夕阳低映小窗明，
南园绿树语莺莺，梦难成。

玉炉香暖频添炷，满地飘轻絮。珠帘不卷度沉烟，
庭前闲立画秋千，艳阳天。

【笺评】

（宝檀句）富丽。

唐人旧曲云：“帐中草草军情变。”宋黄载亦云：“楚歌声起霸
图休。”似专为虞姬发论。二词虽芬芳袭人，何以命意迥隔？

酒泉子

绿树春深，燕语莺啼声断续。蕙风飘荡入芳丛，惹

残红。

柳丝无力袅烟空，金盏不辞须满酌。海棠花下思朦朧，醉香风。

喜迁莺

芳春景，暖晴烟，乔木见莺迁。传枝偎叶语关关，飞过绮丛间。

锦翼鲜，金毳软，百啭千娇相唤。碧纱窗晓怕闻声，惊破鸳鸯暖。

【笺评】

竟依题发挥，不必从道篆司挂印耶。

赞成功

海棠未坼，万点深红。香包绡结一重重。似含羞态，邀勒春风。蜂来蝶去，任绕芳丛。

昨夜微雨，飘洒庭中。忽闻声滴井边桐。美人惊起，坐听晨钟。快教折取，戴玉珑璁。

西溪子

昨夜西溪游赏，芳树奇花千样。俏春光，金樽满，听

弦管，娇妓舞衫香暖，不觉到斜晖，马驮归。

【笺评】

有兴。

中兴乐

豆蔻花繁烟艳深，丁香软结同心。翠鬟女，相与共
淘金。

红蕉叶里猩猩语，鸳鸯浦。镜中鸾舞，丝雨隔，荔枝
阴。

更漏子

春夜阑，春恨切，花外子规啼月。人不见，梦难凭，
红纱一点灯。

偏怨别，是芳节，庭下丁香千结。宵雾散，晓霞辉，
梁间双燕飞。

接贤宾

香鞯镂檐五色骢，值春景初融。流珠喷沫，蹀躞汗，
血流红。

少年公子能乘驭，金鑣玉辔珑璁，为惜珊瑚鞭不下，

骄生百步千踪。信穿花，从拂柳，向九陌追风。

【笺评】

以蒲梢渥洼之余芬搀入词料，亦自无寒酸气味。

赞浦子

锦帐添香睡，金炉换夕熏。懒结芙蓉带，慵拖翡翠裙。

正是桃夭柳媚，那堪暮雨朝云。宋玉高唐意，裁琼欲赠君。

甘州遍

春光好，公子爱闲游，足风流。金鞍白马，雕弓宝剑，红缨锦襜出长鞦。

花蔽膝，玉衔头，寻芳逐胜欢宴，丝竹不曾休。美人唱，揭调是甘州。醉红楼，尧年舜日，乐圣永无忧。

【笺评】

丽藻沿于六朝，然一种霸气，已开宋元间九宫十三调门户。

其二

秋风紧，平碛雁行低，阵云齐。萧萧飒飒，边声四

起，愁闻戍角与征鼙。

青冢北，黑山西。沙飞聚散无定，往往路人迷。铁衣冷，战马血沾蹄，破蕃奚。凤凰诏下，步步蹑丹梯。

纱窗恨

新春燕子还来至，一双飞。垒巢泥湿时时坠，浣人衣。

后园里看百花发，香风拂，绣户金扉。月照纱窗，恨依依。

其二

双双蝶翅涂铅粉，啞花心，绮窗绣户飞来稳，画堂阴。

二三月爱随飘絮，伴落花，来拂衣襟。更剪轻罗片，傅黄金。

【笺评】

“啞”字尖，“稳”字妥，他无可喜句。

柳含烟

隋堤柳，汴河春。夹岸绿阴千里，龙舟凤舸木兰香，

锦帆张。

因梦江南春景好，一路流苏羽葆。笙歌未尽起横流，锁春愁。

其 二

河桥柳，占芳春。映水含烟拂路，几回攀折赠行人，暗伤神。

乐府吹为横笛曲，能使离肠断续。不如移植在金门，近天恩。

其 三

章台柳，近垂旒。低拂往来冠盖，朦胧春色满皇州，瑞烟浮。

直与路边江畔别，免被离人攀折。最怜京兆画蛾眉，叶纤时。

其 四

御沟柳，占春多。半出宫墙婀娜，有时倒影蘸轻罗，蹀尘波。

昨日金鸾巡上苑，风亚舞腰纤软。栽培得地近皇

宫，瑞烟浓。

【笺评】

《柳枝》之外咏柳之种类极多，今南词中亦尽有佳句，若追先进，当从始音。

醉花间

休相问，怕相问，相问还添恨。春水沟塘生，鸂鶒还相趁。

昨夜雨霏霏，临明寒一阵。偏忆戍楼人，久绝边庭信。

其二

深相忆，莫相忆，相忆情难极。银汉是红墙，一带遥相隔。

金盘珠露滴，两岸榆花白。风摇玉佩清，今夕为何夕。

【笺评】

创语奇耸，不嫌高调。

浣溪沙

春水轻波浸绿苔，枇杷洲上紫檀开。晴日眠沙鸂鶒

稳，暖相偎。

罗袜生尘游女过，有人逢着弄珠回。兰麝飘香初解珮，忘归来。

其二

七夕年年信不违，银河清浅白云微，蟾光鹊影伯劳飞。

每恨蟪蛄怜婺女，几回娇妒下鸳机，今宵嘉会两依依。

月宫春

水晶宫里桂花开，神仙探几回。红芳金蕊绣重台，低倾玛瑙杯。

玉兔银蟾争守护，姮娥姹女戏相偎。遥听钧天九奏，玉皇亲看来。

恋情深

滴滴铜壶寒漏咽，醉红楼月。宴余香殿会鸳衾，荡春心。

真珠帘下晓光侵，莺语隔琼林。宝帐欲开慵起，恋



情深。

【笺评】

黄帝纪里鼓之制，故乐府有鼓吹曲，《建初录》云：“列于殿庭者名鼓吹”，此殆其遗响乎？

其 二

玉殿春浓花烂漫，簇神仙伴。罗裙窄地缕黄金，奏清音。

酒阑歌罢两沉沉，一笑动君心。永愿作鸳鸯伴，恋情深。

诉衷情

桃花流水漾纵横，春昼彩霞明。刘郎去，阮郎行，惆怅恨难平。

愁坐对云屏，算归程。何时携手洞边迎，诉衷情。

其 二

鸳鸯交颈绣衣轻，碧沼藕花馨。偎藻荇，映兰汀，和雨浴浮萍。

思妇对心惊，想边庭。何时解珮掩云屏，诉衷情。

【笺评】

无定河边，春闺梦里，不止寻常闺怨。

应天长

平江波暖鸳鸯语，两两钓船归极浦。芦洲一夜风和雨，飞起浅沙翘雪鹭。

渔灯明远渚，兰棹今宵何处？罗袂从风轻举，愁杀采莲女。

河满子

红粉楼前月照，碧纱窗外莺啼。梦断辽阳音信，那堪独守空闺。恨对百花时节，王孙绿草凄凄。

巫山一段云

雨霁巫山上，云轻映碧天，远风吹散又相连，十二晚峰前。

暗湿啼猿树，高笼过客船。朝朝暮暮楚江边，几度降神仙。

临江仙

暮蝉声尽落斜阳，银蟾影挂潇湘。黄陵庙侧水茫茫。



茫。楚山红树，烟雨隔高唐。

岸泊渔灯风贴碎，白蘋远散浓香。灵娥鼓瑟韵清商。朱弦凄切，云散碧天长。

【笺评】

“一自高唐赋成后，楚天云雨尽堪疑”，信然。

牛希济

临江仙

峭碧参差十二峰，冷烟寒树重重。瑶姬宫殿是仙踪。金炉珠帐，香霭昼偏浓。

一自楚王惊梦断，人间无路相逢，至今云雨带愁容。月斜江上，征棹动晨钟。

其二

谢家仙观寄云岑，岩萝拂地成阴。洞房不闭白云深。当时丹灶，一粒化黄金。

石壁霞衣犹半挂，松风长似鸣琴。时闻唳鹤起前林。十洲高会，何处许相寻。

其 三

渭阙宫城秦树凋，玉楼独上无憀。含情不语自吹箫。
调清和恨，天路逐风飘。

何事乘龙人忽降，似知深意相招。三清携手路非遥。
世间屏障，翠笔画娇娆。

【笺评】

七调独此不称。

其 四

江绕黄陵春庙闲，娇莺独语关关。满庭重叠绿苔斑。
阴云无事，四散自归山。

箫鼓声稀香烬冷，月娥敛尽湾环。风流皆道胜人间。
须知狂客，判死为红颜。

其 五

素洛春光潋潋平，千重媚脸初生。凌波罗袜势轻轻。
烟笼日照，珠翠半分明。

风引宝衣疑欲舞，鸾回凤翥堪惊。也知心许恐无成。
陈王辞赋，千载有声名。

【笺评】

洛神写照正在阿堵中，“惊鸿”、“游龙”数语已为描尽。

其 六

柳带摇风汉水滨，平芜两岸争匀。鸳鸯对浴浪痕新。弄珠游女，微笑自含春。

轻步暗移蝉鬓动，罗裙风惹轻尘。水精宫殿岂无因。空劳纤手，解佩赠情人。

其 七

洞庭波浪贴晴天，君山一点凝烟。此中真境属神仙。玉楼珠殿，相映月轮边。

万里平湖秋色冷，星辰垂影参然。橘林霜重更红鲜。罗浮山下，有路暗相连。

【笺评】

“冷”字下得妙，便觉全句有神。

休文语丽而思深，名高八咏，照映千古，似此七词亦尽有颇颇休文处。

酒泉子

枕转簟凉，清晓远钟残梦。月光斜，帘影动，旧炉

香。

梦中说尽相思事，纤手匀双泪。去年书，今日意，断离肠。

生查子

春山烟欲收，天淡稀星小。残月脸边明，别泪临清晓。

语已多，情未了，回首犹重道。记得绿罗裙，处处怜芳草。

中兴乐

池塘暖碧浸晴辉，濛濛柳絮轻飞。红蕊凋来，醉梦还稀。

春云空有雁归，珠帘垂。东风寂寞，恨郎抛掷，泪湿罗衣。

【笺评】

“池塘暖碧浸晴辉”，又有“春云”“柳絮”，已具四难之半，那得更生他想。

谒金门

秋已暮，重叠关山歧路。嘶马摇鞭何处去，晓禽霜



满树。

梦断禁城钟鼓，泪滴枕檀无数。一点凝红和薄雾，
翠蛾愁不语。

【花间集】

卷 三

〔唐〕赵崇祚 集

〔明〕汤显祖 评

欧阳炯

毛文锡、鹿虔扈、韩琬、阎选与此公皆蜀人，事孟后主，有“五鬼”之号，皆工小词，并见《花间集》，今集中独遗韩琬，殊不可解。

浣溪沙

落絮残红半日天，玉柔花醉只思眠，惹窗映竹满炉烟。

独掩画屏愁不语，斜欹瑶枕髻鬟偏，此时心在阿谁边。

其二

天碧罗衣拂地垂，美人初着更相宜，宛风如舞透香肌。

独坐含嚬笑凤竹，园中缓步折花枝，有情无力泥人时。

其三

相见休言有泪珠，酒阑重得叙欢娱，凤屏鸳枕宿金铺。



兰麝细香闻喘息，绮罗纤缕见肌肤，此时还恨薄情

无？

三字令

春欲尽，日迟迟，牡丹时。罗幌卷，翠帘垂。彩笺书，红粉泪，两心知。

人不在，燕空归，负佳期。香烬落，枕函欹。月分明，花淡薄，惹相思。

【笺评】

逐句三字转而不窘，不全，不崛头，亦是老手。

欧阳炯

南乡子

嫩草如烟，石榴花发海南天。日暮江亭春影绿，鸳鸯浴，水远山长看不足。

其二

画舸停桡，槿花篱外竹横桥。水上游人沙上女，回

顾，笑指芭蕉林里住。

其 三

岸远沙平，日斜归路晚霞明。孔雀自怜金翠尾，临水，认得行人惊不起。

其 四

洞口谁家，木兰船系木兰花。红袖女郎相引去，游南浦，笑倚春风相对语。

其 五

二八花钿，胸前如雪脸如莲。耳坠金鬟穿瑟瑟，霞衣窄，笑倚江头招远客。

其 六

路入南中，桄榔叶暗蓼花红。两岸人家微雨后，收红豆，树底纤纤抬素手。

其 七

袖敛蛟绡，采香深洞笑相邀。藤杖枝头芦酒滴，铺葵席，豆蔻花间趁晚日。

其 八

翡翠鸂鶒，白蘋香里小沙汀。岛上阴阴秋雨色，芦花扑，数只渔船何处宿。

【笺评】

短词之难，难于起得不自然，结得不悠远。诸词起句无一重复，而结语皆有馀思，允称合作。

献衷心

见好花颜色，争笑东风。双脸上，晚妆同。闭小楼深阁，春景重重。三五夜，偏有恨，月明中。

情未已，信曾通，满衣犹自染檀红。恨不如双燕，飞舞帘栊。春欲暮，残絮尽，柳条空。（《南方草木状》：点以燕檀。）

【笺评】

画家之十二色中有檀色，浅赭所合，妇女画眉色似之。唐人诗词惯喜用，此之其一也。

贺明朝

忆昔花间初识面，红袖半遮，妆脸轻转。石榴裙带，
故将纤纤，玉指偷捻。双凤金线。

碧梧桐锁深深院。谁料得两情，何日教缱绻。羨春
来双燕，飞到玉楼，朝暮相见。

其二

忆昔花间相见后，只凭纤手，暗抛红豆。人前不解，
巧传心事，别来依旧，辜负春昼。

碧罗衣上蹙金绣。睹对鸳鸯，空哀泪痕透。想韶颜
非久，终是为伊，只恁偷瘦。

【笺评】

无甚雕巧，只是铺排妥当，自无村妆羞涩态。

江城子

晚日金陵岸草平。落霞明，水无情。六代繁华，暗
逐逝波声。空有姑苏台上月，如西子镜，照江城。

凤楼春

凤髻绿云丛，深掩房栊。锦书通，梦中相见觉来慵。
匀面泪，脸珠融。因想玉郎何处去，对淑景谁同？

小楼中，春思无穷。倚阑颙望，暗牵愁绪，柳花飞起
东风。斜日照帘，罗幌香冷粉屏空。海棠零落，莺语残
红。

【笺评】

“海棠零落，莺语残红”，好景真良易过。风雨忧愁各半，念念使人惘然。

和 凝

小重山

春入神京万木芳。禁林莺语滑，蝶飞狂。晓花擎露
妒啼妆。红日永，风和百花香。

烟锁柳丝长。御沟澄碧水，转池塘。时时微雨洗风
光。天衢远，到处引笙篁。

其二

正是神京烂漫时。群仙初折得，却洗枝。乌衣白纻最相宜。精神出，御陌袖鞭垂。

柳色展愁眉。管弦分响亮，探花期。光阴占断曲江池。新榜上，名姓彻丹墀。

【笺评】

贫、病、愁，人所不堪，而宜于诗词；乌纱帽，人所艳称，而反不宜。可见富贵也有用不着处。

临江仙

海棠香老春江晚，小楼雾縠空濛。翠鬟初出绣帘中，麝烟鸾珮惹蘋风。

碾玉钗摇鸂鶒战，雪肌云鬓将融。含情遥指碧波东，越王台殿蓼花红。

其二

披袍窄地红宫锦，莺语时啭轻音。碧罗冠子稳犀簪，凤凰双颔步摇金。

肌骨细匀红玉软，脸波微送春心。娇羞不肯入鸳

衾，兰膏光里两情深。

【笺评】

二作精工宕丽，足分温、韦半席。

菩萨蛮

越梅半折轻寒里，冰清淡泊笼蓝水。暖觉杏梢红，
游丝狂惹风。

闲阶莎径碧，远梦犹堪惜。离恨又迎春，相思难重
陈。

山花子

莺锦蝉毂馥麝脐。轻裾花草晓烟迷。鸂鶒战金红
掌坠，翠云低。

星靥笑偎霞脸畔，蹙金开襦衬银泥。春思半和芳草
嫩，绿萋萋。

【笺评】

唐韦固妻为盗刃所刺，以翠靥之，女妆遂有靥饰，集中亦不一而足。然温飞卿“绣衫遮笑靥”，音“叶”，此则音“琰”。

其二

银字笙寒调正长。水纹簟冷画屏凉。玉腕重金扼

臂，淡梳妆。

几度试香纤手暖，一回尝酒绛唇光。佯弄红丝绳拂子，打檀郎。

河满子

正是破瓜年几，含情惯得人饶。桃李精神鹦鹉舌，可堪虚度良宵。却爱蓝罗裙子，羡他长束纤腰。

其二

写得鱼笺无限，其如花锁春晖。目断巫山云雨，空教残梦依依。却爱熏香小鸭，羡他长在屏帏。

薄命女

天欲晓，宫漏穿花声缭绕。窗里星光少。冷霞寒侵帐额，残月光沉树杪。梦断锦帏空悄悄，强起愁眉小。

【笺评】

一名《长命女》。

望梅花

春草全无消息，腊雪犹馀踪迹。越岭寒枝香自拆，

冷艳奇芳堪惜。何事寿阳无处觅，吹入谁家横笛。

天仙子

柳色披衫金缕凤，纤手轻拈红豆弄。翠蛾双敛正含情，桃花洞，瑶台梦。一片春愁谁与共。

【笺评】

刘改之别妾赴试作《天仙子》，语俗而情真，世多传之，遇此不免小巫。

其二

洞口春红飞蔌蔌，仙子含愁眉黛绿。阮郎何事不归来，懒烧金，慵篆玉。流水桃花空断续。

春光好

纱窗暖，画屏间。舞云鬟。睡起四肢无力，半春闲。

玉指剪裁罗胜，金盘点缀酥山。窥宋深心无限事，小眉弯。

其二

蘋叶软，杏花明。画船轻。双浴鸳鸯出绿汀。棹歌

声。

春水无风无浪，春天半雨半晴。红粉相随南浦晚，
几含情。

采桑子

蛱蝶领上河梨子，绣带双垂。椒户闲时。竞学樗蒲
赌荔枝。

丛头鞋子红编细，裙窄金丝。无事嗔眉。春思翻教
阿母疑。

【笺评】

二语翻空出奇。

杨柳枝

软碧摇烟似送人。映花时把翠蛾颦。青青自是风
流主，慢贴金丝待洛神。

其二

瑟瑟罗裙金缕腰。黛眉佥破未重描。醉来咬损新
花子，拽住仙郎尽放娇。



【笺评】

“醉来”句但觉其妙，诗词中此类极多，如李白“两鬓入秋浦”等，若一一索解，几同说梦。

其 三

鹊桥初就咽银河。今夜仙郎自姓和。不是昔年攀桂树，岂能月里索姮娥。

渔 父

白芷汀寒立鹭鸶。蘋风轻剪浪花时。烟幕幕，日迟迟，香引芙蓉惹钓丝。

顾 夔

虞美人

晓莺啼破相思梦，帘卷金泥凤。宿妆犹在酒初醒，翠翘慵整倚云屏。转娉婷。

香檀细画侵桃脸，罗袂轻轻敛。佳期堪恨再难寻，绿芜满院柳成阴。负春心。

【笺评】

虞美人草，一出褒斜谷中，状如鸡冠花，叶相对；一出雅州名山县，唱《虞美人》曲，应拍而舞，故《酉阳杂俎》云“舞草”，盖谓此。

其 二

触帘风送景阳钟，鸳被绣花重。晓帏初卷冷烟浓，
翠匀粉黛好仪容。思娇慵。

起来无语理朝妆，宝匣镜凝光。绿荷相倚满池塘，
露清枕簟藕花香。恨悠扬。

其 三

翠屏闲掩垂珠箔，丝雨笼池阁。露粘红藕咽清香，
谢娘娇极不成狂。罢朝妆。

小金鸂鶒沉烟细，腻枕堆云髻。浅眉微敛注檀轻，
旧欢时有梦魂惊。悔多情。

【笺评】

情为多累，悔之晚矣。情宜有，不宜多，多情自然多悔。

其 四

碧梧桐映纱窗晚，花谢莺声懒。小屏屈曲掩青山，

翠帟香粉玉炉寒。两眉攒。

颠狂年少轻离别，辜负春时节。画罗红袂有啼痕，
魂销无语倚闺门。欲黄昏。

其 五

深闺春色劳思想，恨共春芜长。黄鹂娇啭恹芳妍，
杏枝如画倚轻烟。琐窗前。

凭栏愁立双蛾细，柳影斜摇砌。玉郎还是不还家，
教人魂梦逐杨花。绕天涯。

其 六

少年艳质胜琼英，早晚别三清。莲冠稳簪钿篸横，
飘飘罗袖碧云轻。画难成。

迟迟少转腰身袅，翠靥眉心小。醺坛风急杏枝香，
此时恨不驾鸾皇。访刘郎。

【笺评】

杂出别调，绝非本情。今人作有韵之文，全用散法，而收以
韵脚数语，为本文张本，大都类是。

河 传

燕飏。晴景。小窗屏暖，鸳鸯交颈。菱花掩却翠鬟

敲，慵整。海棠帘外影。

绣帟香断金鸂鶒，无消息，心事空相忆。倚东风，春正浓，愁红，泪痕衣上重。

其 二

曲槛。春晚。碧流纹细，绿杨丝软。露花鲜，杏枝繁，莺啭。野芜平似剪。

直是人间到天上，堪游赏，醉眼疑屏障。对池塘，惜韶光，断肠，为花须尽狂。

其 三

棹举。舟去。波光渺渺，不知何处。岸花汀草共依依，雨微。鹧鸪相逐飞。

天涯离恨江声咽，啼猿切，此意向谁说。倚兰桡，独无聊，魂销，小炉香欲焦。

【笺评】

凡属《河传》题，高华秀美，良不易得，此三调真绝唱也。以俟羊、何、张舍人、孙少监之外，指不三屈。

甘州子

一炉龙麝锦帷傍，屏掩映，烛荧煌。禁楼刁斗喜初

长，罗荐绣鸳鸯。山枕上，私语口脂香。

【笺评】

“刁斗”句无聊之思。

其 二

每逢清夜与良晨，多怅望，足伤神。云迷水隔意中人，寂寞绣罗茵。山枕上，几点泪痕新。

其 三

曾如刘阮访仙踪，深洞客，此时逢。绮筵散后绣衾同，款曲见韶容。山枕上，长是怯晨钟。

其 四

露桃花里小楼深，持玉盏，听瑶琴。醉归青琐入鸳衾，月色照衣襟。山枕上，翠钿镇眉心。

其 五

红炉深夜醉调笙，敲拍处，玉纤轻。小屏古画岸低平，烟月满闲庭。山枕上，灯背脸波横。

【笺评】

首章与此结皆隽句也。小语致巧，此其一斑。

玉楼春

月照玉楼春漏促，飒飒风摇庭砌竹。梦惊鸳被觉来时，何处管弦声断续。

惆怅少年游冶去，枕上两眉攒细绿。晓莺帘外语花枝，背帐犹残红蜡烛。

其 二

柳映玉楼春日晚，雨细风轻烟草软。画堂鹦鹉语雕笼，金粉小屏犹半掩。

香灭绣帏人寂寂，倚槛无言愁思远。恨郎何处纵疏狂，长使含啼眉不展。

其 三

月皎露华窗影细，风送菊香粘绣袂。博山炉冷水沉微，惆怅金闺终日闭。

懒展罗衾垂玉箸，羞对菱花簪宝髻。良宵好事枉教休，无计那他狂耍婿。

其 四

拂水双飞来去燕。曲槛小屏山六扇。春愁凝思结
眉心，绿绮懒调红锦荐。

话别情多声欲战，玉箸痕留红粉面。镇长独立到黄
昏，却怕良宵频梦见。

【笺评】

后二章调尤秀媚可人，而合之足称全璧。

顾 夐

浣溪沙

春色迷人恨正赊，可堪荡子不还家，细风轻露着梨
花。

帘外有情双燕飏，槛前无力绿杨斜，小屏狂梦极天
涯。

其 二

红藕香寒翠渚平，月笼虚阁夜蛩清，塞鸿惊梦两牵

情。

宝帐玉炉残麝冷，罗衣金缕暗尘生，小窗孤烛泪纵横。

【笺评】

旧前作“天际鸿，枕上梦，两牵情”，后作“小窗深，孤独背，泪纵横”。语亦简至。

其 三

荷芰风轻帘幕香，绣衣鸂鶒泳回塘，小屏闲掩旧潇湘。

恨入空帏鸾影独，泪凝双脸渚莲光，薄情年少悔思量。

其 四

惆怅经年别谢娘，月窗花院好风光，此时相望最情伤。

青鸟不来传锦字，瑶姬何处锁兰房，忍教魂梦两茫茫。

【笺评】

历祖唾余，宋人名什。



其 五

庭菊飘黄玉露浓，冷莎偎砌隐鸣蛩，何期良夜得相逢。

背帐风摇红蜡滴，惹香暖梦绣衾重，觉来枕上怯晨钟。

其 六

云淡风高叶乱飞，小庭寒雨绿窗微，深闺人静掩屏帏。

粉黛暗愁金带枕，鸳鸯空绕画罗衣，那堪辜负不思归。

其 七

雁响遥天玉漏清，小纱窗外月胧明，翠帏金鸭炷香平。

何处不归音信断，良宵空使梦魂惊，簟凉枕冷不胜情。

其 八

露白蟾明又到秋，佳期幽会两悠悠，梦牵情役几时

休。

记得泥人微敛黛，无言斜倚小书楼，暗思前事不胜愁。

【笺评】

此公遣词，动必数章，虽中间铺叙成文，不如人之字雕句琢，而了无穷措大酸气，即使瑕瑜不掩，自是大家。

酒泉子

杨柳舞风，轻惹春烟残雨。杏花愁，莺正语，画楼东。

锦屏寂寞思无穷，还是不知消息。镜尘生，珠泪滴，损仪容。

其二

罗带缕金，兰麝烟凝魂断。画屏敲，云鬓乱，恨难任。

几回垂泪滴鸳衾，薄情何处去。月临窗，花满树，信沉沉。

其三

小槛日斜，风度绿窗人悄悄。翠帏闲掩舞双鸾，旧

香寒。

别来情绪转难判，韶颜看却老。依稀粉上有啼痕，
暗销魂。

其 四

黛薄红深，约掠绿鬟云腻。小鸳鸯，金翡翠。称人
心。

锦鳞无处传幽意，海燕兰堂春又去。隔年书，千点
泪，恨难任。

其 五

掩却菱花，收拾翠钿休上面。金虫玉燕，锁香奁，恨
厌厌。

云鬓半坠懒重簪，泪侵山枕湿。银灯背帐梦方酣，
雁飞南。

其 六

水碧风清，入槛细香红藕腻。谢娘敛翠恨无涯，小
屏斜。

堪憎荡子不还家，漫留罗带结，帐深枕腻炷沉烟，负

当年。

其 七

黛怨红羞，掩映画堂春欲暮。残花微雨，隔青楼，思悠悠。

芳菲时节看将度，寂寞无人还独语。画罗襦，香粉污，不胜愁。

【笺评】

填词平仄断句皆定数，而词人语意所到，时有参差。古诗亦有此法，而词中尤多。即此词中字之多少，句之长短，更换不一，岂专恃歌者上下纵横取协耶？此本无关大数，然亦不可不知，故为拈出。

杨柳枝

秋夜香闺思寂寥，漏迢迢。鸳帏罗幌麝烟销，烛光摇。

正忆玉郎游荡去，无寻处。更闻帘外雨萧萧，滴芭蕉。

遐方怨

帘影细，簾纹平。象纱笼玉指，缕金罗扇轻。嫩红

双脸似花明，两条眉黛远山横。

凤箫歇，镜尘生。辽塞音书绝，梦魂长暗惊。玉郎
经岁负娉婷，教人争不恨无情。

【笺评】

亦选体中句法。

献衷心

绣鸳鸯帐暖，画孔雀屏敲。人悄悄，月明时。想昔
年欢笑，恨今日分离。银缸背，铜漏永，阻佳期。

小炉烟细，虚阁帘垂。几多心事，暗地思惟。被娇
娥牵役，魂梦如痴。金闺里，山枕上，始应知。

【笺评】

以下三词颇无佳句，但开曲藻滥觞耳。昔人谓诗情不似曲
情多，末流之弊，唐人先已作俑。

应天长

瑟瑟罗裙金线缕，轻透鹅黄香画裤。垂交带，盘鸂
鹒，袅袅翠翘移玉步。

背人匀檀炷，慢转横波偷觑。敛黛春情暗许，倚屏慵
不语。

诉衷情

香灭帘垂春漏永，整鸳衾。罗带重，双凤，缕黄金。
窗外月光临，沉沉。断肠无处寻。负春心。

其二

永夜抛人何处去，绝来音。香合掩，眉敛，月将沉。
争忍不相寻，怨孤衾。换我心，为你心。始知相忆深。

【笺评】

要到换心田地，换与他也未必好。

荷叶杯

春尽小庭花落，寂寞，凭槛敛双眉。忍教成病忆佳
期。知摩知，知摩知。

【笺评】

《荷叶杯》，又一变法，终是作者负题。

其二

歌发谁家筵上，寥亮，别恨正悠悠。兰缸背帐月当

楼。愁摩愁，愁摩愁。

其 三

弱柳好花尽拆，晴陌，陌上少年郎。满身兰麝扑人香。狂摩狂，狂摩狂。

其 四

记得那时相见，胆战，鬓乱四肢柔。泥人无语不抬头。羞摩羞，羞摩羞。

【笺评】

好形容。

其 五

夜久歌声怨咽，残月，菊冷露微微。看看湿透缕金衣。归摩归，归摩归。

其 六

我忆君诗最苦，知否，字字尽关心。红笺写寄表情深。吟摩吟，吟摩吟。

其 七

金鸭香浓鸳被，枕腻，小髻簇花钿。腰如细柳脸如莲。怜摩怜，怜摩怜。

其 八

曲砌蝶飞烟暖，春半，花发柳垂条。花如双脸柳如腰。娇摩娇，娇摩娇。

其 九

一去又乖期信，春尽，满院长莓苔。手挼裙带独徘徊。来摩来，来摩来。

【笺评】

“手挼裙带”，尽得娇痴。

渔歌子

晓风清，幽沼绿，倚阑凝望珍禽浴。画帘垂，翠屏曲，满袖荷香馥郁。

好摠怀，堪寓目，身闲心静平生足。酒杯深，光影促，名利无心较逐。

临江仙

碧染长空池似镜，倚楼闲望凝情。满衣红藕细香清。象床珍簟，山障掩，玉琴横。

暗想昔时欢笑事，如今赢得愁生。博山炉暖淡烟轻。蝉吟人静，残日傍，小窗明。

其二

幽闺小槛春光晚，柳浓花淡莺稀。旧欢思想尚依依。翠颦红敛，终日损芳菲。

何事狂夫音信断，不如梁燕犹归。画堂深处麝烟微。屏虚枕冷，风细雨霏霏。

【笺评】

颂酒赧色，务裁艳语，毋取乎儒冠而胡服也。

其三

月色空帘风入竹，倚屏双黛愁时。砌花含露两三枝。如啼恨脸，魂断损容仪。

香烬暗销金鸭冷，可堪辜负前期。绣襦不整鬓鬟欹。几多惆怅，情绪在天涯。

醉公子

漠漠秋云淡，红藕香侵槛。枕倚小曲屏。金铺向晚
扃。

睡起横波慢，独望情何限。衰柳数声蝉，魂销似去
年。

【笺评】

《醉公子》即公子醉也，其词意四换，又称《四换头》，尔后变
风，渐与题远。

其二

岸柳垂金线，雨晴莺百啭。家住绿杨边，往来多少
年。

马嘶芳草远，高楼帘半卷。敛袖翠蛾攒，相逢尔许
难。

更漏子

旧欢娱，新怅望。拥鼻含嚔楼上。浓柳翠，晚霞微。
江鸥接翼飞。

帘半卷。屏斜掩。远岫参差迷眼。歌满耳，酒盈



尊，前非不要论。

孙光宪

公，蜀之资州人，事荆南，有文学名，《北梦琐言》之所著也。

浣溪沙

蓼岸风多橘柚香，江边一望楚天长，片帆烟际闪孤光。

目送征鸿飞杳杳，思随流水去茫茫，兰红波碧忆潇湘。

【笺评】

王弼州称“归来休放烛花红”，“问君还有几多悲”，直是词手，假如此等调，亦仅隔一黍耳。

其二

桃杏风香帘幕闲，谢家门户约花关，画梁幽语燕初还。

绣阁数行题了壁，晓屏一枕酒醒山，却疑身是梦魂间。

【笺评】

一本作“双语”。

其 三

花渐凋疏不耐风，画帘垂地晚堂空，堕阶紫藓舞愁红。

腻粉半粘金靥子，残香犹暖绣薰笼，蕙心无处与人同。

其 四

揽镜无言泪欲流，凝情半日懒梳头，一庭疏雨湿春愁。

杨柳只知伤怨别，杏花应信损娇羞，泪沾魂断轸离忧。

【笺评】

“不耐风”、“湿春愁”，皆集中创见之秀句也。

其 五

半踏长裾宛约行，晚帘疏处见分明，此时堪恨昧平生。

早是销魂残烛影，更愁闻着品弦声，杳无消息若为情。

其 六

兰沐初休曲槛前，暖风迟日洗头天，湿云新敛未梳蝉。

翠袂半将遮粉臆，宝钗长欲坠香肩，此时模样不禁怜。

其 七

风递残香出绣帘，团窠金凤舞檐檐，落花微雨恨相兼。

何处去来狂太甚，空推宿酒睡无厌。争教人不别猜嫌。

【笺评】

乐府遗音，词坛丽藻，“好书不厌百回读”，如此数词，亦应尔。

其 八

轻打银筝坠燕泥，断丝高罥画楼西，花冠闲上午墙

啼。

粉箨半开新竹径，红苞尽落旧桃蹊，不堪终日闭深闺。

其 九

乌帽斜欹倒佩鱼，静街偷步访仙居，隔墙应认打门初。

将见客时微掩敛，得人怜处且生疏，低头羞问壁边书。

河 传

太平天子，等闲游戏，疏河千里。柳如丝，偎倚绿波春水。长淮风不起。

如花殿脚三千女，争云雨。何处留人住，锦帆风，烟际红，烧空。魂迷大业中。

【笺评】

索性咏古，感慨之下，自有无限烟波。

其 二

柳拖金缕，着烟笼雾，濛濛落絮。凤凰舟上楚女，妙

舞。雷喧波上鼓。

龙争虎战分中土，人无主，桃叶江南渡。襞花笺，艳思牵，成篇，宫娥相与传。

其 三

花落，烟薄，谢家池阁，寂寞春深。翠蛾轻敛意沉吟，沾襟，无人知此心。

玉炉香断霜灰冷，帘铺影，梁燕归红杏。晚来天，空悄然，孤眠，枕檀云髻偏。

其 四

风飏，波敛，团荷闪闪，珠倾露点。木兰舟上，何处吴娃越艳。藕花红照脸。

大堤狂杀襄阳客，烟波隔，渺渺湖光白。身已归，心不归。斜晖。远汀鹧鸪飞。

菩萨蛮

月华如水笼香砌，金环碎撼门初闭。寒影堕高檐，钩垂一面帘。

碧烟轻袅袅，红战灯花笑。即此是高唐，掩屏秋梦

长。

其 二

花冠频鼓墙头翼，东方淡白连窗色，门外早莺声，背楼残月明。

薄寒笼醉态，依旧铅华在。握手送人归，半拖金缕衣。

其 三

小庭花落无人扫，疏香满地东风老。春晚信沉沉，天涯何处寻。

晓堂屏六扇，眉共湘山远。争那别离心，近来尤不禁。

【笺评】

“老”字，“抬”字，“晓”字俱下得妙，三词本佳，而得此三字更觉生色。

其 四

青岩碧洞经朝雨，隔花相唤南溪去。一只木兰船，波平远浸天。

扣船惊翡翠，嫩玉抬香臂。红日欲沉西，烟中遥解携。

其 五

木绵花映丛祠小，越禽声里春光晓。铜鼓与蛮歌，南人祈赛多。

客帆风正急，茜袖偎檣立。极浦几回头，烟波无限愁。

河渚神

汾水碧依依，黄云落叶初飞。翠娥一去不言归，庙门空掩斜晖。

四壁阴森排古画，依旧琼轮羽驾。小殿沉沉清夜，银灯飘落香爇。

【笺评】

原题本旨，直书祠庙中事，自无借拔空影习气。

其 二

江上草芊芊，春晚湘妃庙前。一方卵色楚南天，数行斜雁联翩。

独倚朱阑情不极，魂断终朝相忆。两桨不知消息，
远汀时起鸂鶒。

虞美人

红窗寂寂无人语，暗淡梨花雨。绣罗纹地粉新描，
博山香炷旋抽条，暗魂销。

天涯一去无消息，终日长相忆。教人相忆几时休，
不堪枵触别离愁，泪还流。

【笺评】

《益州方物图赞》“虞”作“娱”，集中诸词调，都不及虞姬事，
想以此故。

其二

好风微揭帘旌起，金翼鸾相倚。翠檐愁听乳禽声。
此时春态暗关情，独难平。

画堂流水空相翳，一穗香摇曳。教人无处寄相思，
落花芳草过前期，没人知。

后庭花

景阳钟动宫莺啭，露凉金殿。轻飏吹起琼花旋，玉



叶如剪。

晚来高阁上，珠帘卷，见坠香千片。修蛾慢脸陪雕
鞑，后庭新宴。

【笺评】

“轻飏”一作“鲜飏”。

其二

石城依旧空江国，故宫春色。七尺青丝芳草绿，绝
世难得。

玉英凋落尽，更何人识，野棠如织。只是教人添怨
忆，怅望无极。

生查子

寂寞掩朱门，正是天将暮。暗淡小庭中，滴滴梧桐
雨。

绣工夫，牵心绪，配尽鸳鸯缕。待得没人时，偎倚论
私语。

其二

暖日策花骢，鞦韆垂杨陌。芳草惹烟青，落絮随风

白。

谁家绣毂动香尘，隐映神仙客。狂杀玉鞭郎，咫尺音容隔。

【笺评】

六朝风华而稍参差之，即是词也。唐词间出选诗体，去古犹未河汉。

其 三

金井坠高梧，玉殿笼斜月。永巷寂无人，敛态愁堪绝。

玉炉寒，香烬灭。还似君恩歇。翠辇不归来，幽恨将谁说。

临江仙

霜拍井梧干叶堕，翠帏雕槛初寒。薄铅残黛称花冠。含情无语，延伫倚阑干。

杳杳征轮何处去，离愁别恨千般。不堪心绪正多端。镜奁长掩，无意对孤鸾。

其 二

暮雨凄凄深院闭，灯前凝坐初更。玉钗低压鬓云





横。半垂罗幕，相映烛光明。

终是有心投汉珮，低头但理秦筝。燕双鸾耦不胜情。只愁明发，将逐楚云行。

酒泉子

空碛无边，万里阳关道路。马萧萧，人去去，陇云愁。

香貂旧制戎衣窄，边霜千里白。绮罗心，魂梦隔。上高楼。

其二

曲槛小楼，正是莺花二月。思无繆，愁欲绝。郁离襟。

展屏空对潇湘水。眼前千万里。泪淹红，眉敛翠。恨沉沉。

其三

敛态窗前，袅袅雀钗抛颈。燕成双，鸾对影。耦新知。

玉纤淡拂眉山小。镜中嗔共照，翠连娟，红缥缈。

早妆时。

【笺评】

三叠文之《出塞曲》，而去短句之《吊古战场文》也，再读不禁酸鼻。

清平乐

愁肠欲断，正是青春半，连理分枝鸾失伴，又是一场离散。

掩镜无语眉低，思随芳草凄凄。凭使东风吹梦，与郎终日东西。

其二

等闲无语，春恨如何去。终是疏狂留不住，花暗柳浓何处。

尽日目断魂飞，晚窗斜界残晖。长恨朱门薄暮，绣鞍骢马空归。

【笺评】

徘徊而不忘思婉，恋而激，慎词中之有风雅者。

【附按】

“慎”当作“填”。



更漏子

听寒更，闻远雁。半夜萧娘深院。扃绣户，下珠帘。
满庭喷玉蟾。

人语静，香闺冷。红幕半垂青影。云雨态，蕙兰心。
此情江海深。

其二

今夜期，来日别。相对只堪愁绝。偎粉面，拈瑶簪。
无言泪满襟。

银箭落，霜华薄。墙外晓鸡咿喔。听付嘱，恶情惊，
断肠西复东。

【笺评】

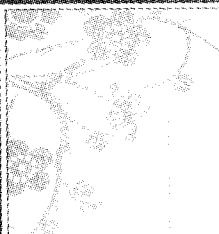
到得情深江海，自不至肠断西东，其不然者，命也，数也。人非木石，那得无情？世间负心人，木石之不若耶！

【花间集】

卷 四

〔唐〕赵崇祚 集

〔明〕汤显祖 评



女冠子

蕙风芝露，坛际残香轻度，蕊珠宫。苔点分圆碧，桃花践破红。

品流巫峡外，名籍紫微中。真侣墉城会，梦魂通。

其二

淡花瘦玉，依约神仙妆束，佩琼文。瑞露通宵贮，幽香尽日焚。

碧纱笼绛节，黄藕冠浓云。勿以吹箫伴，不同群。

风流子

茅舍槿篱溪曲，鸡犬自南自北。菰叶长，水荇开，门外春波涨绿。听织，声促，轧轧鸣梭穿屋。

【笺评】

田家乐耶？丽人行耶？青楼曲耶？词人藻，美人容，都在尺幅中矣。

其二

楼倚长衢欲暮，瞥见神仙伴侣。微傅粉，拢梳头，隐



映画帘开处。无语，无绪，慢曳罗裙归去。

其 三

金络玉衔嘶马，系向绿杨阴下。朱户掩，翠帘垂，曲院水流花谢。欢罢，归也，犹在九衢深夜。

定西番

鸡禄山前游骑，边草白，朔天明，马蹄轻。

鹄面弓离短鞅，弯来月欲成。一只鸣髀云外，晓鸿惊。

其 二

帝子枕前秋夜，霜幄冷，月华明。正三更。

何处戍楼寒笛，梦残闻一声。遥想汉关万里，泪纵横。

【笺评】

吴子华云：“无人知道外边寒”；谢叠山云：“玉人歌吹未曾归”。可见深官之暖，不知边塞之寒；玉人之娱，不知蚕妇之苦。至裴交泰下第词云：“南官漏短北官长”，真一字一血矣。

河满子

冠剑不随君去，江河还共恩深。歌袖半遮眉黛惨，
泪珠旋滴衣襟。惆怅云愁雨怨，断魂何处相寻。

玉蝴蝶

春欲尽，景仍长。满园花正黄。粉翅两悠飏。翩翩
过短墙。

鲜飏暖，牵游伴，飞去立残芳。无语对萧娘。舞衫
沉麝香。

八拍蛮

孔雀尾拖金线长，怕人飞起入丁香。越女沙头争拾
翠，相呼归去背斜阳。

竹枝

门前春水竹枝白蘋花女儿，岸上无人竹枝小艇斜女
儿。商女经过竹枝江欲暮女儿，散抛残食竹枝饲神鸦女
儿。



其 二

乱绳千结竹枝绊人深女儿。越罗万丈竹枝表长寻女儿。杨柳在身竹枝垂意绪女儿，藕花落尽竹枝见莲心女儿。

【笺评】

元时和杨廉夫《竹枝词》者五十余人，佳篇不可多得，徐延徽有云：“胜抛万斛胭脂水，泻向银河一色秋”，卓乎无愧唐人。

思帝乡

如何，遣情情更多。永日水堂帘下，敛羞蛾。六幅罗裙窄地，微行曳碧波。看尽满池疏雨，打团荷。

上行杯

草草离亭鞍马，从远道，此地分袂。燕宋秦吴千万里。

无辞一醉。野棠开，江草湿，伫立，沾泣。征骑骀𤔵。

其 二

离棹逡巡欲动，临极浦故人相送。去住心情知不共。

金船满捧。绮罗愁，丝管咽，回别，帆影灭。江浪如雪。

【笺评】

“黯然销魂者，唯别而已矣”，江淹赋所未畅，尚思广之。此词殊觉潦草。

谒金门

留不得，留得也应无益。白纻春衫如雪色，扬州初去日。

轻别离，甘弃掷，江上满帆风疾。却羡彩鸳三十六，孤鸾还一只。

【笺评】

满帆风吹，不上离人小舡，今南调中最脍炙人口。只此数语，已足该括之矣。

思越人

古台平，芳草远，馆娃宫外春深。翠黛空留千载恨，

教人何处相寻。

绮罗无复当时事，露花点滴香泪。惆怅遥天横绿水，鸳鸯对对飞起。

其二

渚莲枯，宫树老，长洲废苑萧条。想像玉人空处所，月明独上溪桥。

经春初败秋风起，红兰绿蕙愁死。一片风流伤心地，魂销目断西子。

杨柳枝

阊门风暖落花干，飞遍江城雪不寒。独有晚来临水驿，闲人多凭赤阑干。

其二

有池有榭即濛濛，浸润翻成长养功。恰似有人长点检，着行排立向春风。

【笺评】

拙而蠢。

其 三

根柢虽然傍浊河，无妨终日近笙歌。骊骊金带谁堪比，还共黄莺不较多。

其 四

万株枯槁怨亡隋，似吊吴台各自垂。好是淮阴明月里，酒楼横笛不胜吹。

【笺评】

曾记一词云：“清江一曲柳千条，十五年前旧板桥。曾与情人桥上别，更无消息到今朝。”小说以为刘禹锡作。而刘集不载，并此志之。

望梅花

数枝开与短墙平，见雪萼红跗相映。引起谁人边塞情。

帘外欲三更。吹断离愁月正明，空听隔江声。

【笺评】

“自去何郎无好咏”，“雪萼红跗相映”，当得一“好”字起不？



渔歌子

草芊芊，波漾漾，湖边草色连波涨。沿蓼岸，泊枫汀，天际玉轮初上。

扣舷歌，联极望，桨声伊轧知何向。黄鹄叫，白鸥眠，谁似依家疏旷。

其二

泛流萤，明又灭，夜凉水冷东湾阔。风浩浩，笛寥寥，万顷金波澄澈。

杜若洲，香郁烈，一声宿雁霜时节。经雪水，过松江，尽属依家日月。

【笺评】

竟夺了张志和、张季鹰座位，忒觉狠些。

魏承班

菩萨蛮

罗裾薄薄秋波染，眉间画时山两点。相见绮筵时，

深情暗共知。

翠翘云鬓动，敛态弹金凤。宴罢入兰房，邀人解珮珰。

其 二

罗衣隐约金泥画，玳筵一曲当秋夜。声颤觑人娇，云鬟袅翠翘。

酒醺红玉软，眉翠秋山远。绣幌麝烟沉，谁人知两心。

【笺评】

“颤”一作“泛”。

魏承班

满宫花

雪霏霏，风凛凛，玉郎何处狂饮。醉时想得纵风流，罗帐香帏鸳寝。

春朝秋夜思君甚，愁见绣屏孤枕。少年何事负初心，泪滴缕金双衽。





【笺评】

好个《满宫花》，只此平调，殊未快人心目。

木兰花

小芙蓉，香旖旎，碧玉堂深清似水。闭宝匣，掩金铺，倚屏拖袖愁如醉。

迟迟好景烟花媚，曲渚鸳鸯眠锦翅。凝然愁望静相思，一双笑靥嚬香蕊。

玉楼春

寂寂画堂梁上燕，高卷翠帘横素扇。一庭春色恼人来，满地落花红几片。

愁倚锦屏低雪面，泪滴绣裙金缕线。好天凉月尽伤心，为是玉郎长不见。

其二

轻敛翠蛾呈皓齿，莺啭一枝花影里。声声清迥遏行云，寂寂画梁尘暗起。

玉笋满斟情未已，促坐王孙公子醉。春风筵上贯珠匀，艳色韶颜娇旖旎。

【笺评】

此题集中凡三见，皆无一败笔，才故相匹。抑此题之足恣其挥洒耶？

诉衷情

高歌宴罢月初盈，诗情引恨情。烟露冷，水流轻，思
想梦难成。

罗帐袅香平，恨频生。思君无计睡还醒，隔层城。

其 二

春深花簇小楼台，风飘锦绣开。新睡觉，步香阶，山
枕印红腮。

鬓乱坠金钗，语檀偎，临行执手重重嘱，几千回。

【笺评】

东坡得是四脚棋盘，着一味黑子。若“山枕印红腮”句，得意
之情景可思。

其 三

银汉云情玉漏长，蛩声悄画堂。筠簟冷，碧窗凉，红
蜡泪飘香。

皓月泻寒光，割人肠。那堪独自步池塘，对鸳鸯。





其 四

金风轻透碧窗纱，银缸焰影斜。倚枕卧，恨何赊，
山掩小屏霞。

云雨别吴娃，想容华。梦成几度绕天涯，到君家。

其 五

春情满眼脸红绡，嫉妒索人饶。星靥小，玉珰摇，几
共醉春朝。

别后忆纤腰，梦魂劳。如今风叶又萧萧，恨迢迢。

【笺评】

“杨柳索春饶”，黄山谷词也。“一汀烟柳索春饶”，张小山词也。古人惯用“饶”字。

生查子

烟雨晚晴天，零落花无语。难话此时心，梁燕双来
去。

琴韵对薰风，有恨和情抚。肠断断弦频，泪滴黄金
缕。

其 二

寂寞画堂空，深夜垂帘幕。灯暗锦屏欹，月冷珠帘薄。

愁恨梦应成，何处贪欢乐。看看又春来，还是长萧索。

黄钟乐

池塘烟暖草萋萋，惆怅闲宵，含恨愁坐，思堪迷。遥想玉人情事远，音容浑是隔桃溪。

偏记同欢秋月低。帘外论心，花畔和醉，暗相携。何事春来君不见，梦魂长在锦江西。

渔歌子

柳如眉，云似发，鲛绡雾縠笼香雪。梦魂惊，钟漏歇，窗外晓莺残月。

几多情，无处说，落花飞絮清明节。少年郎，容易别，一去音书断绝。

【笺评】

只此容易别时，常种人毕世莫解之恨，那得草草。





鹿虔扈

临江仙

金锁重门荒苑静，绮窗愁对秋空。翠华一去寂无踪。
玉楼歌吹，声断已随风。

烟月不知人事改，夜阑还照深宫。藕花相向野塘中。
暗伤亡国，清露泣香红。

【笺评】

“曲终人不见，江山数峰青”，似有神助，以此方之，可谓劲敌。

其二

无赖晓莺惊梦断，起来残酒初醒。映窗丝柳袅烟青。
翠帘慵卷，约砌杏花零。

一自玉郎游冶去，莲凋月惨仪形。暮天微雨洒闲庭。
手授裙带，无语倚云屏。

女冠子

凤楼琪树，惆怅刘郎一去。正春深，洞里愁空结，人间信莫寻。

竹疏斋殿迥，松密醮坛阴。倚云低首望，可知心。

其 二

步虚坛上，绛节霓旌相向。引真仙，玉步摇蟾影，金炉袅麝烟。

露浓霜简湿，风紧羽衣偏。欲留难得住，却归天。

思越人

翠屏欹，银烛背，漏残清夜迢迢。双带绣窠盘锦荐，泪侵花暗香销。

珊瑚枕腻鸦鬟乱，玉纤慵整云散。若是适来新梦见，离肠争不千断。

【笺评】

结语酸楚，江文通、潘安仁《悼亡诗》不过如此。

虞美人

卷荷香淡浮烟渚，绿嫩擎新雨。璊疏透晓风清，象床珍簟冷光轻，水纹平。

九疑黛色屏斜掩，枕上眉心敛。不堪相望病将成，钿昏檀粉泪纵横，不胜情。



阎 选

虞美人

粉融红膩莲房绽，脸动双波慢。小鱼衔玉鬓钗横，
石榴裙染象纱轻，转娉婷。

偷期锦浪荷深处，一梦云兼雨。臂留檀印齿痕香，
深秋不寐漏初长，尽思量。

【笺评】

“尽”一作“伫”，“伫”字更有深会。

其 二

楚腰蛭领团香玉，鬓叠深深绿。月蛾星眼笑微频，
柳夭桃艳不胜春，晚妆匀。

水纹簟映青纱帐，雾罩秋波上。一枝娇卧醉芙蓉，
良宵不得与君同，恨忡忡。

【笺评】

“笑微频”，一作“笑和颦”，反觉复而无情。

临江仙

雨停荷芰逗浓香，岸边蝉噪垂杨。物华空有旧池

塘。不逢仙子，何处梦襄王？

珍簟对欹鸳枕冷，此来尘暗凄凉。欲凭危槛恨偏长。藕花珠缀，犹似汗凝妆。

其二

十二高峰天外寒，竹梢轻拂仙坛。宝衣行雨在云端。画帘深殿，香雾冷风残。

欲问楚王何处去，翠屏犹掩金鸾。猿啼明月照空滩。孤舟行客，惊梦亦艰难。

【笺评】

非深于行役者，不能为此言，即以《水仙调》当《行路难》可也。

浣溪沙

寂寞流苏冷绣茵，倚屏山枕惹香尘，小庭花露泣浓春。

刘阮信非仙洞客，嫦娥终是月中人，此生无路访东邻。

八拍蛮

云锁嫩黄烟柳细，风吹红蒂雪梅残。光影不胜闺阁



恨，行行坐坐黛眉攒。

其 二

愁锁黛眉烟易惨，泪飘红脸粉难匀。憔悴不知缘底事，遇人推道不宜春。

【笺评】

仄声七言绝句，唐人以入乐府，谓之《阿那曲》，宋人谓之《鸡叫子》。平声绝句以入乐府者，非《杨柳枝》，《竹枝》即《八拍蛮》也。

河 传

秋雨，秋雨。无昼无夜，滴滴霏霏。暗灯凉簟怨分离，妖姬，不胜悲。

西风稍急喧窗竹，停又续，腻脸悬双玉。几回邀约雁来时，违期，雁归人不归。

【笺评】

三句皆重叠字，大奇，大奇。宋李易安《声声慢》，用十重叠字起，而以“点点滴滴”四字结之，盖用其法，而青于蓝者。

尹 鶚

临江仙

一番荷芰生池沼，槛前风送馨香。昔年于此伴萧娘。
相偎伫立，牵惹叙衷肠。

时呈笑容无限态，还如菡萏争芳，别来虚遣思悠飏。
慵窥往事，金锁小兰房。

其 二

深秋寒夜银河静，月明深夜中庭。西窗幽梦等闲成。
逡巡觉后，特地恨难平。

红烛半条残焰短，依稀暗背银屏。枕前何事最伤情。
梧桐叶上，点点露珠零。

满宫花

月沉沉，人悄悄，一炷后庭香袅。风流帝子不归来，
满地禁花慵扫。

离恨多，相见少，何处醉迷三岛。漏清宫树子规啼，
愁锁碧窗春晓。



杏园芳

严妆嫩脸花明，交人见了关情。含羞举步越罗轻，
称娉婷。

终朝咫尺窥香阁，迢遥似隔层城，何时休遣梦相萦，
入云屏。

醉公子

暮烟笼藓砌，戟门犹未闭。尽日醉寻春，归来月满
身。

离鞍偎绣袂，坠巾花乱缀。何处恼佳人，檀痕衣上
新。

【笺评】

一年几见月当头，“归来月满身”，良非易事。世上也有会得
醉的公子。

菩萨蛮

陇云暗合秋天白，俯窗独坐窥烟陌。楼际角重吹，
黄昏方醉归。

荒唐难共语，明日还应去。上马出门时，金鞭莫与

伊。

毛熙震

浣溪沙

春暮黄莺下砌前，水精帘影露珠悬，绮霞低映晚晴天。

弱柳万条垂翠带，残红满地碎香钿，蕙风飘荡散轻烟。

其二

花榭香红烟景迷，满庭芳草绿萋萋，金铺闲掩绣帘低。

紫燕一双娇语碎，翠屏十二晚峰齐，梦魂销散醉空闺。

其三

晚起红房醉欲销，绿鬟云散袅金翘，雪香花语不胜娇。



好是向人柔弱处，玉纤时急绣裙腰，春心牵惹转无
繆。

其 四

一只横钗坠髻丛，静眠珍簟起来慵，绣罗红嫩抹酥
胸。

羞敛细蛾魂暗断，困迷无语思犹浓，小屏香霭碧山
重。

其 五

云薄罗裙绶带长，满身新麝瑞龙香，翠钿斜映艳梅
妆。

佯不覩人空婉约，笑和娇语太猖狂，忍教牵恨暗形
相。

【笺评】

“裙”一作“裾”。

其 六

碧玉冠轻袅燕钗，捧心无语步香阶，缓移弓底绣罗
鞋。

暗想欢娱何计好，岂堪期约有时乖，日高深院正忘怀。

其 七

半醉凝情卧绣茵，睡容无力卸罗裙，玉笼鹦鹉厌听闻。

慵整落钗金翡翠，象梳欹鬓月生云，锦屏绡幌麝烟熏。

【笺评】

七首中丽字名句、巧韵纤词，故自相逼，然气韵和平，犹然中土之音也。北曲以郑、卫之淫为梨园、教坊之习，然犹古总章北里之韵，而近者海盐、昆山一意纤靡，北曲亦失其传，反雅从先，能无三叹！

临江仙

南齐天子宠婵娟，六宫罗衣三千。潘妃娇艳独芳妍。椒房兰洞，云雨降神仙。

纵态迷欢心不足，风流可惜当年。纤腰婉约步金莲。妖君倾国，犹自至今传。

【笺评】

长短句盛于宋人，然使之有曲诗、曲论之弊，非词之本色也。





此等漫衍无情，亦复未能免此。

其二

幽闺欲曙闻莺啭，红窗月影微明。好风频谢落花声。隔帏残烛，犹照绮屏筝。

绣被锦茵眠玉暖，炷香斜袅烟轻。淡蛾羞敛不胜情。暗思闲梦，何处逐云行？

更漏子

秋色清，河影淡，深户烛寒光暗。绡幌碧，锦衾红，博山香炷融。

更漏咽，蛩鸣切，满院霜华如雪。新月上，薄云收，映帘悬玉钩。

其二

烟月寒，秋夜静，漏转金壶初永。罗幕下，绣屏空，灯花结碎红。

人悄悄，愁无了，思梦不成难晓。长忆得，与郎期，窃香私语时。

女冠子

碧桃红杏，迟日媚笼光影。彩霞深，香暖薰莺语，风清引鹤音。

翠鬟冠玉叶，霓袖捧瑶琴。应共吹箫侣，暗相寻。

其二

修蛾慢脸，不语檀心一点。小山妆，蝉鬓低含绿，罗衣淡拂黄。

闷来深院里，闲步落花傍。纤手轻轻整，玉炉香。

【笺评】

“香暖”“蝉鬓”四语，俱绝对，而“薰”字，“引”字，“低含”，“淡拂”字，尤见精工。

清平乐

春光欲暮，寂寞闲庭户。粉蝶双双穿槛舞，帘卷晚天疏雨。

含愁独倚闺帏，玉炉烟断香微。正是销魂时节，东风满树花飞。



南歌子

远山愁黛碧，横波慢脸明。腻香红玉茜罗轻，深院晚堂人静，理银筝。

鬓动行云影，裙遮点屐声。娇羞爱问曲中名，杨柳杏花时节，几多情。

其二

惹恨还添恨，牵肠即断肠，凝情不语一枝芳，独映画帘闲立，绣衣香。

暗想为云女，应怜傅粉郎。晚来轻步出闺房，髻慢钗横无力，纵猖狂。

毛熙震

河满子

寂寞芳菲暗度，岁华如箭堪惊。缅想旧欢多少事，转添春思难平。曲槛丝垂金柳，小窗弦断银筝。

深院空闻燕语，满园闲落花轻。一片相思休不得，

忍教长日愁生。谁见夕阳孤梦，觉来无限伤情。

【笺评】

“河”一作“何”。

其二

无语残妆淡薄，含羞蕤袂轻盈。几度香闺眠过晓，
绮窗疏日微明。云母帐中偷惜，水精枕上初惊。

笑靥嫩疑花坼，愁眉翠敛山横。相望只教添怅恨，
整鬟时见纤琼。独倚朱扉闲立，谁知别有深情。

【笺评】

艳丽亦复温文，更不易得。徒事铺排，中调即厌人，况长调乎？

小重山

梁燕双飞画阁前。寂寥多少恨，懒孤眠。晓来闲处
想君怜。红罗帐，金鸭冷沉烟。

谁信损婵娟。倚屏啼玉箸，湿香钿。四支无力上秋
千。群花谢，愁对艳阳天。

定西番

苍翠浓阴满院，莺对语，蝶交飞，戏蔷薇。

斜日倚栏风好，馀香出绣衣。未得玉郎消息，几时归。

木兰花

掩朱扉，钩翠箔。满院莺声春寂寞。匀粉泪，恨檀郎，一去不归花又落。

对斜晖，临小阁，前事岂堪重想着。金带冷，画屏幽，宝帐慵熏兰麝薄。

后庭花

莺啼燕语芳菲节，瑞庭花发。昔时欢宴歌声揭，管弦清越。

自从陵谷追游歇，画梁尘黥。伤心一片如珪月，闲锁宫阙。

【笺评】

“黥”字，诗词中不多见，即集中惟韦庄《应天长》“泪沾红袖黥”一语，语本周处《风土记》：“梅雨沾衣服，皆败黥，皆黑而有文者。”

其二

轻盈舞妓含芳艳，竞妆新脸。步摇珠翠修蛾敛，腻

鬟云染。

歌声慢发开檀点，绣衫斜掩。时将纤手匀红脸，笑拈金靺。

其 三

越罗小袖新香葭，薄笼金钗。倚栏无语摇轻扇，半遮匀面。

春残日暖莺娇懒，满庭花片。争不教人长相见，画堂深院。

酒泉子

闲卧绣帏，慵想万般情宠。锦檀偏，翘股重，翠云欹。暮天屏上春山碧，映香烟雾隔。蕙兰心，魂梦役，敛蛾眉。

【笺评】

“手抵着牙腮，慢慢的想”，知从此处翻案，觉两两尖新。

其 二

钿匣舞鸾，隐映艳红修碧。月梳斜，云鬓腻，粉香寒。晓花微敛轻呵展，裊钗金燕软。日初升，帘半卷，对

残妆。

菩萨蛮

梨花满院飘香雪，高楼夜静风筝咽。斜月照帘帷，
忆君和梦稀。

小窗灯影背，燕语惊愁态。屏掩断香飞，行云山外
归。

【笺评】

西域诸国编发垂髻，饰以杂花，如中国塑佛像璎珞之饰。曲
名本此。

其二

绣帘高轴临塘看，雨翻荷芰真珠散。残暑晚初凉，
轻风渡水香。

无憀悲往事，争那牵情思。光影暗相催，等闲秋又
来。

其三

天寒残碧融春色，五陵薄幸无消息。尽日掩朱门，
离愁暗断魂。

莺啼芳树暖，燕拂回塘满。寂寞对屏山，相思醉梦间。

李 珣

公，蜀之梓州人，事王宗衍。有词名《琼瑶集》。其妹事王衍，为昭仪，亦有词藻。

浣溪沙

入夏偏宜淡薄妆，越罗衣褪郁金黄，翠钿檀注助容光。

相见无言还有恨。几回判却又思量，月窗香径梦悠飏。

其 二

晚出闲庭看海棠，风流学得内家妆，小钗横戴一枝芳。

镂玉梳斜云鬓腻，缕金衣透雪肌香，暗思何事立残阳。

其 三

访旧伤离欲断魂，无因重见玉楼人，六街微雨镂香
尘。

早为不逢巫峡梦，那堪虚度锦江春，遇花倾酒莫辞
频。

【笺评】

“镂香尘”句妙。然“镂尘”二字出《关尹子》，李易安“清露晨流，新桐初引。”乃《世说》全文，词虽小技，亦须多读书者方许为之。

其 四

红藕花香到槛频，可堪闲忆似花人，旧欢如梦绝音
尘。

翠叠画屏山隐隐，冷铺纹簟水潋潋，断魂何处一蝉
新。

渔歌子

楚山青，湘水绿，春风淡荡看不足。草芊芊，花簇
簇，渔艇棹歌相续。

信浮沉，无管束，钓回乘月归湾曲。酒盈樽，云满屋，不见人间荣辱。

其 二

荻花秋，潇湘夜，橘洲佳景如屏画。碧烟中，明月下，小艇垂纶初罢。

水为乡，蓬作舍，鱼羹稻饭常餐也。酒盈杯，书满架，名利不将心挂。

其 三

柳垂丝，花满树，莺啼楚岸春天暮。棹轻舟，出深浦，缓唱渔歌归去。

罢垂纶，还酌醕，孤村遥指云遮处。下长汀，临浅渡，惊起一行沙鹭。

【笺评】

《渔歌子》即《渔家傲》也，老不如渔，良愧其言。

其 四

九疑山，三湘水，芦花时节秋风起。水云间，山月里，棹月穿云游戏。

鼓清琴，倾绿蚁，扁舟自得逍遥志。任东西，无定止，不议人间醒醉。

巫山一段云

有客经巫峡，停桡向水湄。楚王曾此梦瑶姬，一梦杳无期。

尘暗珠帘卷，香销翠幄垂。西风迥首不胜悲，暮雨洒空祠。

【笺评】

“迥”字应做“回”。

其二

古庙依青嶂，行宫枕碧流。水声山色锁妆楼，往事思悠悠。

云雨朝还暮，烟花春复秋。啼猿何必近孤舟，行客自多愁。

【笺评】

客子常畏人，酸语不减楚些。

临江仙

帘卷池心小阁虚，暂凉闲步徐徐。芰荷经雨半凋

疏。拂堤垂柳，蝉噪夕阳馀。

不语低鬟幽思远，玉钗斜坠双鱼。几回偷看寄来书。离情别恨，相隔欲何如。

【笺评】

不了语作结，亦自有法。

其二

莺报帘前暖日红，玉炉残麝犹浓。起来闺思尚疏慵。别愁春梦，谁解此情悰？

强整娇姿临宝镜，小池一朵芙蓉。旧欢无处再寻踪。更堪回顾，屏画九疑峰。

南乡子

烟漠漠，雨凄凄。岸花零落鹧鸪啼，远客扁舟临野渡。思乡处，潮退水平春色暮。

其二

兰桡举，水纹开。竞携藤笼采莲来，回塘深处遥相见。邀同宴，绿酒一卮红上面。



【笺评】

这般染法，亦画家之十二色之最上乘也。墨子当此，定无素丝之悲。

其 三

归路近，扣舷歌。采真珠处水风多，曲岸小桥山月过。烟深锁，豆蔻花垂千万朵。

其 四

乘彩舫，过莲塘。棹歌惊起睡鸳鸯，带香游女偎伴笑。争窈窕，竞折团荷遮晚照。

其 五

倾绿蚁，泛红螺。闲邀女伴簇笙歌，避暑信船轻浪里。闲游戏，夹岸荔枝红蘸水。

其 六

云带雨，浪迎风。钓翁回棹碧湾中，春酒香熟鲈鱼美。谁同醉，缆却扁舟蓬底睡。

【笺评】

帆底一樽，马头千里，亦自有荣辱。如此睡，仿佛希夷千日矣。

其 七

沙月静，水烟轻。菱荷香里夜船行，绿鬟红脸谁家女。遥相顾，缓唱棹歌极浦去。

其 八

渔市散，渡船稀。越南云树望中微，行客待潮天欲暮。送春浦，愁听猩猩啼瘴雨。

其 九

拢云髻，背犀梳。焦红衫映绿罗裾，越王台下春风暖。花盈岸，游赏每邀邻女伴。

其 十

相见处，晚晴天。刺桐花下越台前，暗里回眸深属意。遗双翠，骑象背人先过水。



【笺评】

轻弓短箭，独擅所长，故十调皆有超语。

女冠子

星高月午，丹桂青松深处。醺坛开。金磬敲清露，
珠幢立翠苔。

步虚声缥缈，想像思徘徊。晓天归去路，指蓬莱。

其二

春山夜静，愁闻洞天疏磬。玉堂虚。细雾垂珠珮，
轻烟曳翠裾。

对花情脉脉，望月步徐徐。刘阮今何处，绝来书。

酒泉子

寂寞青楼，风触绣帘珠碎撼。月朦胧，花暗淡，锁春
愁。

寻思枉事依稀梦，泪脸露桃红色重。鬓欹蝉，钗坠
凤，思悠悠。

其二

雨渍花零，红散香凋池两岸。别情遥，春歌断，掩银

屏。

孤帆早晚离三楚，闲理钿箏愁几许。曲中情，弦上语，不堪听。

其 三

秋雨联绵，声散败荷丛里。那堪深夜枕前听，酒初醒。

牵愁惹思更无停，烛暗香凝天欲晓。细和烟，冷和雨，透帘中。

其 四

秋月婵娟，皎洁碧纱窗外。照花穿竹冷沉沉，印池心。

凝露滴，砌蛩吟，惊觉谢娘残梦。夜深斜傍枕前来，影徘徊。

【笺评】

一意空翻到底，而点缀古雅，殊不强人意，似富于才而贫于学者。

望远行

春日迟迟思寂寥，行客关山路遥。琼窗时听语声

娇，柳丝牵恨一条条。

休晕绣，罢吹箫，貌逐残花暗凋。同心犹结旧裙腰，
忍辜风月度良宵。

其二

露滴幽庭落叶时，愁聚萧娘柳眉。玉郎一去负佳
期。水云迢递雁书迟。

屏半掩，枕斜欹，蜡泪无言对垂。吟蛩断续漏频移，
人窗明月鉴空帷。

菩萨蛮

回塘风起波纹细，刺桐花里门斜闭。残日照平芜，
双双飞鹧鸪。

征帆何处客，相见还相隔。不语欲魂销，望中烟水
遥。

其二

等闲将度三春景，帘垂碧砌参差影。曲槛日初斜，
杜鹃啼落花。

恨去容易处，又话潇湘去。凝思倚屏山，泪流红脸

斑。

其 三

隔帘微雨双飞燕，砌花零落红深浅。拈得宝箏调，
心随征棹遥。

楚天云外路，动便经年去。香断画屏深，旧欢何处
寻。

【笺评】

《菩萨蛮》集中最多，而佳者亦不少，以此殿之，不几貂续。

西溪子

金缕翠钿浮动，妆罢小窗圆梦。日高时，春已老，人
来到，满地落花慵扫。无语倚屏风，泣残红。

虞美人

金笼莺报天将曙，惊起分飞处。夜来潜与玉郎期，
多情不觉酒醒迟，失归期。

映花避月遥相送，腻髻偏垂凤，却回娇步入香闺，倚
屏无语拈云篴。翠眉低。



河 传

去去，何处？迢迢巴楚，山水相连。朝云暮雨，依旧
十二峰前，猿声到客船。

愁肠岂异丁香结，因离别，故国音书绝。想佳人花
下，对明月春风，恨应同。

其 二

春暮，微雨。送君南浦，愁敛双蛾。落花深处，啼鸟
似逐离歌，粉檀珠泪和。

临流更把同心结，情哽咽，后会何时节。不堪回首，
相望已隔汀洲，橹声幽。

【笺评】

宋绍兴中，杭都酒肆有道人携乌衣椎髻女子，买斗酒独饮，
女子歌以侑之，歌词非人世语。或记之以问一道士，道士曰：“此
赤城韩夫人作《法驾道引》也，凡三叠，即法曲之腔，词所从来诸
为此类，变而浸失其传者不少矣。”故以记之末简。

《花间集》跋

余自幼读经，读史，至仁人、孝子有被谗谤者，为之扼腕，辄欲手刃之而后称快焉。乃戊申秋梁谿肆毒，爰及于余，余于是以废举业，忘寝食，不复欲居人间世矣。缙绅同袍力解之弗得。忽一友出袖中二小书授余曰：“旦暮玩阅之，吟咏之，牢骚不平之气，庶几稍什其一二。”余视之则杨升庵、汤海若两先生所选《草堂诗余》、《花间集》也。于是散发披襟，遍历吴、楚、闽、越间，登山涉水，临风对月，靡不以此二书相校雠，始知宇宙之精英，人情之机巧，包括殆尽；而可兴、可观、可群、可怨，宁独在风雅乎？嗟乎！风雅而下，一变为排律，再变为乐府，为弹词；若元人之《会真》、《琵琶》、《幽闺》、《秀襦》，非乐府中所称脍炙人口者欤？然亦不过撷拾二书之绪余云尔。乌足羨哉！乌足羨哉！

时万历岁庚申菊月，荅上无瑕道人书于贝锦斋中。



尊前集

明 皇一首

好时光

宝髻偏宜宫样，莲脸嫩，体红香。眉黛不须张敞画，
天教人鬓长。

莫倚倾国貌，嫁娶个，有情郎。彼此当年少，莫负好
时光。

【笺评】

[明]顾梧芳云：然近体造端梁、陈，更唐天宝、开元，其格始
纯，又况填词之精工哉！若玄宗之《好时光》、李太白之《菩萨
蛮》、张志和之《渔父》、韦应物之《三台》，音婉旨远，妙绝千古。
它如王、杜、刘、白，卓然名家。（《尊前集》序）

刘毓盘云：玄宗皇帝好诗歌，精音律，多御制曲，有《紫云
曲》、《万岁乐》、《夜半乐》、《还京乐》、《凌波神》、《荔枝香》、《阿滥
堆》、《雨淋铃》、《春光好》、《踏歌》、《秋风高》、《一斛珠》等词，今
传者有《好时光》一词。按《全唐诗》注曰：唐人乐府，元是律绝等
语，杂和声歌之，凡五音二十八调，各有分属。自宫调失传，遂并
和声亦作实字矣。此词疑亦五言八句诗，如“偏”、“莲”、“张”、
“敞”、“个”等字，本属和声，而后人改作实字也。（《词史》）

昭宗二首

巫山一段云（上幸蜀宫人留题宝鸡驿壁）

缥缈云间质，盈盈波上身。袖罗斜举动埃尘，明艳
不胜春。

翠鬟晚妆烟重，寂寂阳台一梦。冰眸莲脸见长新，
巫峡更何人？

【笺评】

[清]王奕清等云：《巫山一段云》，唐教坊曲名。双调四十六字，前段四句三平韵，后段四句两仄韵，两平韵。（《词谱》卷六）

又

蝶舞梨园雪，莺啼柳带烟。小池残日艳阳天，苜蓿
山又山。

青鸟不来愁绝，忍看鸳鸯双结。春风一等少年心，
闲情恨不禁。

【笺评】

[清]沈雄云：《巫山一段云》，唐昭宗宫人题于宝鸡壁者。换头用六字句叶仄韵，与柳郎中之咏游仙相类。昭宗宫人云：“青鸟不来愁绝，忍看鸳鸯双结。春风一等少年心，闲情恨不禁。”柳郎中云：“一曲云谣为寿，倒尽玉壶春酒。微醺争撼白榆花，踏碎

九光霞。”笺体中应备之。（《古今词话·词辨》卷上）

[清]陈廷焯云：“遣词哀艳，至有李茂贞之变。”（《词则·闲情集》卷一）

庄 宗四首

一叶落

一叶落，褰朱箔。此时景物正萧索。画楼月影寒，
西风吹罗幕。吹罗幕，往事思量著。

【笺评】

[清]毛先舒云：《一叶落》，《淮南子》：“一叶落而天下知秋。”
唐庄宗词：“一叶落，褰朱箔。”遂以名调。（《填词名解》卷一）

俞陛云云：“庄宗《一叶落》词，其佳处在结句，与《如梦令》同一机局。”（《五代词选释》）

阳台梦

薄罗衫子金泥缝，困纤腰怯铢衣重。笑迎移步小兰
丛，弹金翘玉凤。

娇多情脉脉，羞把同心捻弄。楚天云雨却相和，又
入阳台梦。

【笺评】

[清]王奕清等云：《阳台梦》调有两体，四十九字者调见《尊前集》，唐庄宗制，因词有“又入阳台梦”句，取以为名；五十七字者调见《花草粹编》，宋谢昉制，即赋阳台梦题，两体截然不同。又云：此词全压仄韵；宋元人无填者，平仄当从之。（《词谱》卷七）

[清]沈雄云：《北梦琐言》曰：唐庄宗自傅粉墨为优人之戏，《一叶落》、《阳台梦》皆其所制词也。同光末兵变，登道旁冢上，野人献雉，询其地，曰：“此愁台也。”乃罢饮。（《古今词话》卷上）

歌 头 大石调

赏芳春，暖风飘箔。莺啼绿树，轻烟笼晚阁。杏桃红，开繁萼。灵和殿，禁柳千行，斜金丝络。夏云多，奇峰如削。纨扇动微凉，轻绡薄。梅雨霁，火云烁。临水槛、永日逃烦暑，泛觥酌。

露华浓，冷高梧，雕万叶。一霎晚风，蝉声新雨歇。惜惜此光阴如流水，东篱菊残时，叹萧索。繁阴积，岁时暮，景难留，不觉朱颜失却。好容光，旦旦须呼宾友，西园长宵，宴云谣，歌皓齿，且行乐。

【笺评】

[明]俞彦云：晚唐五代小令填词用韵，多诡譎不成文者，聊为之可耳，不足多法。彊村本《尊前集》载唐庄宗《歌头》一首，为字一百三十六，此长调之祖，然不能佳。（《爱园词话》）

[清]万树云：《歌头》后半叶韵甚少，必有讹处，不敢擅注句

读,即前半亦未必确然。原注大石调,姑存其体。为饥羊而已。
(《词律》)

[清]杜文澜云:按《词谱》“惜惜此光阴”句上“惜”字作“暗”。又“且且须呼宾友”句,“且且”作“旦旦”,《历代诗馀》同,均应遵改。又万氏注云:“后半叶韵甚少,必有讹处。”按“凋万叶”之“叶”字,“蝉声新雨歇”之“歇”字,《词谱》均注叶。又“禁柳千行,斜金丝络”二句,万氏注“行”字为句,或谓以斜字属上作五字一句,三字一句,意义较妥。又此词后半万氏未注句叶,今遵《词谱》补注。(《词律》卷二十五)

[清]沈雄云:《梅墩词话》曰:“词贵柔情曼声,第宜于小令,若长调而亦喁喁细语,失之约矣。惟沉雄悲壮,情致谆谆,方为令作。其多有不转韵者,以调长势散,恐其气不贯也。”如俞彦所云:“意窘于侈,字贫于复,气竭于鼓,鲜不纳收。”(《柳塘词话》卷一)

忆仙姿

曾宴桃源深洞,一曲清歌舞凤。长记欲别时,和泪出门相送。如梦,如梦,残月落花烟重。

【笺评】

[宋]胡仔云:东坡言《如梦令》曲名本唐庄宗制,一名《忆仙姿》,嫌其不雅,改云“如梦”。庄宗作此词,辛章云:“如梦,如梦,和泪出门相送。”取以为之名。(《苕溪渔隐丛话》后集卷三十九)

[宋]杨湜云:后唐庄宗修内苑,掘得断碑,中有字三十三,

曰：“曾会桃源深洞，一曲舞鸾歌凤。长记欲别时，残月落花烟重。如梦，如梦，和泪出门相送。”庄宗使乐工入律歌之，名曰“古记”，又使翰林作数篇。（赵万里辑杨湜《古今词话》）

[明]卓人月云：庄宗喜音声歌舞俳优之戏，自度曲“曾会桃源深洞”云云。或曰庄宗修内苑，掘得断碑，有此三十三字。（《古今词统》卷三）

[明]茅暎云：结句真有仙气，遂误为吕岩作。（《词的》卷一）

[清]张思岩云：李初白云：叠二字最难，惟此恰好。（《词林纪事》卷二引）

[清]褚人获云：李存勖搦画粉墨与敬新磨等日闹优场，粗犷之极，岂有清思者？乃其作《如梦令》词“会曾桃源深洞”云云，抑何婉丽如此？又黄幡绰亦是诙诨之雄，未闻娴于藻翰，而手书《霓裳羽衣曲》，刻石河中府，大有韵致。（《五代诗话》卷一引《坚瓠集》）

俞陛云云：五代词嗣响唐贤，悉可被之乐章，重在音节谐美，不在雕饰字句，而能手作之，声文并茂。此词“残月落花”句，以闲淡之景，寓浓丽之情，遂启后代词家之密钥。（《五代词选释》）

李 玉五首

一斛珠 商调

晓妆初过，沉檀轻注些儿个。向人微露丁香颗，一

曲清歌，暂引樱桃破。

罗袖裛残殷色可，杯深旋被香醪洩。绣床斜凭娇无那，烂嚼红茸，笑向檀郎唾。

【笺评】

[明]沈际飞云：描画精细，似一篇小题绝好文字。又云：后主、炀帝辈，除却天子不为，使之作文士荡子，前无古，后无今。（《草堂诗馀别集》卷三）

[明]李渔云：李后主《一斛珠》结句云：“绣床斜倚娇无那，烂嚼红茸，笑向檀郎唾。”此词亦为人所竞赏。予曰：此倡楼妇倚门腔，梨园献丑态也。嚼红绒（茸）以唾郎，与倚市门而大嚼，唾枣核瓜子，以调路人者，其间不能以寸。优人演剧，每作此状，以发笑端，是深知其丑，而故意为之者也。不料填词之家，竟以此事谤美人，而后之读词者又只重情趣，不问妍媸，复相传为韵事，谬乎不谬乎？（《窥词管见》）

[清]贺裳云：词家多翻诗意入词，虽名家不免。吾长爱李后主《一斛珠》末句云：“绣床斜凭娇无那，烂嚼红绒（茸），笑向檀郎唾。”杨孟载《春绣》绝句云：“闲情正在停针处，笑嚼红绒唾碧窗。”此却翻词入诗，弥子瑕竟效颦于南子。（《皱水轩词筌》）

[清]陈廷焯云：风流秀曼，失人君之度矣。（《闲情集》卷一）

子 夜

人生愁恨何能免，销魂独我情何限。故国梦重归，觉来双泪垂。

高楼谁与上，长记秋晴望。往事已成空，还如一梦中。

【笺评】

[清]陈廷焯云：回首可怜歌舞地。又云：悠悠苍天，此何人哉！（《词则·别调集》卷一）

俞陛云云：起句用翻笔，明知难免而自我消魂，愈觉埋愁之无地。马令《南唐书》本注云：“后主《子夜歌》调，有凄然故国之思。”（《南唐二主词集述评》）

更漏子 大石调（此首全唐五代词作温庭筠）

金雀钗，红粉面，花里暂时相见。知我意，感君怜，此情须问天。

香作穗，蜡成泪，还似两人心意。山枕腻，锦衾寒，夜来更漏残。

浣溪沙

手卷真珠上玉钩，依前春恨锁眉头。风里落花谁是主，思悠悠。

青鸟不传云外信，丁香空结雨中愁。回首绿波三楚暮，接天流。

【笺评】

[宋]马令云:王感化善讴歌,声韵悠扬,清振林木,击乐部,为歌板色。元宗即位,宴乐击鞠不辍,尝乘醉名感化奏《水调》词。感化惟歌“南朝天子爱风流”一句,如是者数四。元宗辄悟,覆杯叹曰:“使孙、陈二主得此,不当有銜壁之辱也。”感化由是有宠。元宗尝作《浣溪纱》两阕,手写赐感化。后主即位,感化以其词札上之。后主感动,赏赉感化甚优。(《南唐书》卷二十五)

[宋]胡仔云:《漫叟诗话》云:前人评杜甫云:“‘红豆啄残鹦鹉粒,碧梧栖老凤凰枝’若云‘鹦鹉啄残红豆粒,凤凰栖老碧梧枝’便不是好句。”余谓词曲亦然,李憬有曲“手卷真珠上玉钩”,或改为“珠帘”;舒信道有曲云“十年马上春如梦”或改云“如春梦”,非所谓遇知音。(《茗溪渔隐丛话》前集卷五十九引)

[明]李于鳞云:上言落花无主之意,下言回首一方之思。写出阑珊春色最是恼人天气。

[明]沈际飞云:落花一事而用意各别,亦妙。(《南唐二主词汇笺》引)

[清]黄蓼园云:清和宛转,词旨秀颖。(《蓼园词选》)

俞陛云云:此调有数名,《词谱》名《山花子》,为唐教坊曲,又名《南唐浣溪纱》,《梅苑》名《添字浣溪纱》,《乐府雅词》名《摊破浣溪纱》,《高丽史》名《感恩多》,即每句七字《浣溪纱》之别体。其结句加“思悠悠”、“接天流”三字句,申足上句之意,以荡漾出之,较七字结句,别有神味。《翰苑名谈》云:清雅可诵。《艺苑卮言》云:“青鸟”二句,非律诗俊语乎?然是天成词句,著于诗中不得。(《南唐二主词辑述评》)

虞美人 中吕调

春花秋叶何时了，往事知多少。小楼昨夜又东风，
故国不堪回首月明中。

雕阑玉砌依然在，只是朱颜改。不知都有几多愁，
恰似一江春水向东流。

【笺评】

[宋]陆游云：李煜归朝后，郁郁不乐，见于词语。在赐第，七夕命故妓作乐，闻于外。又传“小楼昨夜又东风”。并坐之，遂被祸。（《避暑漫钞》）

[宋]陈师道云：王旂，平甫之子，尝云：今语例袭陈言，但能转移耳。世称秦词“愁如海”为新奇，不知李国主已云：“问君能有几多愁，恰似一江春水向东流。”但以“江”为“海”耳。（《五代诗话》卷一引《后山诗话》）

[宋]罗大经云：诗家有以山喻愁者，如少陵诗云：“尤端如山来，倾洞不可掇。”赵嘏诗：“夕阳楼上山重叠，未抵春愁一倍多。”是也。有以水喻愁者，李颀曰：“请量东海水，看取浅深愁。”李后主云：“问君都有几多愁，恰似一江春水向东流。”是也。贺方回云：“试问闲愁知几许，一川烟草，满城风絮，梅子黄时雨。”盖以三者比愁之多也，尤为新奇，兼与中有比，意味更长。（《鹤林玉露》卷七）

[宋]王楙云：《后山诗话》载王平甫子旂谓秦少游“愁如海”之句，出于江南李后主“问君还有几多愁，恰似一江春水向东流”

之意。仆谓李后主之意，又有所自。乐天诗曰：“欲识愁多少，高于滟滪堆。”刘禹锡诗曰：“蜀江春水拍山流，水流无限似侬愁。”得非祖此乎？则知好处前人皆已道过，后人但翻而用之耳。（《野客丛书》卷二十）

[宋]陈郁云：太白曰：“请君试问东流水，别意与之谁短长？”江南李主曰：“问君还有几多愁，却似一江春水向东流。”略加融点，已觉精采。至寇莱公则谓：“愁情不断如春水。”少游云：“落红万点愁如海。”青出于蓝，而胜于蓝矣。（《藏一话腴》内篇卷上）

[明]徐士俊云：只一“又”字，宋元以来抄者无数，终不厌烦。（《古今词统》）

[明]王世贞云：“归来休放烛花红，待踏马蹄清夜月。”《玉楼春》致语也。“问君能有几多愁，却似一江春水向东流。”情语也。后主直是词手。（《弇州山人词评》）

[明]董其昌云：山谷羨后主此词，荆公云未若“细雨梦回鸡塞远，小楼吹彻玉笙寒”尤为高妙。（《评注便读草堂诗馀》卷三）

[清]王士禛云：钟隐入汴后，“春花秋月”诸词与“此中日夕只以眼泪洗面”一帖，同是千古情种，较长城公煞是可怜。（《花草蒙拾》）

[清]王闿运云：常语耳，以初见故佳，再学便滥矣。朱颜本是山河，因归宋不敢言耳。若直说山河改，反又浅也。结亦恰到好处。（《湘绮楼词选》前篇）

俞陛云云：就词而论，李、刘、秦诸家之以水喻愁，不若后主之“春江”九字，真伤心人语也。（《南唐二主词辑述评》）

李 白

连理枝 黄钟宫

雪盖宫楼闭，罗幕昏金翠。斗压阑干，香心淡薄，梅梢轻倚。喷宝狻香烬麝烟浓，馥红绡翠被。

浅画云垂帔，点滴昭阳泪。咫尺宸居，君恩断绝，似远千里。望水晶帘外竹枝寒，守羊车未至。

【笺评】

[清]陈廷焯云：“玉陛生白露”一绝，温厚和平，不着迹相，太白绝调也。此词微病浅露，然句法字法，仍不失为古雅。（《词则·别调集》卷一）

[清]王奕清等云：按《连理枝》双调七十字，前后段各七句，四仄韵，《尊前集》列为李白作。旧谱或分为两首者非。（《词谱》卷十六）

清平乐

禁庭春昼，莺羽披新绣。百草巧求花下斗，只赌珠玑满斗。

日晚却理残妆，御前闲舞霓裳。谁道腰肢窈窕，折旋笑得君王。

【笺评】

俞陛云云：此太白在翰林时应制之作。先言禁庭春昼，斗草奢华。后言歌舞邀思，翩嬝旋折，以取媚君王，不惜腰肢约瘦，如楚宫之服“息肌丸”，意殆讽谐弄之臣耶？（《唐词选释》）

又

禁闱清夜，月探金窗罅。玉帐鸳鸯喷兰麝，时落银灯香爇。

女伴莫话孤眠，六宫罗绮三千。一笑皆生百媚，宸衷教在谁边。

【笺评】

〔宋〕吴曾云：白乐天《长恨歌》云：“回眸一笑百媚生，六宫粉黛无颜色。”盖同李白应制《清平乐》词：“女伴莫话孤眠。六宫罗绮三千。一笑皆生百媚，宸游教在谁边？”（《能改斋漫录》卷八）

〔明〕沈际飞云：读末语不胜低徊欢息，古来怨女弃才何限也。（《草堂诗馀别集》卷一）

〔清〕陈廷焯云：三千罗绮皆工献媚，谁能得圣眷哉？所谓众女进而是蛾眉见嫉也。（《词则·别调集》卷一）

又《云韶集》卷二四：起笔细丽，开后人句法。

〔清〕许昂霄云：《清平乐》：“一笑皆生百媚，宸游教在谁边？”怨而不怒，以解嘲为怨诽，可与《客难》、《宾戏》一例看。（《词综偶评》）

俞陛云云：前首言昼景，此言夜景，丽句妍词，想见唐宫春



色，转头处言粉黛列屋而居，争怜希宠，延伫羊车，以应制体乃尽态取妍，可见当时禁令之宽，故飞燕新妆，不嫌唐突。（《唐词选释》）

又

烟深水阔，音信无由达。惟有碧天云外月，偏照悬悬离别。

尽日感事伤怀，愁眉似锁难开。夜夜长留半被，待君魂梦归来。

【笺评】

[清]陈廷焯云：寄情甚深，含怨言外。（《词则·别调集》卷一）

又

鸾衾凤褥，夜夜常孤宿。更被银台红蜡烛，学妾泪珠相续。

花貌些子时光，抛人远泛潇湘。欹枕悔听寒漏，声声滴断愁肠。

又

画堂晨起，来报雪花坠。高卷帘栊看佳瑞，皓色远迷庭砌。

盛气光引炉烟，素草寒生玉佩。应是天仙狂醉，乱把白云揉碎。

【笺评】

[清]王奕清等云：《清平乐》，《宋史·乐志》属大石调，《乐章集》注越调。《碧鸡漫志》云：欧阳炯称李白有应制《清平乐》四首，在越调，又有黄钟宫、黄钟商两音。《花庵词选》名《清平乐令》。张辑词有“忆著故山罗月”句，名《忆罗月》。张翥词有“明朝来醉东风”句，名《醉东风》。（《词谱》卷五）

菩萨蛮 中吕宫

游人尽道江南好，游人只合江南老。未老莫还乡，还乡空断肠。

绣屏金屈曲，醉入花丛宿。春水碧于天，画船听雨眠。

【笺评】

[明]杨慎云：西域诸国妇人，编发垂髻，饰以杂花，如中国塑佛像璎珞之饰。《菩萨蛮》曲名本此。（《词品》卷一）

王易云：又《尊前集》载白作三首，其“游人尽道江南好”一首，明是韦庄作，破碎杂凑所成，可见《尊集》所收未尝精考。此调温韦所作最多而工，“平林漠漠”一首，与之气体亦略近，则张冠李戴，或所不免。（《词曲史·具体》第三）



又

平林漠漠烟如织，寒山一带伤心碧。暝色入高楼，
有人楼上愁。

玉阶空伫立，宿鸟归飞急。何处是回程，长亭接短
亭。

【笺评】

[宋]黄昇云：二词（指此首与《忆秦娥》）为百代词曲之祖。
（《花庵词选》卷一）

[明]沈际飞云：古词妙处，只是天然无雕饰。又云：云如髻，
可方烟如织。（《草堂诗余正集》卷一）

[明]曹学佺云：太白《菩萨蛮》词，此思蜀之作也。（《蜀中广
记》卷一〇四）

[明]徐士俊云：词林以此为鼻祖，其古致遥情，自然压卷。
（《古今词统》卷五）

[清]李调元云：词用“织”字最妙。始于太白词“平林漠漠烟
如织”。孙光宪亦有句云“野棠如织”，晏殊亦有“心似织”句，此
后遂千变万化矣。（《雨村词话》卷一）

[清]刘熙载云：太白《菩萨蛮》、《忆秦娥》，张志和《渔歌子》，
两家一忧一乐，归趣难名。或灵均《思美人》、《哀郢》，庄叟濠上
近之耳。（《艺概》卷四）

[清]陈廷焯云：太白《菩萨蛮》、《忆秦娥》两阙，神在个中，音
流弦外，可以是为词中鼻祖。寻词之祖，断自太白可也，不必高

语六朝。(《白雨斋词话》卷五)

俞陛云云：以词格谕，苍茫高浑，一气回旋。(《唐词选释》)

又

举头忽见衡阳雁，千声万字情何限。亘耐薄情夫，
一行书也无。

泣归香阁恨，和泪淹红粉。待雁却回时，也无书寄
伊。

清平调

云想衣裳花想容，春风拂槛露华浓。若非群玉山头
见，会向瑶台月下逢。

【笺评】

[宋]王灼云：《松窗杂录》云：开元中，禁中初重木芍药，得四本，红紫浅红通白繁开，上乘照夜白，太真妃以步辇从，李龟年手捧檀板，押众乐前，将欲歌之。上曰：焉用旧词为？命龟年宣翰林学士李白立进《清平调》三章，白承诏赋词，龟年以进。上命梨园弟子约格调，抚丝竹，促龟年歌，太真妃笑领歌意甚厚，张君房《脞说》指此为《清平乐曲》。按明皇宣白进《清平调》词，乃是令白于《清平调》中制词，盖古乐取声律高下合为三：曰清调，平调，侧调，此之谓三调。明皇止令就择上两调，偶不乐侧调故也。(《碧鸡漫志》卷五)



[宋]严羽云：想望缥缈，不得以熟目忽之。（《李太白诗醇》卷

二）

[宋]谢叠山云：褒美中以寓箴规之意。（《李太白诗醇》卷二）

[明]胡震亨云：清平调为三调中之清平调，古房中遗声也。

（《唐音癸签》卷一三）

[清]沈谦云：“云想衣裳花想容”，此是太白佳境。柳屯田“拟把名花比，恐旁人笑我，谈何容易”，大畏唐突，尤见温存，又可悟翻旧为新之法。（《填词杂说》）

[清]李调元云：太白词有“云想衣裳花想容”，已成绝唱。韦庄效之，“金似衣裳玉似身”，尚堪入目，而向子谨“花容仪，柳细腰”之句，毫无生色，徒生厌憎。此皆李赤之于李白，黄乐地之于白居易，杜荀鸭之于杜荀鹤，无赖之类所为也。（《雨村词话》卷一）

又

一枝红艳露凝香，云雨巫山枉断肠。借问汉宫谁得似，可怜飞燕倚新妆。

【笺评】

[宋]乐史云：上自是顾李翰林尤异于他学士，会力士终以脱靴为深耻。异日妃重吟前词，力士戏曰：“始以为妃子怨李白深入骨髓，何翻拳拳如是耶？”妃子惊曰：“何学士能辱人如斯？”力士曰：“以飞燕指妃子，贱之甚矣。”妃深然之。上尝三欲命李白官，卒为官中所捍而止。（《杨太真外传》卷上）

[清]梅禹金云：萧（士赞）注谓神女刺明皇之聚麀，飞燕讥贵

妃之微贱，亦太白醉中应诏，想不到此，但巫山妖梦，昭阳祸水，微文隐意，风人之旨。（《唐诗合选详解》卷四）

[清]王士禛云：李太白《清平调》、《行乐词》，皆用飞燕昭阳事。然予观王少伯《宫词》，如“平阳歌舞新承宠，帘外春寒锡锦袍”，“斜抱云和深见月，朦胧树色隐昭阳”，“玉颜不及寒鸦色，犹带昭阳日影来”，皆为太真而作，皆用昭阳事。盖当时诗人之言多如此，不独太白。（《池北偶谈》卷十七）

又

名花倾国两相欢，常得君王带笑看。解得春风无限恨，沉香亭北倚阑干。

【笺评】

[宋]严羽云：旖旎动人。

[宋]谢叠山云：敬贤必远色。明皇释恨，惟在玉环，则张九龄、韩休辈不容于不远矣。

潘稼堂云：有名花不可无倾国，有倾国不可无君王，三者更拆开不得。（以上《李太白诗醇》卷二）

[明]胡应麟云：“明月自来远自去，更无人倚玉阑干”、“解得东风无限恨，沉香亭北倚阑干”，崔鲁、李白同咏玉环事，崔则意极精工，李则语由信笔，然不堪并论者，直是气象不同。（《诗薮》内编卷六）

王易云：今申《清平调》词意，曰“一枝红艳”，曰“名花倾国”，明是赋木芍药。《唐书》所谓高力士摘其诗以激杨妃者，即指“飞

燕新妆”之句也。（《词曲史·具体》第三）

韦应物四首

调笑

胡马，胡马，远放燕支山下。跑沙跑雪独嘶，东望西望路迷。迷路，迷路，边草无穷日暮。

【笺评】

[清]曹锡彤云：燕支山在匈奴界。跑，足跑地也。此笑北胡难灭之词。（《唐诗析类集训》卷十）

日人近藤元粹云：圆活自在，可谓笔端有舌。（《韦柳诗集》卷十）

又

河汉，河汉，晓挂秋城漫漫。愁人起望相思，江南塞北别离。离别，离别，河汉虽同路绝。

【笺评】

[清]王奕清等云：此词凡三换韵，起用叠句，第六、七句，即倒叠第五句末二字转以应之，戴叔伦所谓转应者，意盖取此。（《词谱》卷二）

三 台

一年一年老去，来日后日花开。未报长安平定，万国岂得衔杯。

【笺评】

[清]曹锡彤云：德宗建中四年，泾原节度使姚令言反，犯长安，帝如奉天。朱泚反，犯奉天。至贞元初年长安定。（《唐诗析类集训》卷十）

又

冰泮寒塘水渌，雨馀百草皆生。朝来门巷无事，晚下高斋有情。

【笺评】

[清]曹锡彤云：前首言台宴非宜，次首言台宴仅可。贞元初，韦应物为苏州刺史，此词盖在苏州作。（《唐诗析类集训》卷十）

日人近藤元粹云：二首俱辞气甚古。（《韦柳诗集》卷十）



王建十首

宫中三台

鱼藻池边射鸭，芙蓉苑里看花。日色赭袍相似，不著红鸾扇遮。

【笺评】

[宋]黄昇云：仲初以《宫词》百首著名，《三台令》、《转应曲》，其馀技也。（《词林纪事》卷一）

又

池北池南草绿，殿前殿后花红。天子千秋万岁，未央明月清风。

【笺评】

[清]沈雄云：《三台》舞曲，自汉有之。唐王建、刘禹锡、韦应物诸人有宫中、上皇、江南、突厥之别。（《柳塘词话》卷三）

俞陛云云：二词皆台阁体，其浑成处，想见盛唐词格。（《唐词选释》）

江南三台

扬州池边少妇，长干市里商人。三年不得消息，各自拜鬼求神。

又

青草台边草色，飞猿岭上猿声。万里三湘客到，有
风有雨人行。

又

树头花落花开，道上人去人来。朝愁暮愁即老，百
年几度三台。

又

斗身强健且为，头白齿落难追。准拟百年千岁，能
得几许多时。

宫中调笑

团扇，团扇，美人病来遮面。玉颜憔悴三年，谁复商
量管弦。弦管，弦管，春草昭阳路断。

【笺评】

[清]陈廷焯云：王仲初《调笑令》：“弦管，弦管，春草昭阳路断。”结语凄怨，胜似《宫词》百首。（《白雨斋词话》卷五）

又

蝴蝶，蝴蝶，飞上金枝玉叶。君前对舞春风，百叶桃花树红。红树，红树，燕语莺啼日暮。

又

罗袖，罗袖，暗舞春风已旧。遥看歌舞玉楼，好日新妆坐愁。愁坐，愁坐，一世虚生虚过。

【笺评】

[明]徐士俊云：近妓人诗“一世坐春愁”出此。又云：蔡氏《清溪五弄》中有《坐愁弄》。（《古今词统》）

又

杨柳，杨柳，日暮白沙渡口。船头江水茫茫，商人少妇断肠。肠断，肠断，鹧鸪夜飞失伴。

【笺评】

[明]顾起纶云：王仲初《古调笑》，融情会景，犹不失题旨。（《花庵词选》跋）

俞陛云云：四词节短音长，独弹古调。以团扇、胡蝶、罗袖、杨柳为起笔，《诗经》之比体也。意随调转，如“管弦”、“弦管”句，音节亦流动生姿。倘使红牙按拍，应怨入落花矣。（《唐词选释》）

杜 牧一首

八六子

洞房深，画屏灯照，山色凝翠沉沉。听夜雨冷滴芭蕉，惊断红窗好梦，龙烟细飘绣衾。辞恩久归长信，凤帐萧疏，椒殿闲扃。

辇路苔侵。绣帘垂，迟迟漏传丹禁。薜华偷悴，翠鬟羞整，愁坐望处，金舆渐远，何时彩仗重临。正消魂，梧桐又移翠阴。

【笺评】

[清]万树云：此词字数，虽较多于秦（指秦观“倚危亭”一首），亦有讹处。前段当于“绣衾”分住，“凤帐”至“苔侵”十二字，自应与前词“夜月”十二字相合。该在“殿”字分句，盖此处是六字两句，况“扃”字不是闭口韵，非叶也。至“侵”字，方是叶耳。以下俱与前合矣。总之，此两篇，恐俱有误，观后所载诸作可知。（《词律》卷十三）

[清]王奕清等云：此词见《尊前集》，分段处“扃”字非本韵，似宜于“辇路苔侵”分段为允。若依宋人词体，则当于“绣衾”句分。但不便据宋词以分唐词，且前后长短太不均。在宋词之分段，于体例亦未尽善。欲照“苔侵”句分段以分宋词，则晁词于

“多情”字分。杨词于“临风”字分，秦词于“柔情”字分，李词于“春华”字分，王词于“庭除”字分，庶体例画一。因前无所据，姑彼此各仍其旧。（《词谱》卷二十二）

[清]谢章铤云：《词综》一书，采摭精富矣，而失载杜樊川之《八六子》。按是词见顾梧芳《尊前集》，竹垞凡例曾列是书，而《曝书亭集》又有一跋，谓得吴文定公手钞本，词人之先后，乐章之次第与顾氏靡有不同。始知是集为宋初人编辑，非顾氏所撰也。然则此词必非明人伪作可知。竹垞即见此词，不解何以弗采。其词云云（从略）。唐词传世甚罕，零玃断璧，俱属可宝。第此词后片一连四句无韵，不应如是之疏。（《赌棋山庄词话》卷十）

[宋]洪迈云：秦少游《八六子》词“片片飞花弄晚，濛濛残雨笼晴。正销凝，黄鹂又啼数声”，语句清峭，为名流推激。余家旧有建本《兰畹集》载杜牧之一词，记其末句云云。（《容斋四笔》）

刘禹锡三十八首

杨柳枝

塞北梅花羌笛吹，淮南桂树小山词。请君莫奏前朝曲，听唱新翻杨柳枝。

【笺评】

[宋]王灼云：《乐府杂录》云，白傅作《杨柳枝》。予考乐天晚年，与刘梦得唱和此曲词，白云：“古歌旧曲君休听，听取新翻杨

柳枝。”又作《杨柳枝》二十韵云：“乐童翻怨调，才子与妍词。”注云：“洛下新声也。”刘梦得亦云：“请君莫奏前朝曲，听唱新翻杨柳枝。”盖后来始变新声，而所谓乐天作《杨柳枝》者，称其别创词也。今黄钟商有《杨柳枝》曲，仍是七字四句诗，与刘、白及五代诸子所制并同。但每句下各增三字一句，此乃唐时和声，如《竹枝》、《渔父》，今皆有和声也。（《碧鸡漫志》卷五）

又

南陌东城春草时，相逢何处不依依。桃红李白皆夸好，须得垂杨相发挥。

又

凤阙轻遮翡翠帷，龙墀遥望鞠尘丝。御沟春水相辉映，狂杀长安年少儿。

【笺评】

[明]胡震亨云：唐人咏柳，如刘禹锡之“龙墀遥望鞠尘丝”，使“鞠尘”字者极多。《礼记·月令》：荐鞠衣于上帝，告桑事。注云：“如鞠尘色。”《周礼·内司服》：“鞠衣。”郑玄云：“鞠衣，黄桑服也，色如鞠尘，象桑叶始生。”此用之柳，又象其花絮之穗耳。（《唐音癸签》卷二〇）





又

金谷园中莺乱飞，铜驼陌上好风吹。城东桃李须臾尽，争似垂杨无限时。

又

花萼楼前初种时，美人楼上斗腰肢。如今抛掷长街里，露叶如啼欲恨谁。

【笺评】

[宋]谢枋得云：此首意谓人不能特立，随时趋势，以求富贵者，与花萼楼前杨柳何异？明皇创花萼相辉之楼，与兄弟亲王宴馀其上，楼前多杨柳。《连昌宫词》云：“往来年少说长安，玄武楼成花萼废。”花萼楼既废，则杨柳之地，皆为长街矣。此一杨柳在花萼楼前初种之时，官人歌舞楼上者，观杨柳之轻盈袅娜，自恨腰肢之不如，欲与杨柳斗此娇媚之态，犹人之逢时遇主，大蒙宠幸也。及花萼楼废，楼前为长街，杨柳在长街之中，无人顾盼，如抛掷然，犹人之忤时失势，摈弃寂寞也。柳叶带露，有如泪眼。“露叶如啼欲恨谁”，犹小人失势，不责己而怨人，虽泣血涟如，亦无益也。（赵蕃韩洄《精选唐诗绝句》卷一）

胡次焱云：此首乃梦得自道也。其与议禁中，所言必从，此“花萼楼前初种时”也。降武元衡，罢窦群，斥韩洄，此美人楼上斗腰肢也。贬连州刺史，斥朗州司马，易柳州，徙夔州，此“如今

抛掷长街里”也。《问大钧赋》，《谪九年赋》，叙张九龄事，为《子刘子传》，此“露叶如啼欲恨谁”也。末句乃不敢怨人之词，欲恨谁者，即《易》所谓：“自我致寇，又谁咎也。”其悔心之萌乎？

陆时雍云：自怨语，此是尤人无限。

（以上《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

又

炀帝行宫汴水滨，数株残柳不胜春。晚来风起花如雪，飞入宫墙不见人。

【笺评】

[宋]谢枋得云：炀帝荒淫不君，国亡身丧，行宫外残柳数株，枝条柔弱，如不胜春风之摇荡，柳花如雪，飞入宫墙，似若羞见时人者。隋之臣子仕唐，曾不曰国亡主灭，分任其咎。扬扬然无羞恶心，观柳花，亦可愧矣。（赵蕃韩淲《精选唐诗绝句》卷一）

胡次焱云：此扶植世教，足以立顽廉贪，但“不见人”三字，恐只是《易》所谓“窥其户，阒其无人”之意。二圣北狩时，前辈有忆君王词：“依依杨柳指宫墙，庭院无人春昼长，燕子归来还自忙。忆君王，月破黄昏人断肠。”此之谓也。

唐汝询云：柳花如雪，宫中无人，自足兴感，语意本明，一解便俗。

蒋一葵云：吊亡隋者，多不出此意。如此落句，更出人意表。

徐充云：此只是形容亡国荒凉之态，与李益《隋宫燕》诗同意。

（以上《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）



[清]黄白山云：“不胜春”三字，正为残柳写照。若作“杨柳”则三字落空矣。只“不见人”三字，写尽故宫离黍之态，何用多言？（黄生选评《唐诗摘钞》卷四）

[清]吴瑞荣云：“不见人”，是荒凉之象，宋儒谓改作“羞见人”更佳。其说非是。又李益《隋宫燕》诗：“燕语如伤旧国春，官花一落旋成尘。自从一闭风光后，几度飞来不见人。”亦此意。（《唐诗笺要》卷七）

又

御陌青门拂地垂，千条金缕万条丝。如今绾作同心结，将赠行人知不知。

又

城外春风吹酒旗，行人挥袂日西时。长安陌上无穷树，唯有垂杨管别离。

【笺评】

[宋]谢枋得云：人之饯别，非驿亭则酒肆。多种杨柳，古人或折柳以赠，或攀柳而悲。长安陌上树木尽多，管别离者，惟有垂杨耳。意谓王公将相，位尊权重，其栽培桃李必多，或辞官，或失势，一旦去国，其门下士终始不相背负者甚少也。（赵蕃韩漉《精选唐诗绝句》卷一）

[清]黄周星云：想垂杨亦不胜攀折，正见苦无替代耳。（《唐

诗快》卷十五)

[清]吴瑞荣云：“管”字下得妙，视前首“飞入官墙不见人”之“见”字，用意更胜。（《唐诗笺要》卷七）

又

轻盈袅娜占年华，舞榭妆楼处处遮。春尽絮飞留不得，随风好去落人家。

【笺评】

[宋]魏庆之云：东坡云世谓乐天有鬻骆马，放杨柳枝词，嘉其主老病不忍去也。然梦得有诗云：“春尽絮飞留不得，随风好去落谁家。”乐天亦云：“病与乐天相伴住，春随樊子一时归。”则是樊素竟去也。（《诗人玉屑》卷十七）

[宋]谢枋得云：“轻盈袅娜占年华”，小人柔邪便佞，趋炎炙熟，专宠怙恩也。“舞榭妆楼处处遮”，小人为权贵所信任，妄作威福，无一事不出其手，无一人不登其门也。“春尽絮飞留不得”，主人失势受祸，宾客尽散。“随风好去落谁家”，小人忘恩负义，随时变化，背故知而趋新知，如柳絮随风坠落，不择地亦不择人也。（赵蕃韩流《精选唐诗绝句》卷一）

周敬云：前二句借柳以形容藉权者妄作威福情状。后二句言其势败流落，莫知去向，有如柳花飘荡，随风所止。玩“好去”二字意深。

胡济鼎云：此主人诀别之词，若曰春既尽，絮终不为树所留，时使然也。但愿尔随风好去耳。宾客尽散，其行虽薄，而主人惟



祝其好去，厚之至也。

周珙云：后二句即“还将旧来意，怜取眼前人”转语。一恨薄情者，反欲其亲所新；一怪趋势者，远示其定所附，大是感慨。

陆时雍云：流连宛转，哀怨无穷。

（以上《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

又

扬子江头烟景迷，隋家宫树拂金堤。嵯峨犹有当时色，半蘸波中水鸟栖。

【笺评】

[清]王士禛、郑方坤云：《杨柳枝》，即古《折杨柳》义也。本歌亡隋之曲，故陈子昂有诗云：“万里长江一带开，岸边杨柳几千栽。锦帆未落干戈起，惆怅龙舟云不回。”刘禹锡曰：“扬子江头烟景迷……”又韩琬云：“昌乐隋堤事已空，万条犹舞旧东风”，晋和凝云：“万枝枯槁怨亡隋，似吊吴台各自垂”，是也。（《五代诗话》卷二）

竹 枝

白帝城头春草生，白盐山下蜀江清。南人上来歌一曲，北人莫上动乡情。

【笺评】

[清]吴瑞荣云：梦得《竹枝》词意致高妙，古澹有味，在元和

间，诚为独步。（《唐诗笺要》卷七）

徐荣云：《竹枝》词始于巴蜀，故又名《巴渝词》。盖本唐时俚唱，而收入教坊曲者，亦采风遗意。虽盛于贞元、元和之间，而传作仅数家。且《竹枝》之为体，所以赋风土，写人情，非流连光景之作。唐人作者如刘、白诸家，大抵皆言巴、蜀、湘、楚之事。刘梦得在沅湘，因里歌鄙陋，为新词教之。词中虽有“白帝”、“巫峡”等句，而作则在沅湘，语亦兼巴楚。（《词律笺榷》卷一）

[明]胡震亨云：《竹枝》本出巴渝，其音协黄钟羽，末如吴声。有和声，七字为句。破四字，和云“竹枝”；破三字，又和云“女儿”。后元和中，刘禹锡谪其地，为新词，更盛行焉。（《唐音癸签》卷一三）

[清]沈雄云：《竹枝序》曰：刘禹锡，中山人，贞元进士。在沅湘日，以里歌俚鄙，乃依骚人《九歌》，作《竹枝》九章，教里中儿，由是盛于贞元、元和间。（《古今词话·词评》上卷）

又

山桃红花满上头，蜀江春水拍山流。花红易衰似郎意，水流无限似依愁。

【笺评】

俞陛云云：前二句言仰望则红满山桃，俯视则绿浮江水，亦言夔峡之景。第三句承首句山花而言，即情如花发旋凋，更无余恋。第四句承次句蜀江而言，妾意如水流不断，独转回肠。隔句作对偶相承，别成一格，《诗经》比而兼兴之体也。（《诗境浅说》续

编)

又

江上春来新雨晴。灊西春水縠纹生。桥东桥西好杨柳，人来人去唱歌行。

【笺评】

[宋]黄庭坚云：梦得《竹枝》词，辞意高妙，元和间诚可独步。道风俗而不俚，追古昔而不愧，比子美《夔州歌》所谓同工而异曲也。（《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

[清]黄白山云：“縠纹生”，自注“生熟之生”。（《唐诗摘抄》卷四）

又

日出三竿春雾消，江头蜀客驻兰桡。凭寄狂夫书一纸，住在成都万里桥。

【笺评】

俞陛云云：首二句纤徐取势，雾消日出，江上停桡。先言蜀客之在夔门，后乃转笔，述思妇之语。称曰狂夫者，怨词也。若谓千里怀人，但凭一纸，况妾居成都万里桥边，自古送别之地，李太白所谓：“天下伤心处，劳劳送客亭。”此情何以堪耶。（《诗境浅说》续编）

又

两岸山花似雪开，家家春酒满银杯。昭君坊中多女伴，永安宫外踏青来。

【笺评】

[明]周珙云：顾璘云：《竹枝》绝唱，后人苦力不到。（《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

又

瞿塘嘈嘈十二滩，此中道路古来难。长恨人心不如水，等闲平地起波澜。

【笺评】

[明]周珙云：水性本平，瞿塘险恶搏激，致使波澜卷起，人心无故，常含翻覆不测，是人心不如水也。简易君子，安得不恨。（《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

又

巫峡苍苍烟雨时，清猿啼在最高枝。个里愁人肠自断，由来不是此声悲。

又

城西门前滟滪堆，年年波浪不能摧。懊恼人心不如石，少时东去复西来。

又

杨柳青青江水平，闻郎江上唱歌声。东边日出西边雨，道是无晴还有晴。

【笺评】

[宋]胡仔云：余尝再行苕溪，夜闻舟人唱吴歌，歌中有此后两句，余皆杂以俚语，岂非梦得之歌自巴渝流传至此？（《苕溪渔隐丛话》后集卷二十）

[明]周珙云：起兴于杨柳江水而借景于东日西雨，隐然见唱歌闻歌，无非情之所流注也。调祖《子夜》、《读曲》，盖“晴”与“情”同音，为近日吴歌双关意作俑。（《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

[清]黄白山云：此以“晴”字双关“情”字，其源出于《子夜》、《读曲》。“雾露隐芙蓉，见莲不分明”、“石阙生口中，衔碑不得语”之类是也。（《唐诗摘抄》卷四）

[清]沈雄云：作者须不似《子夜》“欢闻”体，亦不得全脱本意，又不可竟作七言绝句。（《古今词话·词辨》上卷）

俞陛云云：双关巧语，妙手偶得之。（《诗境浅说》续编）

又

楚水巴山江雨多，巴人能唱本乡歌。今朝北客思归去，回入纥那披绿萝。

【笺评】

[明]卓人月云：徐士俊云《竹枝》杂《子夜》体，以此为俑。
(《古今词统》卷一)

[清]沈雄云：刘禹锡词：“今朝北客思归云，回入纥那披绿萝。”阿那、回纥，亦当时曲名。李郢言梵呗为艳歌，刘禹锡言翻南调为北曲也，此阿那、回纥所自始。(《柳塘词话》卷一)

[清]翁方纲云：刘宾客之能事，全在《竹枝词》，至于铺陈排比，辄有伧俗之气。(《石洲诗话》卷二)

纥那曲

杨柳郁青青，竹枝无限情。同郎一回顾，听唱纥那声。

【笺评】

[明]胡震亨云：《纥那曲》，亦见禹锡集。《纥那》乐府不著所出，今考天宝中崔成甫所翻《得胜歌》，有“得胜纥那也，乞囊得胜那”之句，岂其所本欤？(《唐音癸签》卷一三)



又

踏曲兴无穷，调同词不同。愿郎千万寿，长作主人翁。

【笺评】

[清]杜文澜云：按《旧唐书·韦坚传》，先是人间戏唱歌词云：“得体的那也，体的那。潭里船车闹，扬州铜器多。三郎当殿坐，看唱得体的歌。”“体的那”之名始此。（《词律》卷一）

[清]毛先舒云：《体的那曲》，唐乐府名。刘禹锡《体的那曲》词云（略）。《艺林伐山》云：《阿那》、《体的那》，刘禹锡言翻南调为北曲。《词谱》云：《体的那曲》，北客当歌如《竹枝》。（《填词名解》卷二）

忆江南

春去也，多谢洛城人。弱柳从风疑举袂，丛兰浥露似沾巾。独坐亦含嚬。

【笺评】

[宋]郭茂倩云：《忆江南》亦曰《望江南》。《乐府杂录》曰：《望江南》本名谢秋娘，李德裕镇浙西，为妾谢秋娘所制，后改为《望江南》。（《乐府诗集》卷八十二）

《古今词话》云：“春去也，多谢洛阳人”云云，刘宾客词也。一时传唱，乃名为《春去也曲》。（《历代诗余》卷一百五十二引）

[清]曹锡彤云：此首言春忆南姬之意。（《唐诗析类集训》卷十）

[清]陈廷焯云：婉丽。（《词则·别调集》卷一）

[清]况周颐云：唐贤为词，往往丽而不流，与其诗不甚相远也。刘梦得《忆江南》“春去也”云云，流丽之笔，下开北宋子野、少游一派。惟其出自唐音，故能流而不靡，所谓风流高格调，其在斯乎？（《蕙风词话》卷二）

浪淘沙

九曲黄河万里沙，浪淘风簸自天涯。如今直上银河去，同到牵牛织女家。

又

洛水桥边春日斜，碧流轻浅见琼沙。无端陌上狂风急，惊起鸳鸯出浪花。

又

汴水东流虎眼纹，清淮晓色鸭头春。君看渡口淘沙处，渡却人间多少人。

又

鹦鹉洲头浪贴沙，青楼春望日将斜。衔泥燕子争归

舍,独自狂夫不忆家。

【笺评】

敖英云:梦得《浪淘沙》数首,独“鹦鹉洲头浪飐沙”一首为佳。

唐汝询云:只忘我实多意。薛维翰《怨歌》末句,禹锡改“要”为“独”,欠圆活矣。然以第三句较之,终是薛作浅露。

李梦阳云:人情只在口头。

陆时雍云:物情人思,佳境自然。

周珽云:此妇人临洲望夫不归,因见浪之淘沙,以起兴致,恨其不如燕之有情也。

(以上《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七)

又

濯锦江边两岸花,春风吹浪正淘沙。女郎剪下鸳鸯锦,将向中流定晚霞。

又

日照澄洲江雾开,淘金女伴满江隈。美人首饰侯王印,尽是沙中浪底来。

【笺评】

俞平伯云:盖言王侯贵妇之金钱富贵,尽是劳动男女在沙中浪底之辛劳劳动得来。本篇在唐人词中,思想性殊高。(《唐宋词

又

八月涛声吼地来，头高数丈触山回。须臾却入海门去，卷起沙堆似雪堆。

又

莫道谗言如浪深，莫言迁客似沙沉。千淘万漉虽辛苦，吹尽寒沙始到金。

又

流水淘沙不暂停，前波未灭后波生。令人忽忆潇湘渚，回唱迎神三两声。

潇湘神

湘水流，湘水流，九疑云物至今秋。若问二妃何处所，零陵芳草露中愁。

【笺评】

[清]陈廷焯云：饶有古意，两宋后此调不复弹矣。（《词则·别调集》卷一）



又

斑竹枝，斑竹枝，泪痕点点寄相思。楚客欲听瑶瑟怨，潇湘深夜月明时。

【笺评】

[清]毛先舒云：唐刘禹锡作小词咏舜二妃，即名其调曰《潇湘神》，神一作“曲”。（《填词名解》卷一）

[清]陈廷焯云：古致亦不灭上章。（《词则·别调集》卷一）

抛球乐

五色绣团圆，登君玳瑁筵。最宜红烛下，偏称落花前。上客如先起，应须赠一船。

又

春早见花枝，朝朝恨发迟。及看花落后，却忆未开时。幸有抛球乐，一杯君莫违。

【笺评】

[明]胡震亨云：《抛球乐》，酒筵中抛球为令，其所唱之词也。禹锡亦有作。（《唐音癸签》卷三十）

[清]毛先舒云：唐刘禹锡词“五色绣团圆”，本咏抛球之戏。遂名《抛球乐》，宋队舞有抛球乐队，疑即用此调为舞曲也。（《填

词名解》卷一)

[清]万树云:五言六句中二句对偶,皇甫作俱同,起句可用仄。(《词律》卷一)

[清]王奕清等云:此本唐人小律,后入教坊,被之管弦,遂相沿为词。中二必用对偶,诸作皆然。此调三十字者始于刘禹锡词。(《词谱》卷二)

[清]徐荣云:刘词末句“应须赠一船”,而其次首云“一杯君莫辞”,是近体之双拗句法。凡五言平起之句,多三字可独拗,而第一字则必与第三字双拗;七言平起句之三、五字亦然,为近体诗句之通例。《词律》于第三字注“可平”,而第一字无注,是失刘词之双拗句矣。(《词律笺榷》卷一)

杨柳枝

迎得春光先到来,轻黄浅绿映楼台。只缘袅娜多情思,便被东风长挫摧。

又

巫峡巫山杨柳多,朝云暮雨远相和。因想阳台无限事,为君回唱竹枝歌。

【笺评】

[宋]黄庭坚云:刘宾客《柳枝词》,虽乏曹、刘、陆机、左思之豪壮,自为齐梁乐府之将帅也。(《黄文节公文集》别集卷八)





[清]沈雄云:《耆旧续闻》曰:周德华尝在崔台言郎中席上唱《柳枝》,如刘禹锡之“春江一曲柳千条”……而不取温庭筠、裴诚所作,二人有愧色。(《古今词话·词话》上卷)

白居易二十六首

杨柳枝

六幺水调家家唱,白雪梅花处处吹。古歌旧曲君休听,听取新翻杨柳枝。

【笺评】

[唐]段安节云:《杨柳枝》,白傅闲居洛阳时作。后入教坊。(《乐府杂录》)

[宋]王灼云:《乐府杂录》云:白傅作《杨柳枝》,予考乐天晚年与刘梦得唱和此曲词。白云:“古歌旧曲君休听,听取新翻杨柳枝。”又作《杨柳枝》二十韵云:“乐童翻怨调,才子与妍词。”注云:“洛下新声也。”刘梦得亦云:“请君莫奏前朝曲,听唱新翻杨柳枝。”盖后来始变新声,而所谓乐天作《杨柳枝》者,称其别创词也。(《碧鸡漫志》卷五)

[明]胡震亨云:《杨柳枝》,即古之《折杨柳》。段安节以为始于白傅者,以其调至白盛行也。白诗云(略)。而永丰一阙,至达禁中,为尤著云。(《唐音癸签》卷十三)

[清]张历友云:《柳枝词》始于白香山《杨柳枝》一曲,盖本六

朝之《折杨柳》歌辞也。其声情之僂利轻隽与《竹枝》大同小异，与七绝微分，亦歌谣之一体也。（《师友传言录》）

又

陶令门前四五树，亚夫营里百千条。何似东都正二月，黄金枝映洛阳桥。

又

依依袅袅复青青，勾引春风无限情。白雪花繁空扑地，绿丝条弱不胜莺。

【笺评】

日人近藤元粹云：“不胜莺”，字奇。（《白乐天诗集》卷五）

又

红板江桥青酒旗，馆娃宫暖日斜时。可怜雨歇东风定，万树千条各自垂。

【笺评】

[清]查慎行云：“可怜雨歇东风定”二句，无意求工，自成绝调。（《初白庵诗评》卷上）

[清]黄白山云：咏杨柳未有不咏其舞风者，此独从风定时着笔，是一种风致。只写景，不入情，情自无限。（《唐诗摘钞》卷四）





日人近藤元粹云：一幅青绿山水画。又云：使东坡先生见之，则或将曰：十树有一条乎？呵呵！（《白乐天诗集》卷五）

俞陛云云：专咏柳枝，不若“永丰”篇之有馀味也。（《诗境浅说》续编）

又

苏州杨柳任君夸，更有钱塘胜馆娃。若解多情寻小小，绿杨深处是苏家。

【笺评】

日人近藤元粹云：有情有色。（《白乐天诗集》卷五）

又

苏家小女旧知名，杨柳风前别有情。剥条盘作银环样，卷叶吹为玉笛声。

又

叶含浓露如啼眼，枝袅轻风似舞腰。小树不禁攀折苦，乞君留取两三条。

【笺评】

[清]查慎行云：“小树不禁攀折苦”二句，楚楚动人情。（《初白庵诗评》卷上）

日人近藤元粹云：读去不胜情。又云：数首盖乐天使蛮、素诵歌者乎？（《白乐天诗集》卷五）

又

人言柳叶似愁眉，更有愁肠似柳丝。柳丝挽断肠牵断，彼此应无续得时。

又

一树春风万万枝，嫩于金色软于丝。永丰南角荒园里，尽日无人属阿谁。

【笺评】

[清]周珏云：“一树春风”四字，便为杨柳写神，嫩软金丝，极状其容态之妖娜。后二语乃“君王行幸少，闲却舞时衣”之意。（《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

俞陛云云：王渔洋《秋柳》七律，怀古而兼擅神韵，传诵一时。乐天以二十八字写之，柳色之娇柔，旧坊之寥落，裙屐之凋零，感怀无际，可见诗格之高。（《诗境浅说》续编）

又

一树衰残委泥土，双林荣曜植天庭。定知此后天文里，柳宿光中添两星。

【笺评】

[唐]孟棻云：白尚书姬人樊素，善歌；妓人小蛮，善舞。尝为诗曰：“樱桃樊素口，杨柳小蛮腰。”年既高迈，而小蛮方艳。因为杨柳之词以托意，曰：“一树春风万万枝，嫩于金色软于丝。永丰坊里东南角，尽日无人属阿谁？”及宣宗朝，国乐唱是词，上问谁词，永丰在何处，左右具以对之。遂因东使，命取永丰柳两枝，植于禁中。白感上知名，且好尚风雅，又为诗一章，其末句云：“定知此后天文里，柳宿光中添两星。”（《本事诗·事感》第二）

日人近藤元粹云：为柳添一典故。（《白乐天诗集》卷五）

竹 枝

瞿塘峡口水烟低，白帝城头月向西。唱到竹枝声咽处，寒猿闹鸟一时啼。

【笺评】

[明]唐汝询云：冷烟斜月之景，《竹枝》悲咽之声，寒猿啼鸟，尚不胜情，况可使愁人听之耶？（《唐宋诗醇》卷二十四）

[清]王尧衢云：《竹枝》宜质而不俚，方入古调。瞿塘峡在夔州东，冷烟低，非朝即暮也。斜月向西，风景凄然之候，声悲凉故咽。猿鸟闻其悲唱，俱不胜情而一时啼唤。然则愁人听之，尚何如凄怆乎？（《古唐诗合解》卷六）

日人近藤元粹云：一气呵成。（《白乐天诗集》卷五）

又

竹枝苦怨怨何人，夜尽山空歇又闻。蛮儿巴女齐声唱，怨杀江南病使君。

【笺评】

[明]唐汝询云：声韵悠扬，最合《竹枝》之体。（《唐宋诗醇》卷二十四）

又

巴东船舫上巴西，波面风生雨脚齐。水蓼冷花红簌簌，江蓠湿叶碧凄凄。

【笺评】

日人近藤元粹云：如画。（《白乐天诗集》卷五）

又

江畔谁家唱竹枝，前声断咽后声迟。怪来调苦缘词苦，多是通州司马诗。

【笺评】

吴梅云：公所作词至富，如《杨柳枝》、《竹枝》、《花非花》、《浪淘沙》、《宴桃源》等，皆流利稳协。（《词学通论》）



浪淘沙

一泊沙来一泊去，一重浪灭一重生。相搅相淘无歇日，会教山海一时平。

又

白浪茫茫与海连，平沙浩浩四无边。暮去朝来淘不住，遂令东海变桑田。

又

青草湖中万里程，黄梅雨里一人行。愁见滩头夜泊处，风翻暗浪打船声。

【笺评】

日人近藤元粹云：使万里人见之，不禁多读。（《白乐天诗集》卷五）

又

借问江潮与海水，何似君情与妾心。相恨不如潮有信，相思始觉海非深。

【笺评】

日人近藤元粹云：转句言君情不如江潮，结句言妾心深深于海水，双关法甚奇。（《白乐天诗集》卷五）

又

海底飞尘终有日，山头化石岂无时。谁道小郎抛小妇，船头一去没回期。

又

随波逐浪到天涯，迁客西还有几家。却到帝都重富贵，请君莫忘浪淘沙。

【笺评】

[清]毛先舒云：《浪淘沙》，商调也。《花间集》作《浪淘沙》，一名《卖花声》，一名《过龙门》，唐乐府有《浪淘沙》词。（《填词名解》卷一）

[清]王奕清等云：《浪淘沙》，唐教坊曲名。此与宋人《浪淘沙令》、《浪淘沙慢》不同。盖宋人借旧曲名，另倚新腔。此乃七言绝句也。（《词谱》卷一）

忆江南

江南好，风景旧曾谙。日出江花红胜火，春来江水





绿如蓝。能不忆江南？

【笺评】

[宋]王灼云：《乐府杂录》云：“李卫公为亡妓谢秋娘撰《望江南》，亦名《梦江南》。白乐天作《忆江南》三首。第一江南好，第二、第三江南忆。自注云：‘此曲亦名《谢秋娘》，每首五句。’予考此曲，自唐至今，皆南吕宫，字句亦同，止是今曲两段，盖近世曲子，无单遍者。然卫公为谢秋娘作此曲已两名。乐天又名以《忆江南》，又名以《谢秋娘》。近世又取乐天首句名以《江南好》。予尝叹世间有改易错乱误人者是也。”（《碧鸡漫志》卷五）

[明]沈际飞云：较宋词自然有身分，不知其故。（《草堂诗余别集》卷一）

[明]徐士俊云：非生长江南，此景未许梦见。（《古今词统》卷一）

日人近藤元粹云：诗余上乘。（《白乐天诗集》卷五）

又

江南忆，最忆是杭州。山寺月中寻桂子，郡亭枕上看潮头。何日更重游？

【笺评】

[明]徐士俊云：胸中有丘壑。（《古今词统》卷一）

[清]张思岩云：《南部新书》：“杭州灵隐山多桂树，僧曰月中桂也。至今中秋夜，往往子坠。”又《脞说》云：“张君房为钱塘令，宿月轮山，寺僧报曰桂子下塔，遽登榻望之，纷纷如烟务，回旋成

穗，散坠如牵牛子，黄白相间，咀之无味。”楠按香山《看潮》诗：“早潮才落晚潮来，一月周流六十回。不独光阴朝复暮，杭州老去被潮催。”（《词林纪事》卷一）

日人近藤元粹云：蔼然之情可掬。（《白乐天诗集》卷五）

又

江南忆，其次忆吴宫。吴酒一杯春竹叶，吴娃双舞醉芙蓉。早晚复相逢。

【笺评】

日人近藤元粹云：春竹叶，醉芙蓉，对法奇巧。又云：香山所忆，恐推吴娃于第一。（《白乐天诗集》卷五）

宴桃源

前度小花静院，不比寻常时见。见了又还休，愁却等闲分散。肠断，肠断，记取钗横鬓乱。

又

落月西窗惊起，好个忽忽些子。髻鬟髻轻松，凝了一双秋水。告你，告你，休向人间整理。



又

频日雅欢幽会，打得来来越杀。说著暂分飞，蹙损一双眉黛。无奈，无奈，两个心儿总待。

【笺评】

[清]王奕清等云：按白居易词首句：“前度小花静院”，“静”字仄声。第七句：“记取钗横鬓乱”，“鬓”字仄声。谱内可平可仄据此。（《词谱》卷二）

刘毓盘云：白居易《如梦令》词，按东坡词注曰：“此曲本后唐庄宗制，名‘忆仙姿’，嫌其名不雅，故改曰《如梦令》，因词中有‘如梦如梦，残月落花烟重’句也。”今得白氏词，是言之不确矣。（《词史》第二章）

卢 贞一首

杨柳枝

一树依依在永丰，两枝飞去杳无踪。玉皇曾采人间曲，应逐歌声入九重。

【笺评】

《全唐诗》题下有序云：永丰坊西南角有垂柳一株，柔条极茂。白尚书曾赋诗，传入乐府，遍流京都。近有诏旨取两枝植于

禁苑。乃知一顾增十倍之价，非虚言也。因此偶成绝句，非敢继和前篇。据计有功《唐诗纪事》卷四十九云：“卢贞字子蒙，会昌五年为河南尹。乐天九老会，贞年未七十，亦与焉。”按同时另有前御史内供奉官同姓名卢贞一人，年八十三，亦能诗，但非此《杨柳枝》作者。

张志和五首

渔父

西塞山边白鹭飞，桃花流水鳊鱼肥。青箬笠，绿蓑衣，斜风细雨不须归。

【笺评】

〔清〕阮阅云：玄真子张志和，会稽人，守真养气。卧雪不冷，入水不濡。颜鲁公守湖州日与宾客唱和，为《渔父词》。志和曰（略），坐客叹服不已，后果传之。（《诗话总龟前集》卷四十五）

〔清〕毛先舒云：《渔父》，唐张志和作《渔父词》，即用名调，一名《渔歌子》。案东坡尝以《浣溪沙》调歌张志和《渔父词》，而李如箴亦云：“玄真子《渔父词》以《鹧鸪天》歌之，极入律，但少数句，山谷因续成之。”予见黄词增入四句，成《鹧鸪天》调；则苏以《浣溪沙》歌者，亦宜增入二句及“青箬笠”二句，当加一字作第三句，今盖不可考矣。（《填词名解》卷一）



《西吴记》云：《武昌府志》记大冶县东九十里为道士泐即西塞山。塞音涩。《水经》云：“壁立千仞，东北对黄公九矶，故名西塞。横截江流，旋涡沸激，舟人过之，每为失色。”张耒诗云：“已逢妩媚散花峡，不怕危亡道士矶。”遂以为即志和所游西塞山也，未知孰是。（《词苑丛谈》卷一引）

[清]张宗楠云：按《徐波词》注：武昌县西道士泐亦名西塞山，绝壁临江，上有张志和祠。按西塞山在吴兴。《唐书》：张志和，金华人，颜真卿守湖州时，志和来谒，愿浮家泛宅，往来苕霅间，踪迹未尝入楚也。陆放翁《入蜀记》云：即玄真子《渔父词》云云者，第未详考耳。（《词林纪事》卷一）

[清]张德瀛云：张子同“西塞山前”，考乐志也。（《词徵》卷五）

[清]刘熙载云：张志和《渔歌子》“西塞山前”一阙，风流千古。东坡尝以其成句用入《鹧鸪天》，又用于《浣溪沙》，然其所足成之句，犹未若原词之妙通造化也。（《艺概》卷四）

[清]黄蓼园云：数句只写渔家之自乐其乐，无风波之患，对面已有不能已者。隐跃言外，蕴藏不露，笔墨入化，超然尘埃之外。（《蓼园词选》）

[清]吴瑞荣云：作者浮家泛宅，品格最高，宜其吐属潇洒乃尔。黄山谷增“朝廷尚觅玄真子，何处如今更有诗”于“青箬”句上，语气不伦，徒为蛇足。（《唐诗笺要》后集卷八附词）

俞陛云云：“桃花流水”句，尤世所传诵。（《唐词选释》）

又

钓台渔父褐为裘，两两三三舴艋舟。能纵棹，惯乘流，长江白浪不曾忧。

【笺评】

[清]张宗楠云：张志和尝谒颜真卿于湖州，以舴艋敝，请更之，愿为浮家泛宅，往来苕霅间，作《渔歌子》云。（《词林纪事》卷一引）

[清]王奕清等云：《渔歌子》，唐教坊曲名。按张志和所撰，其一首起句“钓台渔父褐为裘”，“钓”字仄声；第二句“两两三三舴艋舟”，上“两”字仄声；又一首第三句“钓车子”，“钓”字仄声，“车”字平声，谱内据之。（《词谱》卷一）

又

云溪湾里钓鱼翁，舴艋为家西复东。江上雪，浦边风，笑著荷衣不叹穷。

又

松江蟹舍主人欢，菰饭蓴羹亦共餐。枫叶落，荻花干，醉宿渔舟不觉寒。





【笺评】

[清]万树云：和凝《渔父词》结句，用“曾引芙蓉惹钓丝”，平仄不同。玄真又一首起句“构江蟹舍主人欢，菰饭蓴羹亦共餐”，平仄全异和凝。又一首“青笠笠”句，用“钓车子”，是仄平仄，想亦不拘。然自宋以后，皆依“西塞”一体，今作者宜从之。（《词律》卷一）

[清]张德瀛云：子同词如“松江蟹舍主人欢”、“青草湖中月正圆”等语，盖往来苕霅间所赋。乌程县之东数十里有泊宅村，相传为子同泊舟之所，方勺《泊宅编》纪之甚详。（《词徵》卷五）

[清]杨希闵云：唐代独绝之词，为北宋所未有。（《词轨》卷一）

又

青草湖中月正圆，巴陵渔父棹歌还。钓车子，掘头船，乐在风波不用仙。

【笺评】

[宋]黄昇云：极能道渔家之事。（《唐宋诸贤绝妙词选》）

吴梅云：此词为七绝之变。第三句作六字折腰句……唐人歌曲皆五七言，此《渔歌子》既与七绝异。或就绝句变化歌之耳。（《词学通论》）

司空图一首

酒泉子

买得杏花，十载归来方始坼。假山西畔药阑东，满枝红。

旋开旋落旋成空，白发多情人便惜。黄昏把酒祝东风，且从容。

【笺评】

[清]陈廷焯云：遣词命意是六一公之祖也。（《云韶集》卷一）

[清]许昂霄云：欧公《浪淘沙》起语本此。然删去“黄昏”二字，便觉寡味。（《词综偶评》）

俞陛云云：表圣为唐末完人。此词借花以书感，明知花落成空而酹酒东风，乞驻春光于俄顷，其志可哀。表圣有绝句云：“故国春归未有涯，小楼高槛别人家。五更惆怅回孤枕，自取残灯照落花。”与此词同慨，隐然有黍离之怀也。（《唐词选释》）

刘毓盘云：司空图《酒泉子》词，按《词苑》曰：此调始于温庭筠，有四十字、四十一字二体。司空图始改作四十五字体，毛文锡仿之，首句曰“绿树春深”，“春”字改平声，宋人遂通用此体矣。（《词史》）





韩 偓二首

浣溪沙

拢鬓新收玉步摇，背灯初解绣裙腰，枕寒衾冷异香
焦。

深院下关春寂寂，落花和雨夜迢迢，恨情残醉却无
聊。

【笺评】

[清]沈雄云：《全芳备祖》云：韩冬郎《浣溪沙》，绝非和鲁公之嫁名者。亦以香奁名词。（《古今词话·词评》上卷）

[清]陈廷焯云：上下阙结句微嫌并头，然五代人多犯此弊。（《词则·闲情集》卷一）

又

宿醉离愁慢髻鬟，六铢衣薄惹轻寒，慵红闷翠掩青
鸾。

罗袜况兼金菡萏，雪肌仍是玉琅玕，骨香腰细更沉
檀。

【笺评】

[明]沈际飞云：“慵红闷翠”，易安之祖。（《草堂诗馀别集》卷一）

[明]周珙云：藻丽。（《删补唐诗选脉笺释会通评林》卷五十七）

[清]丁绍仪云：韩致尧遭唐末造，力不能挥戈挽日，一腔忠愤无所泄，不得已托之闺房儿女。世徒以香奁目之，盖未深究厥旨耳。（《听秋声馆词话》卷一）

薛 能十八首

杨柳枝

华清高树出深宫，南陌柔条带晚风。谁见轻阴是良夜，瀑泉声伴月明中。

【笺评】

[明]胡震亨云：薛能《杨柳枝序》云：此曲盛传，为词者甚众。文人才子各炫其能，莫不条似舞腰，叶如眉翠，出口皆然，颇为陈熟。能多于诗律，不爱随人，搜难抉新，誓脱常态，虽欲勿伐，知音其舍诸？（《唐音统签》六百七十一）

又

洛阳晴景覆江船，羌笛秋声湿塞烟。闲想习池公宴罢，水蒲风絮夕阳天。

【笺评】

俞陛云云：《折杨柳》为送别之歌，当是朝官有公钱远行者，



咏其事而未确指其人。“水蒲风絮”句，韵致殊胜。犹之江淹赋“春草绿波”，写景而离情自见。（《诗境浅说》续编）

又

嫩绿轻悬似缀旒，路人遥见隔宫楼。谁能更近丹墀种，解播皇风入九州。

又

暖风晴日断浮埃，废路新条发钓台。处处轻阴可惆怅，后人攀折古人栽。

【笺评】

[明]胡震亨云：洪迈云：薛能《海棠》、《荔枝》、《折杨柳》诗皆无过人。观其序及自注，仅稍推杜陵，视刘白皆蔑如。然读刘词“城外春风”云云，白词“红板江桥”云云，风流气概，岂能可仿佛？愚谓能皆前人则过，然似此之一与四，前四首之二、三、四，风调新异，亦不妨自伐也。（《唐音统签》六百七十一引）

又

潭上江边袅袅垂，日高风静絮相随。青楼一树无人见，正是女郎眠觉时。

又

汴水高悬百万条，风清两岸一时摇。隋家力尽虚栽得，无限春风属圣朝。

【笺评】

[清]沈雄云：唐无名氏《柳枝》云“万里长江一带开”（从略），不若薛能《杨柳枝》“汴水高悬百万条”（从略）更得大体。（《古今词话·词辨》上卷）

又

和花烟树九重城，夹路春阴十万营。唯向边头不堪望，一株憔悴少人行。

【笺评】

[明]杨慎云：薛能《柳枝词》云云（从略）。此诗意言粉饰太平于京都，而废弛防于边塞也。本集作“和花烟絮”，赵松雪作“和花香雪”，《唐诗三体》作“和风细雨”，非也，当从本集及松雪所书始有味。（《升庵全集》卷五十七）

又

窗外齐垂晓日初，楼边轻好暖风徐。游人莫道栽无益，桃李清阴却不如。





又

众木犹寒独早青，御沟桥畔曲江亭。陶家旧日应如此，一院春条绿透厅。

又

帐偃纓垂细复繁，人心想在石家园。风条月影皆堪重，何事侯门爱树萱。

又

数首新词带恨成，柳丝牵我我伤情。柔娥幸有腰肢稳，试踏吹声作唱声。

又

高出军营远映桥，贼兵曾斫火曾烧。风流性在终难改，依旧春来万万条。

又

县依陶令想嫌迂，营伴将军却太粗。此日与君除万

恨，数篇风调更应无。

又

朝阳晴照绿杨烟，一别通波十七年。应有旧枝无觅处，万条风里卓旌旃。

又

晴垂芳态吐牙新，雨摆轻条湿面春。别有出墙高数尺，不知摇动是何人。

又

暖梳簪朵事登楼，困挂垂杨立地愁。牵断绿丝攀不及，半空悬着玉搔头。

又

西园高树后庭根，处处寻芳有断痕。终忆旧时桃叶舍，一株斜映竹篱门。



又

刘白苏台总近时，当时章句是谁推。纤腰舞尽春杨柳，未有依家一首诗。

【笺评】

248

[宋]洪迈云：薛能者，晚唐诗人，格调不能高，而妄自尊大。《容斋随笔》卷七）

[明]胡震亨云：薛能自注云：“刘白二尚书，继为苏州刺史，皆赋《杨柳枝》词，世多传唱。虽有才语，但文字太僻，官商不高。如可者岂斯人徒欤！洋洋乎唐风，其令虚爱。”（《唐音统签》）

成文干十首

杨柳枝

欲趁寒梅趁得么，雪中偷眼望阳和。阳和若不先留意，这个柔条争奈何。

又

轻笼小径近谁家，玉马追风翠影斜。爱把长条恼公子，惹他头上海棠花。

又

鹅黄剪出小花钿，缀上芳枝色转鲜。饮散无人收拾得，月明阶下伴秋千。

又

东君爱惜与先春，草泽无人处也新。委嘱露华并细雨，莫教迟日苦风尘。

又

勾践初迎西子年，琉璃为帚扫溪烟。至今不改当时色，留与王孙系酒船。

又

绿杨移傍小亭栽，便拥浓烟拨不开。谁把金刀为删掠，放教明月入窗来。

又

远接山河高接云，雨馀洗出半天春。牡丹不用相轻



薄，自有清阴覆得人。

又

掩映莺花媚有馀，风流才调比应无。朝朝奉御龙池上，不羨青松拜大夫。

又

王孙宴罢曲江池，折得春光伴醉归。怪得美人争斗乞，要他秣翠染罗衣。

又

残照林梢袅数枝，能招醉客上金堤。马娇如练纓如火，瑟瑟阴中步步嘶。

【笺评】

刘毓盘云：按《全唐诗》曰：彦雄字文干，南唐进士有《梅岭集》五卷。《尊前集》录其《杨柳枝》词十首，《全唐诗》录九首，独缺“欲趁寒梅”一首，故录之。文干与幼文自是族人，惟幼文之名不可考耳。（《词史》）

冯延巳三首

捣练子

深院静，小庭空。断续寒砧断续风。早是夜长人不寝，数声和月到帘栊。

【笺评】

[清]徐钊云：李重光“深院静”小令一阙，升庵曰词名《捣练子》，即咏捣练也。复有“云鬓乱”一篇，其词亦同，众刻无异。尝见一旧本，则俱系《鹧鸪天》，二词之前，各有半阙。其“云鬓乱”一阙云：“节候虽佳景渐阑，吴绫已暖越罗寒。朱扉日暮随风掩，一树藤花独自看。云鬓乱，晚妆残，带恨眉儿远岫攒。斜托香腮春笋嫩，为谁和泪倚阑干。”其“深院静”一阙云：“塘水初澄似玉容，所思远在别离中。谁知九月初三夜，露似珍珠月似弓。深院静，小庭空，断续寒砧断续风。无奈夜长人不寐，数声和月到帘栊。”（《词苑丛谈》卷十）

[清]况周颐云：杨用修席芬名阀，涉笔瑰丽，自负见闻赅博，不恤杜撰肆欺，迹其忍俊不禁，信有奇思妙语，非寻常才俊所及。尝云李后主《捣练子》“深院静”、“云鬓乱”二阙，曩见一旧本，并是《鹧鸪天》。又曰以“塘水初澄”比方玉容，其为妙肖，匪夷所思。“云鬓乱”阙前段尤能以画家白描法形容一极贞静之思妇，绫罗之暖寒，非深闺弱质，工愁善感者，体会不到。“一树藤花”，确是人家庭院景物，曰“独自看”，其殆《白华》之诗，无营无欲之旨乎？扉无风而自掩，境至清寂，无一点尘，如此云云。可知远





岫眉攒，倚栏和泪，皆是至真至正之情，有合风人之旨。即词境词格，亦与之俱高。虽重光复起，宜无间然。或独讥其向壁虚造，宁非固欤。（《蕙风词话》卷五）

王国维云：“可怜九月初三夜，露似珍珠月似弓。”此乐天《暮江吟》后二句，见《白氏长庆集》卷十九。后主不应全袭之。且《鹧鸪天》下半阙，平仄亦与《捣练子》不合，显系明人赝作，徐氏信之，误矣。（《南唐二主词校勘记》）

俞陛云云：通首赋捣练，而独夜怀人情味，摇曳于寒砧断续之中，可谓极此题能事。（《南唐二主词辑述评》）

谒金门

风又起。吹皱一池春水。闲引鸳鸯花径里。手摇红杏蕊。

斗鸭阑干独倚。碧玉搔头斜坠。终日望君君不至。举头闻鹊喜。

【笺评】

[宋]李清照云：五代干戈，四海瓜分豆剖，斯文道熄。独江南李氏君臣尚文雅，故于“小楼吹彻玉笙寒”，“吹皱一池春水”之词，语虽奇甚，所谓亡国之音哀以思也。（《词论》）

[宋]马令云：元宗乐府词云：“小楼吹彻玉笙寒。”延已有“风乍起，吹皱一池春水”之句，皆为警策。元宗尝戏延已：“吹皱一池春水，干卿何事？”延已曰：“未如陛下‘小楼吹彻玉笙寒’。”元宗悦。（《南唐书》卷二十一）

[明]沈际飞云:起语与前词同一况味,闻鹊报喜,须知喜中还有疑在,无非望幸希宠之心,而语自清隽。((《蓼园词选》引)

贺裳云:南唐主语冯延巳曰:‘风乍起,吹皱一池春水’,何与卿事?”冯曰:“未若‘细雨梦回鸡塞远,小楼吹彻玉笙寒’。”不可使闻于邻国。然细看词意,含蓄尚多。又云:“无凭语鹊语,犹觉暂心宽”,韩偓语也。冯延巳去偓不多时,用其语曰:“终日望君不至,举头闻鹊喜。”虽窃其意,而语加蕴藉。((《皱水轩词筌》))

俞陛云云:“风乍起”二句,破空而来,在有意无意间。如絮浮水,似沾非著,宜后主盛加称赏。此在南唐全盛时作。喜闻鹊报,及“杨柳陌”一阙为君起舞句,殆有束带弹冠之庆,及效忠尽瘁之思也。((《五代词选释》))

陈秋帆云:按此阙或误作成幼文。成,江南人,仕南唐,官大理卿。《直斋书录解題》不据长沙本,以别本《阳春集》不载此词,遂断为幼文作。旧本《古今词话》云:“江南成幼文词曲妙绝,尝作《谒金门》:‘风乍起,吹皱一池春水。’中主闻之,因按狱稽滞,召诘之,且曰:‘卿职在典刑,一池春水。又何干卿?’”《本事曲》云:“南唐主尝责其臣曰:‘吹皱一池春水,干卿何事?’曰:‘未若陛下‘小楼吹彻玉笙寒’。”宋胡仔《茗溪渔隐丛话》两引其说,未尝专属幼文。朱竹垞《词综》,过信直斋,定为成作,遂滋后人疑窦。不知《南唐书》、《十国春秋》等均谓延巳有‘风乍起,吹皱一池春水’”警句,并载元宗以“吹皱一池春水,何干卿事”语戏延巳事。及延巳“安得如陛下‘小楼吹彻玉笙寒’,特高妙也”之对。所言当必有据。则此词自属之延巳。且考古今词选籍,如《尊前集》、《花庵词选》、《草堂诗余》、《花草粹编》、《历代诗余》、《全唐



诗》、《唐五代词选》、《词林纪事》等，均作冯词，尤为可证。近人刘氏《词史》，亦踵直斋之误，谓当属成词，不足据。（《阳春集笺》）

[清]陈廷焯云：结二语若离若合，密意痴情，宛转如见。（《词则·闲情集》卷一）

玉楼春

雪云乍变春云簇，渐觉年华堪纵目。北枝梅蕊犯寒开，南浦波纹如酒绿。

芳菲次第长相续，自是情多无处足。尊前百计得春归，莫为伤春眉黛蹙。

【笺评】

王国维云：梅圣俞《苏幕遮》词：“落尽梨花春事了，满地斜阳，翠色和烟老。”刘融斋谓少游一生，似专学此种。余谓冯正中《玉楼春》词：“芳菲次第长相续，自是情多无处足。尊前百计见春归，莫为伤春眉黛促。”永叔一生，似专学此种。（《人间词话》）

俞陛云云：词借春光以托讽，“足”字韵，戒贪求之无厌。“尊前”二句，既盼春来，又伤春去，患得患失之心，宁有尽时耶？（《五代词选释》）

丁寿田等云：此词初读似觉平淡，但愈吟愈觉其味隽永。（《唐五代四大名家词》）

温飞卿五首

菩萨蛮

玉纤弹处真珠落，流多暗湿铅华薄。春露浥朝华，
秋波浸晚霞。

风流心上物，本为风流出。看取薄情人，罗衣无此
痕。

【笺评】

[清]徐钊云：唐宣宗爱唱《菩萨蛮》，令狐丞相托温飞卿撰进。宣宗使官婢歌之，词云云（从略）。（《词苑丛谈》卷六）

[清]吴衡照云：温飞卿《菩萨蛮》二十首，以《全唐诗》校之，逸其四之一，未审《金荃词》所载何如也。长洲顾氏嗣立言所见宋版《金荃集》八卷，末《金荃词》一卷，而其刻飞卿诗则不及诗餘，益集外诗以传合宋本卷数，致使零篇胜句，几与《乾闥子》同不传，亦可惜已。（《莲子居词话》卷一）

[清]陈廷焯云：飞卿《菩萨蛮》，古今绝调，难求嗣响。（《白雨斋词话》卷六）

刘毓盘云：温庭筠《菩萨蛮》词，按张惠言《茗柯词选》曰：“温氏《菩萨蛮》皆感士不遇之作。”细味之良然。

又

南园满地堆轻絮，愁闻一霎清明雨。雨后却斜阳，



杏花零落香。

无言弹睡脸，枕上屏山掩。时节欲黄昏，无聊独倚门。

【笺评】

[明]沈际飞云：隽逸之致，追步太白。（《草堂诗馀》卷一）

[清]张惠言云：此下乃叙梦。此章言黄昏。（《词选》卷一）

[清]谭献评“雨后却斜阳”句：馀韵。“无聊独倚门”句：收束。（谭评《词辨》卷一）

王国维云：温飞卿《菩萨蛮》“雨后却斜阳，杏花零落香”，少游之“雨馀芳草斜阳，杏花零落燕泥香”，虽自此脱胎，而实有出蓝之妙。（《人间词话》附录）

又

夜来皓月才当午，重门悄悄无人语。深处麝烟长，卧时留薄妆。

当年还自惜，往事那堪忆。花露月明残，锦衾知晓寒。

【笺评】

[清]张惠言云：此自卧时至晓，所谓“相忆梦难成”也。（《词选》卷一）

[清]陈廷焯云：“知”字凄警，与“愁人知夜长”同妙。（《词则·大雅集》卷一）

[清]李冰若云：《菩萨蛮》十四首中，全首无生硬字句而复饶

绮怨者，当推“南园满地”、“夜来皓月”二阙，余有佳句而无章，非全璧也。（《栩庄漫记》）

又

雨晴夜合玲珑月，万枝香袅红丝拂。闲梦忆金堂，
满庭萱草长。

绣帘垂罥毳，眉黛远山绿。春水渡溪桥，凭栏魂欲销。

【笺评】

[清]张惠言云：此章正写梦。垂帘、凭栏，皆梦中情事，正应“人胜参差”三句。（《词选》卷一）

[清]陈廷焯云：“绣帘”四语婉雅。叔原“梦中惯得无拘检，又踏杨花过谢桥”，聪明语，然近于轻薄矣。（《词则·大雅集》卷一）

又

竹风轻动庭除冷，珠帘月上玲珑影。山枕隐秣妆，
绿檀金凤皇。

两蛾愁黛浅，故国吴宫远。春恨正关情，画楼残点声。

【笺评】

[明]汤显祖云：十四调中，如“团”字、“留”字、“冷”字、“晋”字皆一字法。如“惹梦”、如“香雪”皆二字法。如“当山额”、如

“金压脸”皆三字法。四、五、六字皆有法，解人当自知之，不能悉记。（汤显祖评本《花间集》卷之一）

[明]徐士俊云：迂公和韵云：“夕阳帘外参差影。”颇不相让。（《古今词统》卷五）

[清]张惠言云：此言梦醒。“春恨正关情”与五章“春梦正关情”相对双锁。青琐、金堂、故国吴宫，略露寓意。（《词选》卷一）

[清]陈廷焯云：“春恨”二语是两层，言春恨正自关情，况又独居画楼而闻残点之声乎？（《白雨斋词评》）又云：飞卿《菩萨蛮》十四章，全是变化楚骚，古今之极轨也。徒赏其芊丽，误矣。（《白雨斋词话》卷一）

皇甫松十首

怨回纥

白首南朝女，愁听异域歌。收兵颍利国，饮马胡卢河。

毳布腥膻久，穹庐岁月多。雕窠城上宿，吹笛泪滂沱。

又

祖席驻征棹，开帆候信潮。隔筵桃叶泣，吹管杏花

飘。

船去鸥飞阁，人归尘上桥。别离惆怅泪，江路湿红蕉。

【笺评】

[清]张德瀛云：小令本于七言绝句夥矣，晚唐人与诗并而为一，无所判别。若皇甫子奇《怨回纥》，乃五言律诗一体……词之名诗余，盖以此。（《词徵》卷一）

竹 枝

槟榔花发竹枝鹧鸪啼女儿。雄飞烟瘴竹枝雌亦飞女儿。

又

木棉花尽竹枝荔枝垂女儿。千花万花竹枝待郎归女儿。

又

芙蓉并蒂竹枝一心连女儿。花侵隔子竹枝眼应穿女儿。



又

筵中蜡烛竹枝泪珠红女儿。合欢桃核竹枝两人同女儿。

又

斜江风起竹枝动横波女儿。劈开莲子竹枝苦心多女儿。

又

山头桃花竹枝谷底杏女儿。两花窈窕竹枝遥相映女儿。

【笺评】

[清]万树云:《竹枝》之音,起于巴蜀,唐人所作,皆言蜀中见景。……本七言绝句,皇甫子奇亦有四句体,所用“竹枝”、“女儿”,乃歌时君相随和之声,犹《采莲曲》之有“举棹”、“年少”等字。他人集中作诗,故未注此四字。此作词体,故加入也。其词六首,皆每首二句相叶。其句中平仄不拘,但每句第二字皆平。末一首乃用仄韵者。(《词律》卷一)

[清]陈廷焯云:诸篇情餘言外,得古乐府神理,纯用比兴体,意味最深。(《词则·别调集》卷一)

[清]沈雄云:《玉台新咏》载《乌夜啼》,徐陵云:“绣帐罗帏灯影独,一夜千年犹不足。惟憎无赖汝南鸡,天河未落已争啼。”王建云:“章华宫人夜上楼,君王望月西山头。夜深宫殿门不锁,白霜满山山叶堕。”一首转韵平仄各叶,此商调曲也,皇甫松《竹枝》多祖之。(《古今词话》)

俞陛云云:此南方竹枝、女儿词也。虽皆缘情靡曼之音,而未乖贞则,音节古艳可诵。(《唐词选释》)

抛球乐

红拨一声飘,轻裘坠越绡,坠越绡。带翻金孔雀,香满绣蜂腰。少少抛分数,花枝正索饶。

又

金蹙花球小,真珠绣带垂,绣带垂。几回冲风蜡,千度入香怀。上客终须醉,觥盂且乱排。

【笺评】

[清]王奕清等云:此调三十字者始于刘禹锡词。皇甫松本此填,多一和声。又云:此词起句不用韵,第二句下多三字叠句。按古乐府:“贱妾与君共哺麋,共哺麋。”有叠句和声。此词叠“绣带垂”三字,亦和声也。(《词谱》卷二)

韦 庄五首

怨王孙

锦里，蚕市。满街珠翠，千万红妆。玉蝉金雀，宝髻花簇鸣钲。绣衣长。

日斜归去人难见，青楼远，队队行云散。不知今夜，何处深锁兰房，隔仙乡。

定西蕃

挑尽金灯红烬，人灼灼，漏迟迟，未眠时。

斜倚银屏无语，闲愁上翠眉。闷煞梧桐残雨，滴相思。

【笺评】

[清]况周颐云：韦端己《定西蕃》云：“挑尽金灯红烬，人灼灼，漏迟迟，未眠时。”韦有《伤灼灼诗序》云：灼灼，蜀之丽人也。近闻贫且老，租落于成都酒肆中，因以四韵吊之：“尝闻灼灼丽于花，云髻盘时未破瓜。桃脸漫长横绿水，玉肌香腻透红纱。多情不住神仙界，薄命曾嫌富贵家。流落锦江无处问，断魂飞作碧天霞。”《定西蕃》所云“灼灼”，疑指其人盛时。其又一阙云：“塞远久无音问，愁消镜里红。”是时玉容消息，即以不堪回首矣。（《餐樱庖词话》）

俞陛云云：佳处亦在结句，情景兼到，与飞卿《更漏子》词“空阶滴到明”句相似。（《五代词选释》）

又

芳草丛生结缕，花艳艳，雨濛濛。晓庭中。

塞远久无音问，愁销镜里红。紫燕黄鹂犹生，恨何穷。

【笺评】

[清]万树云：韦相作与此（孙光《定西番》）同，但不分段，合作一调耳。（《词律》卷三）

清平乐

琐窗春暮，满地梨花雨。君不归来情又去，红泪散沾金缕。

梦魂飞断烟波，伤心不奈春何。空把金针独坐，鸳鸯愁绣双窠。

又

绿杨春雨，金线飘千缕。花拆香枝黄鹂语，玉勒雕鞍何处。

碧窗望断燕鸿，翠帘睡眼溟濛。宝瑟谁家弹罢，含

悲斜倚屏风。

张 泌一首

江城子

窄罗衫子薄罗裙，小腰身，晚妆新，每到花时、长是不宜春。早是自家无气力，更被伊，恶怜人。

【笺评】

[清]吴衡照云：言情以雅为宗，语丰则意尚巧，意衰则语贵曲。顾夔《诉衷情》云云，张泌《江城子》云云，直是伧父唇舌，都乏佳致。（《莲子居词话》卷二）

毛文锡一首

巫山一段云

貌掩巫山色，才过濯锦波。阿谁提笔上银河，月里写嫦娥。

薄薄施铅粉，盈盈挂绮罗。菖蒲花役魂梦多，年代属元和。

【笺评】

[清]吴任臣云：毛文锡尤工艳语，所撰《巫山一段云》词，当世传咏之。（《十国春秋》卷四十一）

欧阳炯三十一首

南歌子

锦帐银灯影，纱窗玉漏声。迢迢永夜梦难成，愁对小庭秋色，月空明。

渔父

摆脱尘机上钓船，免教荣辱有流年。无系绊，没愁煎。须信船中有散仙。

又

风浩寒溪照胆明，小君山上玉蟾生。荷露坠，翠烟轻。拨刺游鱼几个惊。

【笺评】

[清]吴任臣云：欧阳炯小词十七章，人亦时时称道之。《渔



父》歌尤为词家所唱和。（《十国春秋》卷五十六）

巫山一段云

绛阙登真子，飘飘御彩鸾。碧虚风雨佩光寒，敛袂下云端。

月帐朝霞薄，星冠玉蕊攒。远游蓬岛降人间，特地拜龙颜。

【笺评】

姜方铤云：《巫山一段云》，亦婉丽之作。（《蜀词人评传》）

又

春去秋来也，愁心似醉醺。去时邀约早回轮，及去又何曾。

歌扇花光黦，衣珠滴泪新。恨身翻不作车尘，万里得随君。

【笺评】

郑振铎云：末二句能细腻婉曲以达其深挚之情绪。（《蜀词人评传》引）

春光好

天初暖，日初长，好春光。万汇此时皆得意，竞芬

芳。

笋迸苔钱嫩绿，花偎雪坞浓香。谁把金丝裁剪却，
挂斜阳？

又

花滴露，柳摇烟，艳阳天。雨霁山樱红欲烂，谷莺
迁。

饮处交飞玉斝，游时倒把金鞭。风飏九衢榆叶动，
簇青钱。

又

胸铺雪，脸分莲，理繁弦。纤指飞翻金凤语，转婵
娟。

嘈囀如敲玉珮，清冷似滴香泉。曲罢问郎名个甚，
想夫怜。

【笺评】

[清]况周颐云：宋江致和《五福降中天》句：“秋水娇横俊眼，
腻雪轻铺素胸。”以“铺”字形容腻雪，有词笔画笔所难传之佳处，
无一字可以易之。后蜀欧阳炯《春光好》云：“胸铺雪，脸分莲。”
乃江句所从出。（《蕙风词话》卷二）

又

磬香散，渚冰融，暖空濛。飞絮悠扬徧虚空，惹轻风。

柳眼烟来点绿，花心日与妆红。黄雀锦鸾相对舞，近帘栊。

又

鸡树绿，凤池清，满神京。玉兔宫前金榜出，列仙名。

叠雪罗袍接武，团花骏马娇行。开宴锦江游烂漫，柳烟轻。

又

芳丛肃，绿筵张，两心狂。空遣横波传意绪，对笙簧。

虽似安仁掷果，未闻韩寿分香。流水桃花情不已，待刘郎。

又

垂绣幔，掩云屏，思盈盈。双枕珊瑚无限情，翠钗

横。

几见纤纤动处，时闻款款娇声。却出锦屏妆面了，
理秦筝。

又

金钗响，玉鞭长，映垂杨。堤上采花筵上醉，满衣
香。

无处不携弦管，直应占断春光。年少王孙何处好，
竞寻芳。

【笺评】

[清]毛先舒云：《羯鼓录》云明皇爱羯鼓玉笛，云八音之领袖。时春雨始晴，景色明丽，帝曰：“对此岂可不为判断？”命羯鼓临轩纵击，曲名《春光好》。回顾柳杏，皆已微坼。今来夹钟宫《春光好》，唐以来多有此曲。或问王灼曰：“夹钟宫属二月，明皇依月用律，故能判断如神。”灼曰：“二月柳杏坼久矣，此必正月用二月律催之也。”案此说见《碧鸡漫志》。今《羯鼓录》载《春光好》属太簇宫。（《填词名解》卷一）

[清]王奕清等云：按《羯鼓录》载《春光好》曲入太簇宫，本正月律也。岂明皇所作乃太簇宫而和凝等词入夹钟宫耶？今明皇词已不得，所传止《花间》、《尊前》集中词也。因晏几道词有“拌却一襟怀远泪，倚栏看”句，改名《愁倚阑令》，或名《愁倚阑》，或名《倚阑令》。（《词谱》卷三）

又

蘋叶嫩，杏花明，画船轻。双浴鸳鸯出绿汀，棹歌声。

春水无风无浪，春来半雨半晴。红粉相随南浦晚，
莫辞行。

【笺评】

栩庄云：“春水”、“春天”二词，写出春光骀宕之状。

俞陛云云：绝好惠崇之图画也。此词又传为欧阳炯作，见疆村本《尊前集》，惟句字稍异。

西江月

月映长江秋水，分明冷浸星河。浅沙汀上白云多，
雪散几丛芦苇。

扁舟倒影寒潭里，烟光远罩清波。笛声何处响渔
歌，两岸蘋香暗起。

【笺评】

[清]沈雄云：《古今词谱》曰：调始于欧阳炯中吕宫曲，以隔韵叶者。后则渐滥而无纪极矣，惟东坡《重阳词》近之。（《古今词话·词辨》上卷）

又

水上鸳鸯比翼，巧将绣作罗衣。镜中重画远山眉，
春睡起来无力。

钿雀稳簪云鬓绿，含羞时想佳期。脸边红艳对花
枝，犹占凤楼春色。

【笺评】

[清]王奕清等云：《西江月》，唐教坊曲名，《乐章集》注“中吕宫”，欧阳炯词有“两岸蘋香暗起”句，名曰《白蘋香》，程秘词名《步虚词》，王行词名《江月令》。又载“月映长江”一首注云：此见《尊前集》，换头句较“水上鸳鸯”词多一字，但此词押韵，又与诸家不同。按古韵从无五歌通四寘之例。此盖以“苇”“起”押“水”“里”，“多”“歌”押“河”“波”也。唐人有间押之法，采以备体。（《词谱》卷八）

赤枣子

夜悄悄，烛荧荧，金炉香尽酒初醒。春睡起来回雪
面，含羞不语倚云屏。

又

莲脸薄，柳眉长，等闲无事莫思量。每一见时明月

夜，损人情思断人肠。

【笺评】

[清]王奕清等云：《赤枣子》，唐教坊曲名。此调见《尊前集》。按欧词第一句“莲脸薄”，“莲”字平声。第三句“等闲无事莫思量”，“等”字仄声，“情”字平声。馀无别词可校，填者宜从之。（《词谱》卷一）

女冠子

薄妆桃脸，满面纵横花靥。艳情多，绶带盘金缕，轻裙透碧罗。

含羞眉乍敛，微语笑相和。不会频偷眼，意如何。

又

秋宵秋月，一朵荷花初发。照前池，摇曳熏香夜，婵娟对镜时。

蕊中千点泪，心里万条丝。恰似轻盈女，好风姿。

玉楼春

日照玉楼花似锦，楼上醉和春色寝。绿杨风送小莺声，残梦不成离玉枕。

堪爱晚来韶景甚，宝柱秦筝方再品。青娥红脸笑来

迎，又向海棠花下饮。

【笺评】

[明]沈际飞云：把人警觉，直而有致；残梦不成，婉而多风。
(《草堂诗馀正集》卷一)

又

春早玉楼烟雨夜，帘外樱桃花半谢。锦屏香冷绣衾寒，
怊怅忆君无计舍。

侵晓鹊声来砌下，鸾镜残妆红粉罢。黛眉双点不能描，
留待玉郎归日画。

【笺评】

[清]毛先舒云：《玉楼春》，林钟商也，一名《木兰花令》，一名《惜春容》。唐顾夔词云：“月照玉楼春漏促。”缘是得名。都玄敬诗话云：取白居易诗“玉楼宴罢醉和春”，非也。沈际飞云以《木兰花》歌之，即入大石调。(《填词名解》卷四)

更漏子

玉阑干，金甃井，月照碧梧桐影。独自个，立多时，
露华浓湿衣。

一向凝情望，待得不成模样。虽叵耐，又寻思，怎生
嗔得伊？



【笺评】

刘永济云：此词上半阙写夜景。“立多时”，即下所谓“凝情”也。“待得不成模样”，相思之苦，瘦损容貌也。末三句，言虽难忍耐，却不能怪他。由此可知其夫之不归，必有不得已之事，如兵役，或因公事也。表怨情而从原谅他说，故更深厚。此词换头五字，考各家皆作三字两句，平仄无定，或作平平仄，或作仄平平，此处疑开首脱一平声字，或系空字。按万树《词律》亦疑脱一字。“向”字是韵，脱首字无疑。

又

三十六宫秋夜永，露华点滴高梧。丁丁玉漏咽铜壶，明月上金铺。

红线毯，博山炉，香风暗触流苏。羊车一去长青芜，镜尘鸾影孤。

【笺评】

[清]陈廷焯云：亦系宫怨词，措语闲雅。（《词则·别调集》卷一）

定风波

暖日闲窗映碧纱，小池清水浸晴霞。数树海棠红欲尽，争忍，玉闺深掩过年华。

独凭绣床方寸乱，肠断，泪珠穿破脸边花。邻舍女

郎相借问，音信，教人羞道未还家。

【笺评】

[清]沈雄云：《古今词谱》曰：商调曲也，始于欧阳炯为之。
（《古今词话·词辨》下卷）

[清]况周颐云：欧阳炯词艳而质，质而愈艳，行间句里，却有清气往来。大概词家如炯，求之晚唐五代，亦不多观。其《定风波》词如淡妆西子，肌骨倾城。（《历代词人考略》）

木兰花

儿家夫婿心容易，身又不来书不寄。闲庭独立鸟关关，争忍抛奴深院里。

闷向绿纱窗下睡，睡又不成愁已至。今年却忆去年春，同在木兰花下醉。

清平乐

春来阶砌，春雨如丝细。春地满飘红杏蒂，春燕舞随风势。

春幡细缕春缿，春闺一点春灯。自是春心撩乱，非干春梦无凭。

【笺评】

[清]陈廷焯云：逐句用“春”字，亦见姿态，但非正格。（《词则·别调集》卷一）

[清]许昂霄云:《玉台新咏》载梁元帝《春日》诗用二十三“春”字,鲍泉奉和用三十“新”字,《文体明辨》目为句用字体,名甚不典,未知其何据也。余谓此体实起于渊明《止酒》诗,当名之曰止酒诗体。(《词综偶评》)

菩萨蛮

晓来中酒和春睡,四肢无力云鬟坠。斜卧脸波春,
玉郎休恼人。

日高犹未起,为恋鸳鸯被。鹦鹉语金笼,道儿还是
慵。

又

红炉暖阁佳人睡,隔帘飞雪添寒气。小院奏笙歌,
香风簇绮罗。

酒倾金盏满,兰烛重开宴。公子醉如泥,天街闻马
嘶。

【笺评】

[明]沈际飞云:没情雅,此《花间》不如《草堂》处。(《草堂诗
余正集》卷一)

又

翠眉双脸新妆薄,幽闺斜卷青罗幕。寒食百花时,

红繁香满枝。

双双梁燕语，蝶舞相随去。肠断正思君，闲眠冷绣茵。

又

画屏绣阁三秋雨，香唇腻脸偎人语。语罢欲天明，娇多梦不成。

晓街钟鼓绝，嗔道如今别。特地气长吁，倚屏弹泪珠。

和 凝七首

江城子

初夜含娇入洞房，理残妆，柳眉长。翡翠屏中，亲热玉炉香。整顿金钿呼小玉，排红烛，待潘郎。

又

竹里风生月上门，理秦筝，对云屏。轻拨朱弦，恐乱马嘶声。含恨含娇独自语，今夜月，太迟生。

又

斗转星移玉漏频，已三更，对栖莺。历历花间，似有马啼声。含笑整衣开绣户，斜敛手，下阶迎。

又

迎得郎来入绣闱，语相思，连理枝。鬓乱钗垂，梳堕印山眉。娅姺含情娇不语，纤玉手，抚郎衣。

又

帐里鸳鸯交颈情，恨鸡声，天已明。愁见街前，还是说归程。临上马时期后会，待梅绽，月初生。

【笺评】

[清]陈廷焯云：五词不少俚浅处，取其章法清晰，为后人聊章之祖。（《词则·闲情集》卷一）

[清]况周颐云：和鲁公《江城子》云：“轻拨朱弦，恐乱马嘶声。”二语熨贴入微，似乎人人意中所有，却未经前人道过，写出柔情蜜意，真质而不涉尖纤。又一阙云：“历历花间，似有马蹄声”。尤为浑雅，进乎高诣。（《餐樱庖词话》）

[清]李冰若云：此五阙介在清与艳之间，《餐樱庖词话》摘其《江城子》“轻拨朱弦”二语，以谓熨贴入微。余喜其“娅姺含情娇

不语，纤玉手，抚郎衣”，清中含艳，愈艳愈清。（《栩庄漫记》）

吴梅云：《江城子》五支，为言情之祖。后人凭空结构，皆本此词。托美人以写情，指落花而自喻，古人固有之，未可轻议也。（《词学通论》）

喜迁莺

晓月坠，宿烟披。银烛锦屏欹。建章欲晓玉绳低。
宫漏出花迟。

春态浅。来双燕。红日渐长一线。严妆钟罢啜黄鹂。
飞上万年枝。

【笺评】

〔清〕陈廷焯云：“宫漏”五字，名隽如摩诘之诗，贵品也。（《白雨斋词话》）

吴梅云：余案成绩诸作，类摹写官壶，不独此词“宫漏出花迟”也。（《词学通论》）

麦秀两歧

凉簟铺斑竹，鸳枕并红玉。脸莲红，眉柳绿，胸雪宜
新浴。淡黄衫子裁春縠，异香芬馥。

羞道教回烛，未惯双双宿。树连枝，鱼比目，掌上腰
如束。娇娆不奈人拳跼，黛眉微蹙。

【笺评】

[清]毛先舒云：东汉张堪为渔阳太守，百姓歌曰：“桑无附枝，麦穗两歧，张君为政，乐不可支。”词取其语曰《麦秀两歧》。（《填词名解》卷三）

[宋]王灼云：《麦有两歧》，《文酒清话》云：“唐封舜臣，性轻佻，德宗时，使湖南。道经金州，守张乐燕之，执杯索《麦秀两歧》曲。乐工不能，封谓乐工曰：“汝山民，亦合闻大朝音律。”守为杖乐工。复行酒，封又索此曲。乐工前乞：‘侍郎举一遍。’封为唱彻。众已尽记，于是终席歌此曲。封既行，守密写曲谱，言封燕席事邮筒中，送与潭州牧。封至潭，牧亦张乐燕之。倡优作襁褓数人，抱男女筐筥，歌《麦秀两歧》之曲，叙其拾麦勤苦之由，封面如死灰，归过金州，不复言矣。”今世所传《麦秀两歧》，在黄钟宫，唐《尊前集》载和凝一曲，与今曲不类。（《碧鸡漫志》卷五）

孙光宪二十三首

浣溪沙

风撼芳菲满院香，四帘慵卷日初长，鬓云垂枕响微
钲。

春梦未成愁寂寂，佳期难会信茫茫。万般心，千点
泪，泣兰堂。

【笺评】

[清]沈雄云:孙巨源云:小词有绝无含蓄,自尔入妙者,孙葆光之《浣溪沙》也。((古今词话·词辨》卷上引)

[清]李冰若云:葆光子词婉约精丽处,神似韦庄。其《浣溪沙》最有名,孙洙评谓其绝无含蓄而自然入妙。如:“半恨半嗔回面处,和娇和泪泥人时,万般饶得为怜伊。”又:“醉后爱称娇姐姐,夜来留得好哥哥,不知情事久长么?”又:“将见客时微敛黛,得人怜处且生疏,低头羞问壁边书。”皆足当之无愧。((栩庄漫记》)

又

碧玉衣裳白玉人,翠眉红脸小腰身,瑞云飞雨逐行云。

除却弄珠兼解佩,便随西子与东邻,是谁容易比真真。

【笺评】

[清]陈廷焯云:起二句纤小。((词则·闲情集》卷一)

[五代]于邈云:唐进士赵颜于画工处得一软障,图一妇人甚丽。颜曰:“如何令生,某愿纳为妻。”工曰:“余神画也。此亦有名曰真真,呼其名百日,昼夜不歇,即必应。应则以百家彩灰酒灌之必活。”颜如其言,遂下步言语馥食如常,终岁生一儿。友人曰:“此妖也,必与君为患。”真真乃泣曰:“妾南岳地仙也。君今疑妾,妾不可住。”言讫,摧其子却上软障,呕出先所饮百家彩灰

酒。睹其障帷添一孩子，皆是画焉。（《闻奇录》）

又

何事相逢不展眉，苦将情分恶猜疑，眼前行止想应知。

半恨半嗔回面处，和娇和泪泥人时，万般饶得为怜伊。

【笺评】

[清]陈廷焯云：描绘逼真，惜语近俚。（《词则·闲情集》卷一）

又

落絮飞花满帝城，看看春尽又伤情，岁华频度想堪惊。

风月岂唯今日恨，烟霄终待此身荣，未甘虚老负平生。

又

静想离愁暗泪零，欲栖云雨计难成，少年多是薄情人。

万种保持图永远，一般模样负神明，到头何处问平

生。

又

试问于谁分最多，便随人意转横波，缕金衣上小双鹅。

醉后爱称娇姐姐，夜来留得好哥哥，不知情事久长么。

【笺评】

[清]陈廷焯云：赠妓之词，原不嫌艳冶，然择言以雅为贵，亦须慎之。若孙光宪之“醉后爱称娇姐姐，夜来留得好哥哥，不知情事长久么？”真令人欲呕。魏承班之“携手入鸳衾，谁人知此心”语褻而意呆。林楚翘之“重道好郎君，人见莫恼人”亦鄙俚可笑。古人词佳者，如孙光宪之“将见客时微掩敛，得人怜处且生疏，低头羞问壁边书。”又“除却弄珠兼解珮，便随西子与东邻，是谁容易比真真。”（《白雨斋词话》卷六）

又

叶坠空阶折早秋，细烟轻雾锁妆楼，寸心双泪惨娇羞。

风月但牵魂梦苦，岁华偏感别离愁，恨和相忆两难酬。

又

月淡风和画阁深，露桃烟柳影相侵，敛眉凝绪夜沉沉。
长有梦魂迷别浦，且无春病入愁心，少年何处恋虚襟。

又

自入春来月夜稀，今宵蟾彩倍凝晖，强开襟抱出帘帷。
啮指暗思花下约，凭阑羞睹泪痕衣，薄情狂荡几时归。

又

十五年来锦岸游，未曾何处不风流，好花长与万金酬。
满眼利名浑信运，一生狂荡恐难休，且陪烟月醉红楼。

定风波

帘拂疏香断碧丝，泪衫还滴绣黄鹂。上国献书人不

在，凝黛，晚庭又是落花时。

春日自长心自促，翻覆，年来年去负前期。应是秦云兼楚雨，留住，向花夸说月中枝。

【笺评】

[清]王奕清等云：《定风波》，唐教坊曲名。孙光宪体，双调六十三字，前段五句三平韵，两仄韵；后段六句四仄韵，两平韵。此与欧阳炯词体同，惟后段结句多一字，亦衬字也。（《词谱》卷十四）

南歌子

艳冶青楼女，风流字楚真。骊珠美玉未为珍，窈窕一枝芳柳入腰身。

舞袖频回雪，歌声几动尘。慢凝秋水顾情人，祇缘倾国著处觉生春。

又

映月论心处，偎花见面时。倚郎和袖抚香肌，遥指画堂深院许相期。

解珮君非晚，虚襟我未迟。愿如连理合欢枝，不似五陵狂荡薄情儿。

应天长

翠凝仙艳非凡有，窈窕年华方十九。鬓如云，腰似柳。妙对绮筵歌酹酒。

醉瑶台，携玉手。共宴此宵相偶。魂断晚窗分首，泪沾金缕袖。

生查子

春病与春愁，何事年年有。半为枕前人，半为花间酒。

醉金尊，携玉手，共作鸳鸯偶。倒载卧云屏，雪面腰如柳。

又

为惜美人娇，长有如花笑。半醉倚红妆，转语传青鸟。

眷方深，怜恰好，唯恐相逢少。似这一般情，肯信春光老。

又

清晓牡丹芳，红艳凝金蕊。乍占锦江春，永认笙歌

地。

感人心，为物瑞，烂漫烟光里。戴上玉钗时，迥与凡花异。

又

密雨阻佳期，尽日颙然坐。帘外正淋漓，不觉愁如锁。

梦难裁，心欲破，泪逐檐声堕。想得玉人情，也合思量我。

遐方怨

红绶带，锦香囊。为表花前意，殷勤赠玉郎。此时更自役心肠，转添秋夜梦魂狂。

思艳质，想娇妆。愿早传金盞，同欢卧醉乡。任人情妒恶猜防，到头须使似鸳鸯。

【笺评】

[清]王奕清等云：《遐方怨》，唐教坊曲名。此调有两体，单调者始于温庭筠，双调者始于顾夔、孙光宪。宋人无填此者。（《词谱》卷二）

更漏子

烛荧煌，香旖旎，闲放一堆鸳被。慵就寝，独无聊，

相思魂欲销。

不会得，这心力，判了依前还忆。空自怨，奈伊何，
别来情更多。

又

掌中珠，心上气，爱惜岂将容易。花下月，枕前人，
此生谁更亲。

交颈语，合欢身，便同比目金鳞。连绣枕，卧红茵，
霜天暖似春。

又

对秋深，离恨苦，数夜满庭风雨。凝想坐，敛愁眉，
孤心似有违。

红窗静，画帘垂，魂销地角天涯。和泪听，断肠窥，
漏移灯暗时。

又

求君心，风韵别，浑似一团烟月。歌皓齿，舞红筹，
花时醉上楼。

能婉媚，解娇羞，王孙忍不攀留。唯我恨，未绸缪，

相思魂梦愁。

魏承班六首

生查子

离别又经年，独对芳菲景。嫁得薄情夫，长抱相思病。

花红柳绿闲晴空，蝶弄双双影。羞看绣罗衣，为有金鸾并。

【笺评】

[清]况周颐云：魏承班词“羞看绣罗衣，为有金鸾并”，只是刷色鲜艳耳。（《餐樱庖词话》）

满宫花

寒夜长，更漏永，愁见透帘月影。王孙何处不归来，应在倡楼酩酊。

金鸭无香罗帐冷，羞更双鸾交颈。梦中几度见儿夫，不忍骂伊薄倖。

【笺评】

刘永济云：此写寒闺思妇之情也，从唐人《醉公子》诗来。言



其夫浪游倡家，闺人思之，不能无怨，然因犹得梦中相见，故“不忍骂”他薄情，以形容思念之，得见梦中，聊胜不见也。表怨情而不忍怨说，故更加深切。（《唐五代两宋词简释》）

菩萨蛮

玉容光照菱花影，沉沉脸上秋波冷。白雪一声新，
雕梁起暗尘。

宝钗摇翡翠，香惹芙蓉醉。携手入鸳衾，谁人知此
心。

谒金门

烟水阔，人值清明时节。雨细花零莺语切，愁肠千
万结。

雁去音徽断绝，有恨欲凭谁说。无事伤心犹不彻，
春时容易别。

又

春欲半，堆砌落花千片。早是潘郎长不见，忍听双
语燕。

飞絮晴空扬远，风送谁家弦管。愁倚画屏凡事懒，

泪沾金缕线。

【笺评】

唐圭璋云：虽不刻意求胜，但自然明净，蕴藉可诵。（《唐宋两代蜀词》）

又

长思忆，思忆佳人轻掷。霜月透帘澄夜色，小屏山凝碧。

恨恨君何太极，记得娇娆无力。独坐思量愁似织，断肠烟水隔。

【笺评】

〔清〕况周颐云：如右三阙，尚觉行间句里饶有清气。（《餐樱庵词话》）

阎 选二首

谒金门

美人浴，碧沼莲开芬馥。双髻绾云颜似玉，素蛾辉淡绿。

雅态芳姿闲淑，雪映钿装金斛。水溅青丝珠断续，

酥融香透肉。

【笺评】

[清]况周颐云：李德润《临江仙》云：“强整娇姿临宝镜，小池一朵芙蓉。”阎选《谒金门》云：“美人浴，碧沼莲开芬复。”并皆形容绝妙，尤觉落落大方。是人是花，一而二，二而一，不必用“如”、“似”等字，是词中暗字诀之一种。（《餐樱庑词话》）

定风波

江水沉沉帆影过，游鱼到晚透寒波。渡口双双飞白鸟，烟里，芦花深处隐渔歌。

扁舟短棹归兰浦，人去，萧萧竹径透青莎。深夜无风新雨歇，凉月，露迎珠颗入圆荷。

【笺评】

俞陛云云：纯是写景，惟“人去”二字见本意。在陆则莎满径荒，在水则露寒月冷，一片萧寥之状。殆有感于王根、樊重之家，一朝雾落，人去堂空，作者如燕子归来凭吊耶！（《五代词选释》）

尹 鹖十一首

江城子

裙拖碧，步飘香，纤腰束素长。鬓云光，拂面珑璁，

膩玉碎凝妝。寶柱秦箏彈向晚，弦促雁，更思量。

何滿子

云雨常陪勝會，笙歌慣逐閑游。錦里風光應占，玉鞭金勒驂騑。戴月潛穿深曲，和香醉脫輕裘。

方喜正同鴛帳，又言將往皇州。每憶良宵公子伴，夢魂長挂紅樓。欲表傷離情味，丁香結在心头。

【箋評】

[清]毛先舒云：《何滿子》，《教坊記》作《河滿子》。開元中滄州歌者臨刑進此曲，以贖死，竟不免，而世傳其曲，即名《何滿子》。《碧鷄漫志》云：詞屬雙調兩段，各六句。內五句各六字，一句七字。蓋舞曲也，文宗時宮人沈阿翹善舞此曲。白樂天詩：“世傳滿子是人名，臨就刑時曲始成。一曲四詞歌八疊，從頭都是斷腸聲。”然此是唐曲，入宋調變矣。案《唐詩紀事》載文宗時宮人沈翹翹歌《河滿子》，有“浮雲蔽白日”之句。上曰：此《文選》古詩第一首，蓋忠臣為奸邪所蔽也。豈以《河滿子》調為節而仍歌古詩邪？或作《河滿子》曲名中採用古詩句，帝聞因及之耶？（《填詞名解》卷一）

女冠子

雙成伴侶，去去不知何處。有佳期，霞帔金絲薄，花

冠玉叶危。

懒乘丹凤子，学跨小龙儿。亘耐天风紧，挫腰肢。

【笺评】

[清]况周颐云：尹鹗《女冠子》云：“霞帔金丝薄，花冠玉叶危。”押“危”字甚安。“金丝薄”之“薄”字改“弱”对“危”更称。（《餐樱庑词话》）

菩萨蛮

呜呜晓角调如语，画楼三会喧雷鼓。枕上梦方残，
月光铺水寒。

蛾眉应敛翠，咫尺同千里。宿酒未全消，满怀离恨
饶。

又

锦茵闲衬丁香枕，银缸烬落犹慵寝。颒坐遍红炉，
谁知情绪孤。

少年狂荡惯，花曲长牵绊。去便不归来，空教骏马
回。

拨棹子

风切切，深秋月，十朵芙蓉繁艳歇。小槛细腰无力。

空赢得，目断魂飞何处说。

寸心恰似丁香结，看看瘦尽胸前雪。偏挂恨，少年
抛掷。羞觑见，绣被堆红闲不彻。

又

丹脸腻，双靥媚，冠子缕金装翡翠。将一朵琼花堪
比。窠窠绣，鸾凤衣裳香翠地。

银台蜡烛滴红泪，绿酒劝人教半醉。帘幕外，月华
如水。特地向，宝帐颠狂不肯睡。

【笺评】

[清]万树云：两词相同，只“绿酒”句与前词“看看”句平仄
异。然前段“冠子”句，与前词“十朵”句，与“绿酒”句合，虽或不
拘，从此为妥。至于“将一朵”句后与“帘幕外”，同七字，前词“偏
挂恨”亦七字。其“小槛”句上定落一“凭”字（按《花草粹编》第四
句“小槛”上有“凭”字），是则前词缺而此调全也。（《词律》卷九）

[清]李冰若云：“特地向，宝帐颠狂不肯睡”，则流于狎昵，几
如柳三变俳调也。（《栩庄漫记》）

金浮图

繁华地，王孙富贵，玳瑁筵开，下朝无事。压红茵，
风舞黄金翅。立玉纤腰，一片揭天歌吹，满目绮罗珠翠。
和风淡荡，偷散沉檀气。

堪判醉，韶光正媚。坼尽牡丹，艳迷人意。金张许史应难比。贪恋欢娱，不觉金乌坠。还惜会难别易。金船更劝，勒住花骢辔。

【笺评】

[清]毛先舒云：《金浮图》，汉桓帝于宫中铸黄金浮图，词取以名。（《填词名解》卷三）

[清]万树云：前段整对，后段不应偏少。乃“金张”上落去一“便”字，“金乌”下落去一“西”字，作者竟与前段同填可也。“判”字宜作“拌”，平声。（《词律》卷一十四）

[清]杜文澜云：万氏注“金张”上落去一“便”字。按《词纬》乃“纵”字。又“不觉金乌坠”句，“坠”上有“西”字，均应照补。（《词律》卷四十）

唐圭璋云：其中有《金浮图》一首，长至九十四字，五代词除唐庄宗《歌头》以外，以此为最长。王静安先生颇疑是柳耆卿、康伯可手笔。予谓此论非确。若以其体例言之，则长调固早已有之，《云谣集》所载《内家娇》一词，且一百四字。若以其风格言之，则尹词惯用俳语，与此调风格不殊，实开屯田词派也。（《唐宋两代蜀词》）

秋夜月

三秋佳节。罇晴空，凝碎露，茱萸千结。菊蕊和烟轻捻，酒浮金屑。微云雨，调丝竹，此时难缀。欢极一片，艳歌声揭。

黄昏慵别。炷沉烟，熏绣被，翠帷同歇。醉并鸳鸯双枕，暖偎春雪。语丁宁，情委曲，论心正切。深夜窗透，数条斜月。

【笺评】

[清]万树云：此比前词（柳永八十二字体）整齐可学。（《词律》卷一二）

[清]杜文澜云：或曰“极”字是叶韵二字句，余日照后结该四字两句，“极”字乃以入声作平而于“片”字分句耳。况“极”字，不是通篇同韵。

[清]王奕清等云：《秋夜月》词见《尊前集》，因尹鹖词起结有“三秋佳节”及“夜深窗透，数条斜月”句，取以为名。《乐章集》注夹钟商，此调尹词、柳词，大同小异，但柳词自注宫调，其平仄恐各中律吕，难以参校。今《词律》以前后段对校，酌注可平可仄，颇与柳词暗合。仍之。（《词谱》卷十一）

[清]沈雄云：尹鹖《秋夜月》颇觉道古，然非正赏之音。（《古今词话词话》卷上）

[清]况周颐云：尹鹖《秋夜月》歇拍云：“心正切。夜深窗透，数条斜月。”能于旖旎中得幽静之趣。所谓开屯田词派者也。（《餐樱庵词话》）

清平乐

低红敛翠，尽日思闲事。髻滑凤皇钗欲坠，雨打梨花满地。

绣衣独倚阑干，玉容似怯春寒。应待少年公子，鸳
帏深处同欢。

又

芳年妙伎，淡拂铅华翠。轻笑自然生百媚，争那尊
前人意。

酒倾琥珀杯时，更堪能唱新词。赠得王孙狂处，断
肠一搦腰肢。

【笺评】

[清]李冰若云：尹鹖《清平乐》云：“赚得王孙狂处，断肠一搦腰肢。”又云：“应待少年公子，鸳帏深处同欢。”则流于狎昵，几如柳三变俳调也。（《栩庄漫记》）

李 珣十八首

中兴乐

后庭寂寂日初长，翩翩蝶舞红芳。绣帘垂地，金鸭
无香，谁知春思如狂。忆萧郎，等闲一去，程遥信断，五
岭三湘。

休开鸾镜学宫妆，可能更理笙簧。倚屏凝睇，泪落

成行，手寻裙带鸳鸯。暗思量，忍孤前约，教人花貌，虚老风光。

【笺评】

[清]况周颐云：李德润词，有以清胜者……有以质胜者：《西溪子》：“归去想娇娆，暗魂消。”《中兴乐》云：“忍孤前约，教人花貌，虚老风光。”宋人唯吴梦窗有为此等质句，愈质愈厚，盖五代词已开其先矣。（《餐樱庖词话》）

渔父

水接衡门十里馀，信船归去卧看书。轻爵禄，慕玄虚，莫道渔人只为鱼。

又

避世垂纶不记年，官高争得似君闲。倾白酒，对青山，笑指柴门待月还。

又

棹警鸥飞水溅袍，影随潭面柳垂绦。终日醉，绝尘劳，曾见钱塘八月涛。

【笺评】

[清]况周颐云：如右数阙，具见襟情高淡，故能晚节坚贞。

“曾见钱塘八月涛”，殆所谓感慨之音乎？（《花间集评注》引）

刘永济云：此皆托渔父之闲适，以见作官受禄者终日尘劳为不如。衡门乃浅陋之门，言贤者居之，不出仕也。（《唐五代两宋词简析》）

南乡子

携笼去，采菱归，碧波风起雨霏霏。趁岸小船齐棹急，罗衣湿，出向桃榔树下立。

又

云鬓重，葛衣轻，见人微笑亦多情。拾翠采珠能几许，来还去，争及村居织机女。

又

登画舸，泛清波，采莲时唱采莲歌。拦棹声齐罗袖敛，池光贴，惊起沙鸥八九点。

又

双髻坠，小眉弯，笑随女伴下春山。玉纤遥指花深处，争回顾，孔雀双双迎日舞。

又

红豆蔻，紫玫瑰，谢娘家傍越王台。一曲乡歌齐抚掌，堪游赏，酒酌螺杯流水上。

又

山果熟，水花香，家家风景有池塘。木兰舟上珠帘卷，歌声远，椰子酒倾鹦鹉盏。

又

新月上，远烟开，惯随潮水采珠来。棹穿花过归溪口，沽春酒，小艇缆牵垂岸柳。

【笺评】

[清]陈廷焯云：李珣《南乡子》诸词，语极本色，于唐人《竹枝》外，另辟一境矣。（《词则·闲情集》卷一）

[清]况周颐云：周草窗云：“李珣、欧阳炯辈俱蜀人，各制《南乡子》数首，以志风土，亦《竹枝》体也。”顾珣蜀人，所咏皆东粤景物，何邪？至《浣溪沙》、《巫山一段云》，则诚蜀人之言矣。（《餐樱庖词话》）

[清]李冰若云：李珣《南乡子》均写广南风土，欧阳炯作此调亦然。珣，波斯人，或曾至粤中，岂炯亦曾入粤？不然，则《南乡

子》一调，或专写咏南粤风土而制，故作者一本调意为之也。珣词如“骑象背人先过水”、“竞折圆荷遮晚照”、“愁听猩猩啼瘴雨”、“夹岸荔枝红照水”诸句，均以浅语写景极生动可爱，不下刘禹锡巴渝《竹枝》，亦《花间集》中之新境也。（《栩庄漫记》）

俞陛云云：咏南荒风景，唐人诗中，以柳子厚为多。五代词如欧阳炯之《南乡子》、孙光宪之《菩萨蛮》，亦咏及之。惟李珣词有十七首之多，荔子轻红，槟榔深碧，猩猩暮雨，象渡瘴溪，更萦以艳情，为词家特开新采。（《五代词选释》）

定风波

志在烟霞慕隐沦，功成归看五湖春。一叶舟中吟复醉，云水，此时方认自由身。

花岛为邻鸥作侣，深处，经年不见市朝人。已得希夷微妙旨，潜喜，荷衣蕙带绝纤尘。

【笺评】

刘永济云：此以范蠡功成，扁舟泛于五湖为高尚，故咏其事以见志也。（《唐五代两宋词简析》）

又

十载逍遥物外居，白云流水似相於。乘兴有时携短棹，江岛，谁知求道不求鱼。

到处等闲邀鹤伴，春岸，野花香气扑琴书。更饮一

杯红霞酒，回首，半钩新月贴清虚。

又

又见新巢燕子归，阮郎何事绝音徽。帘外西风黄叶落，池阁，隐莎蛩叫雨霏霏。

愁坐算程千万里，频歧，等闲经岁两心违。听鹊凭龟无定处，不知，泪痕留在画罗衣。

又

雁过秋空夜未央，隔窗烟月锁莲塘。往事岂堪容易想，惆怅，故人迢递在潇湘。

纵有回文重叠意，谁寄，解鬟临镜泣残妆。沉水香消金鸭冷，愁永，候虫声接杵声长。

又

帘外烟和月满庭，此时闲坐若为情。小阁拥炉残酒醒，愁听，寒风叶落一声声。

唯恨玉人芳信阻，云雨，屏帷寂寞梦难成。斗转更阑心杳杳，将晓，银缸斜照绮琴横。

【笺评】

[清]李冰若云:《定风波》诸词,缘题自抒胸境,洒然高逸,均可诵也。《花间》词人能如李氏多面抒写者甚鲜。故余谓德润词在《花间》可成一派而介立温韦之间也。(《栩庄漫记》)

俞陛云云:每阙中以两字句换韵,节奏若急柱鸣箏,词意亦随之转换,有短歌意味。(《五代词选释》)

西溪子

马上见时如梦,认得脸波相送。柳堤长,无限意,夕阳里,醉把金鞭欲坠。归去想娇娆,暗魂销。

又

金缕翠钿浮动,妆罢倚窗圆梦。日高时,春已老,人未到,满地落花慵扫。离思正难减,燕呢喃。

李 玉八首

望江南

多少恨,昨夜梦魂中。还似旧时游上苑,车如流水

马如龙，花月正春风。

【笺评】

[清]陈廷焯云：后主词一片忧思，当领会于声调之外，君人而为此词，欲不亡国也得乎？（《词则·别调集》卷一）

俞陛云云：“车水马龙”句为时传诵，当年之繁盛，今日之孤凄，欣戚之怀，相形而益见。（《南唐二主词辑述评》）

又

多少泪，断脸复横颐。心事莫将和泪说，凤笙休向泪时吹，肠断更无疑。

【笺评】

[明]杨慎云：唐词“眼重眉褪不胜春”，李后主词“多少泪，断脸复横颐”，元乐府“眼余眉剩”，皆祖唐词之语。（《词品》卷二）

[清]陈廷焯云：后主词一片忧思，当领会于声调之外，君人而为词，欲不亡国得乎。（《词则·别调集》卷一）

更漏子 大石调

柳丝长，春雨细。花外漏声迢递。惊塞雁，起寒乌。画屏金鹧鸪。

香雾薄。透重幕。惆怅谢家池阁。红烛背，绣帷垂。梦长君不知。



蝶恋花

遥夜亭皋闲信步，乍过清明，早觉伤春暮。数点雨声风约住，朦胧淡月云来去。

桃李依依春暗度，谁在秋千，笑里低低语？一片芳心千万绪，人间没个安排处。

【笺评】

[明]陈继儒云：何不寄愁天上，埋忧地下？（《南唐二主词汇笺》引）

[明]沈际飞评“数点雨声”二句云：片时佳景，两语留之。又云：“愁来无着处”，不约而合。（《草堂诗余正集》卷一）

[清]沈谦云：“红杏枝头春意闹”、“云破月来花弄影”，俱不及“数点雨声风约住，朦胧淡月云来去”。（《填词杂说》）

俞陛云云：上半首工于写景，风收残雨，以“约住”二字状之，殊妙。雨后残云，惟映以淡月，始见其长空往来，写风景宛然。结句言寸心之愁，而宇宙难宽，竟无容处。其愁宁有际耶？唐人诗“此心方寸地，容得许多愁”，愁之为物，可谓放之则弥六合，卷之则退藏于密，惟能手得写出之。（《南唐二主词辑述评》）

清平乐

别来春半，触目愁肠断。砌下落梅如雪乱，拂了一身还满。

雁来音信无凭，路遥归梦难成。离恨恰如春草，更行更远还生。

【笺评】

[明]沈际飞云：是“恨如芳草，划尽还生”稿子。（《南唐二主词汇笺》引）

[明]徐士俊云：末二句从杜诗“江草唤愁生”句来。（《古今词统》卷五）

[清]谭献云：“泪眼问花花不语，乱红飞过秋千去”，与此同妙。（谭评《词辨》卷二）

[清]陈廷焯云：永叔“离愁渐远渐无穷”二语，从此脱胎。（《词则·大雅集》卷一）

采桑子 羽调

亭前春逐红英尽，舞态徘徊。细雨霏霏，不放双眉时暂开。

绿窗冷静芳音断，香印成灰。可奈情怀，欲睡朦胧入梦来。

【笺评】

[清]陈廷焯云：幽怨。（《词则·别调集》卷一）

喜迁莺

晓月坠，宿烟微，无语枕频欹。梦回芳草思依依，天



远雁声稀。

啼莺散，馀花乱，寂寞画堂深院。片红休扫尽从伊，
留待舞人归。

【笺评】

俞陛云云：此二词（此首及前一首）殆失国后所作。春晚花飞，官人零落，芳讯则但祈入梦，落红则留待归人，皆极写无聊之思。《采桑子》词之眉头不放暂开，殆受归朝后禁令之严，微有怨词耶？（《五代词选释》）

浣溪沙

菡萏香消翠叶残，西风愁起绿波间，还与韶光共憔悴，不堪看。

细雨梦回鸡塞远，小楼吹彻玉笙寒，多少泪珠何限恨，倚阑干。

冯延巳七首

罗敷艳歌

小庭雨过春将尽，片片花飞。独折残枝，无语凭阑只自知。

玉堂香暖珠帘卷，双燕归来。旧约难期，肯信韶华得几时。

【笺评】

俞陛云云：上阕花枝已残而独折取，其云自知者，当别有思存；下阕知韶华之易逝，则君宜早归，警告之切，正相忆之深。（《五代词选释》）

陈秋帆云：《词谱》：《采桑子》，唐教坊曲有《杨下采桑》，调名本此。冯延巳词名《罗敷艳歌》。按各词家，选延巳此词，调均作《罗敷艳歌》，今从四印斋本，仍题《采桑子》。（《阳春集笺》）

又

马嘶人语春风岸，芳草绵绵。杨柳桥边，落日高楼酒旆悬。

旧愁新恨知多少，目断遥天。独立花前，更听笙歌满画船。

【笺评】

俞陛云云：“酒旗催日下城头”，人称佳句。此词“落日高楼”句，尤为浑成。下阕“笙歌”句，在新愁旧恨中闻之，只增切怛耳。（《五代词选释》）

更漏子 商调

夜初长，人近别，梦觉一窗残月。鸂鶒卧，蟋蟀鸣，

西风寒未成。

红蜡烛，弹棋局，床上画屏山绿。拏绣幌，倚瑶琴，
前欢泪滴襟。

又

玉炉烟，红烛泪，偏照画堂秋思。眉翠薄，鬓云残，
夜长衾枕寒。

梧桐树，三更雨，不道离情正苦，一叶叶，一声声，空
阶滴到明。

临江仙

冷红飘起桃花片，青春意绪阑珊。高楼帘幕卷轻
寒。酒馀人散，独自凭阑干。

夕阳千里连芳草，风光愁杀王孙。徘徊飞尽碧天
云。凤城何处，明月照黄昏。

【笺评】

俞陛云云：芬芳悱恻之音。凡词家言情之作，如韦端已之忆
宠姬，吴梦窗之怀遣妾，周清真之赋柳枝娘，皆有其人。冯词未
能证实，殆寄托之辞。南唐末造，冯蒿目时艰，姑以愁梦恨绮之
词寓忧盛危明之意耳。（《五代词选释》）

虞美人

画帘新霁情萧索，深夜垂珠箔。洞房人睡月婵娟，
梧桐双影上珠轩，立阶前。

高楼何处连宵宴，塞管声幽怨。一声已断别离心，
旧欢抛弃杳难寻，恨沉沉。

又

碧波朱户垂帘幕，帘下莺莺语。薄罗衣旧泣青春，
野花芳草逐年新，事难论。

凤笙何处高楼月，幽怨凭谁说。亭亭残照上梧桐，
一时弹泪与东风，恨重重。

【笺评】

陈秋帆云：此阙似别有悲凉滋味，《阳春》类此者多。蒿庵所谓“黍离麦秀，周遗所伤；美人香草，楚纍所托”者非欤？（《阳春集笺》）

李 玉一首

子夜啼 （全唐五代词作《菩萨蛮》）

花明月暗笼轻雾。今宵好向郎边去。划袜步香苔。
手提金缕鞋。

画堂南畔见。一向偎人颤。好为出来难。教君恣
意怜。

【笺评】

俞陛云云：昭惠后之妹，因侍后疾而承恩，词为进御之夕作。“划袜”二句想见花阴月暗，悄行多露之时。宫中事秘，后主乃张之以词，事传于外。继立为后之日，韩熙载为诗讽之，而后主不恤人言也。（《五代词选释》）

庾传素一首

木兰花

木兰红艳多情态，不似凡花人不爱。移来孔雀槛边栽，折向凤凰钗上戴。

是何芍药争风彩，自共牡丹长作对。若教为女嫁东风，除却黄鹂难匹配。

【笺评】

唐圭璋云：所咏为《木兰花》，题意与调名相合。（《唐宋两代蜀词》）

刘侍读一首

生查子 双调

深秋更漏长，滴尽银台烛。独步出幽闺，月晃波澄绿。

菱荷风乍触，一对鸳鸯宿。虚棹玉钗惊，惊起还相续。

欧阳彬左丞一首

生查子

竟日画堂欢，入夜重开宴。剪烛蜡烟香，促席花光颤。

待得月华来，满院如铺练。门外簇华骝，直待更深散。

【笺评】

俞陛云云：专叙豪家张宴，竟日狂欢，夜午始散，士大夫沉酣如是，宜五代之政衰祚促也。（《五代词选释》）

许 岷二首

木兰花 大石调

小庭日晚花零落，倚户无聊妆脸薄。宝箏金鸭任生尘，绣画工夫全放却。

有时觑着同心结，万恨千愁无处说。当初不合尽饶伊，赢得如今长恨别。

【笺评】

[清]张德瀛云：尽，即忍切。刘武仲曰：此尽字犹任也。许岷词：“当初不合尽饶伊”。（《词徵》卷三）

又

江南日暖芭蕉展，美人折得亲裁翦。书成小柬寄情人，临行更把轻轻捻。

其中捻破相思字，却恐郎疑踪不似。若还猜妾倩人书，误了平生多少事。

【笺评】

[清]陈廷焯云：思路未精，笔意却爽朗。（《词则·闲情集》卷一）

林楚翘一首

菩萨蛮 中吕宫

画堂春昼垂珠箔，卧来揉惹金钗落。簟滑枕头移，
鬓蝉狂欲飞。

笑拖娇眼慢，罗袖笼花面。重道好郎君，人前莫恼人。

薛昭蕴一首

谒金门

春满院，叠损罗衣金线。睡觉水晶帘未卷，帘前双
语燕。

斜掩金铺一扇，满地落花千片。早是相思肠欲断，

忍教频梦见。

【笺评】

[清]陈廷焯云:曰“相思”曰“肠断”曰“梦见”,皆成语也。看他分作二层,便令人爱不忍释手。遣词用意当如此。(《白雨斋词评》)又云:意态使浓,斯谓翻陈出新。(《词则·闲情集》卷一)

徐昌图三首

木兰花 双调

沉檀烟起盘红雾,一箭霜风吹绣户。汉宫花面学梅妆,谢女雪诗裁柳絮。

长垂夹幕孤鸾舞,旋炙银笙双凤语。红窗酒病嚼寒冰,冰损相思无梦处。

【笺评】

[明]杨慎云:徐昌图,唐人。冬景《木兰花》一词,缛丽可爱。今人入《草堂》之选,然莫知其为唐人也。(《词品》卷二)

[明]李廷机云:以梅妆柳絮二女人之事,包含冬景,可谓善形容者。旋炙银笙见寒之极处,酒消致寒冰,又见寂寞无兴意。(《注释草堂诗余评林》)

[明]沈际飞云:寒气如逼,未意出人。(《草堂诗余正集》卷一)

刘毓盘云:此词与《瑞鹧鸪》同为七言律诗,惟叶韵有平仄之别耳。(《词史》第二章)

临江仙

饮散离亭西去，浮生长恨飘蓬。回头烟柳渐重重。
淡云孤雁远，寒日暮天红。

今夜画船何处，潮平淮月朦胧。酒醒人静奈愁浓。
残灯孤枕梦，轻浪五更风。

【笺评】

[清]王奕清等云：此词前后段第一、二句俱六字两句，较张（泌）词减一字；两结俱五字两句，较张词填一字。宋晏几道、陈师道、陆游、史达祖、高观国、赵长卿、元詹正诸词俱本此填。（《词谱》卷十）

[清]沈雄云：有以徐昌图之《临江仙》为仙吕，而牛希济之《临江仙》为南吕者，其宫调自别，亦可也。（《古今词话·词品》上卷）

俞陛云云：状水窗风景宛然，千载后犹想见客中情味也。（《五代词选释》）

河 传

秋光满目，风清露白，莲红水绿。何处梦回，弄珠拾
翠盈盈，倚栏桡，眉黛蹙。

采莲调稳，吴侣声相续，倚棹吴江曲。鹭起暮天，几
双交颈鸳鸯，入芦花，深处宿。

【笺评】

[清]王奕清等云:按徐昌图,宋太祖时人,在柳永之前。柳永淮岸向晚词,前段第五、第六句后段第四、五句,句法皆即本此词填也。至前后段第五句俱不押韵。黄庭坚词及《梅苑》无名氏词,皆宗之。但两句俱不押韵,则为正体。或前段不押,或后段不押,则为变体耳。(《词谱》卷十一)